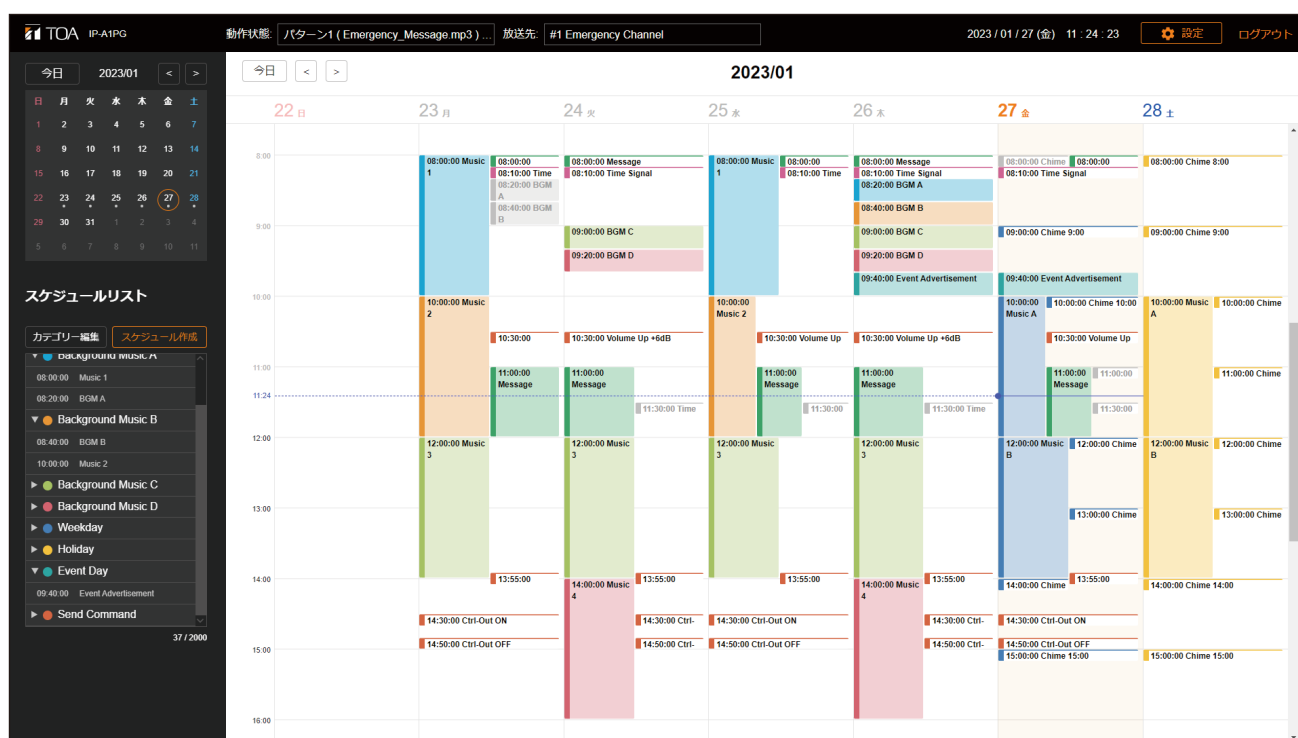


IP オーディオシリーズ



本書では、以下の説明をしています。

- ・ ウェブブラウザを使用した、本機の操作と設定について
- ・ IP 設定ツールを使用した、本機の機器検出とネットワーク設定などについて

設置および本体での設定のしかたは、製品に付属の取扱説明書をお読みください。

●本書で説明の対象となる機器

IP ページングゲートウェイ IP-A1PG
IP リモートマイク IP-A1RM

●本書で説明の対象となるファームウェアバージョン

Ver. 3.1.0 以降

このたびは、TOA IP オーディオシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの送信端末設定説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

はじめに	5
本書について	5
システム要件	5
セキュリティ対策のお願い	5
放送システムと設定方法について	6
放送システムのモデルケース	6
モデルケース別の設定の流れ	11
ブラウザー接続のしかた	28
接続の準備	28
接続のしかた	28
表示言語を設定する	29
現在の日時を設定する	30
各画面共通の操作のしかた	32
画面構成について	32
設定・変更内容の保存のしかた	33
再起動のしかた	34
ログアウトのしかた	34
設定のしかた	35
設定メニューの構成について	35
ステータス画面の表示	37
ステータス表示と状態表示灯について	38
キー設定画面	39
ネットワーク設定画面	41
SIP 設定画面	42
VMS 放送設定画面	45
放送先設定画面	46
転送設定画面	48
SIP からマルチキャスト放送へ変換する場合の動作について	50
音量設定画面	52
音量設定機能の概念図	54
メディア設定画面	56
音源ファイルのアップロードのしかた	58

音源ファイルのダウンロードのしかた	58
音源ファイルの削除のしかた	59
チャイム設定画面	60
パターン登録画面	62
パターン放送のテストのしかた	65
イベント設定画面	66
優先度設定画面	72
コマンドリスト画面	75
ユーザー設定画面	77
メンテナンス画面	78
設定ファイルのダウンロード	79
設定ファイルのアップロード	80
設定初期化のしかた	81
工場出荷時の設定に戻す	82
ファームウェア更新のしかた	83
ログファイルのダウンロード	84
システム設定画面	89
使用可能な文字	91
名称、認証 ID、パスワードに使用可能な文字	91
ファイル名に使用可能な文字	94
スケジューラー機能	95
スケジューラー機能について	95
スケジューラー画面	98
新規スケジュールの作成	100
スケジュールの確認／編集／削除	107
タスク表示と動作について	109
タスクの確認／編集／削除	111
カテゴリー編集	114
スケジュール設定時のエラーメッセージ	117
スケジュールデータのリセット	118
スケジュールデータを除いた設定ファイルアップロード	118
IP 設定ツール	119
使用する前に	119
IP 設定ツールの起動のしかた	119
設定のしかた	120
ユーザー認証のしかた	122
ネットワーク設定のしかた	122
設定ファイルをアップロードする	125

設定ファイルをダウンロードする	126
ファームウェアをアップデートする	127
再起動する	128
SIP 状態表示画面	129
トラブルシューティング	132
困ったときの対処について	136

はじめに

■ 本書について

本書では、以下の機種について説明しています。

IP ページングゲートウェイ	IP-A1PG
リモートマイク	IP-A1RM

また、本書で説明の対象となるファームウェアは「Ver. 3.1.0 以降」となります。

本書での説明画面は、主に IP-A1PG の画面を使用しています。機種によっては表示される画面が異なることがあります。

また、機種によっては機能や設定項目が異なる部分があります。本書において、その説明内容が特定の機種に該当する場合、以下の表示をしています。

PG IP-A1PG に該当する説明内容です。

RM IP-A1RM に該当する説明内容です。

■ システム要件

パソコンの推奨動作環境は下記のとおりです。

ディスプレイ	推奨解像度 1920 × 1080 以上
OS	Windows 10 Pro (64bit) Windows 10 Home (64bit) Windows 11 Pro Windows 11 Home
ブラウザ	Microsoft Edge Google Chrome

※ Windows および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Google Chrome は米国 Google LLC の米国およびその他の国における商標です。

■ セキュリティ対策のお願い

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
- 不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害または損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機への不正アクセスを防ぐために、ユーザー ID、およびパスワードは、初期設定から変更してお使いください。設定方法など、詳細については [P 77](#) 「ユーザー設定画面」をお読みください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

放送システムと設定方法について

放送システムは、「放送システムのモデルケース」を基本として組み合わせることにより構築できます。それぞれのモデルケースに対して、設定方法を説明します。

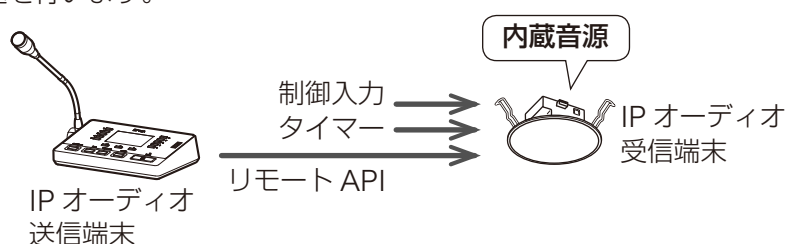
■ 放送システムのモデルケース

放送システムのモデルケースは、①放送する音声ソース、②放送先への放送形態によって分類されます。設定を行うときには、どのモデルケースを使用しているか把握することで、設定がしやすくなります。

音源ファイルを使った定型放送

例 1-1 受信端末での単独内蔵音源放送

IP オーディオ受信端末 1 台ごとに異なる放送条件で放送する場合は、各 IP スピーカーに内蔵した音源ファイルでパターンを作成し、内蔵音源放送を行います。



例 1-2 内蔵音源の SIP 個別放送

IP リモートマイクから IP オーディオ受信端末 1 台ごとに個別の内容を放送する場合は、IP リモートマイクに内蔵した音源ファイルでパターンを作成し、IP オーディオ受信端末へ SIP 接続をして内蔵音源放送を行います。



例 1-3 内蔵音源のグループ放送

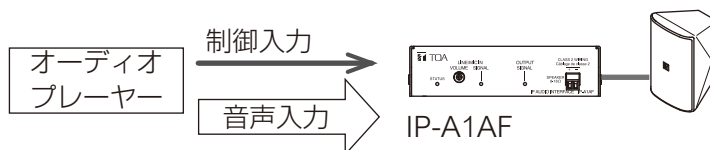
複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に同じ音源ファイルで放送する場合は、IP オーディオ送信端末に内蔵した音源ファイルでパターンを作成し、内蔵音源をマルチキャストで放送します。スケジューラーで定時放送を一括管理したい場合にも有効です。



オーディオプレーヤーなどのアナログ音源の放送

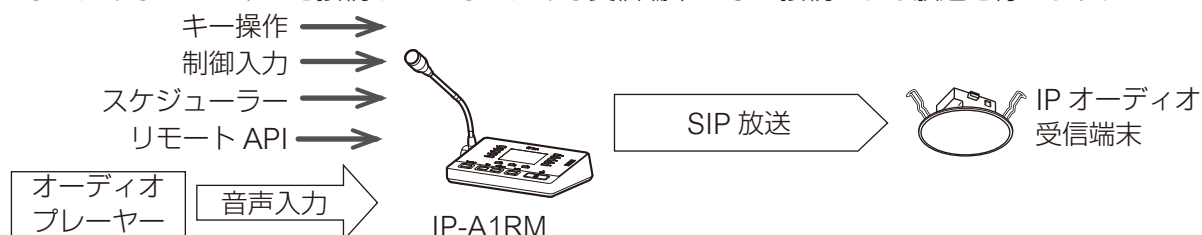
例 2-1 IP 音声インターフェースのローカル放送

IP 音声インターフェース 1 台で BGM 放送をする場合は、IP 音声インターフェースへ直接接続したオーディオプレーヤーからローカル放送を行います。



例 2-2 アナログ音源の SIP 個別放送

IP リモートマイクから IP オーディオ受信端末 1 台ごとにアナログ音源を放送する場合は、IP リモートマイクにオーディオプレーヤーを接続し、IP オーディオ受信端末へ SIP 接続による放送を行います。



例 2-3 アナログ音源のグループ放送

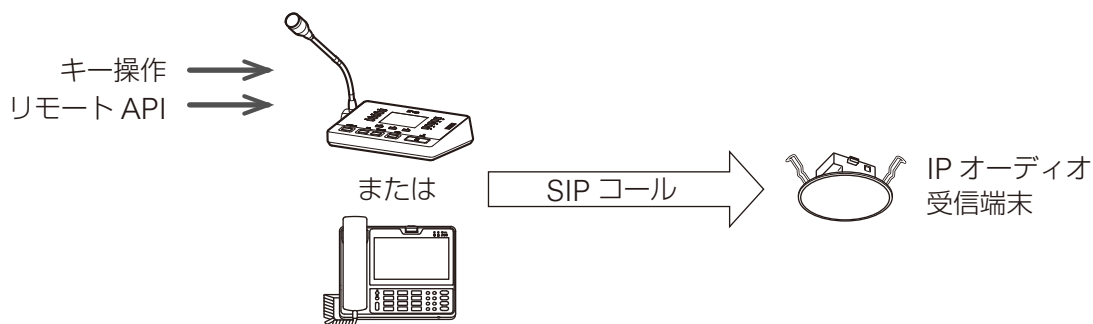
複数の IP オーディオ受信端末に対して同時にアナログ音源を放送する場合は、IP オーディオ送信端末に接続したオーディオプレーヤーからマルチキャスト放送を行います。



マイクによるリアルタイム拡声放送

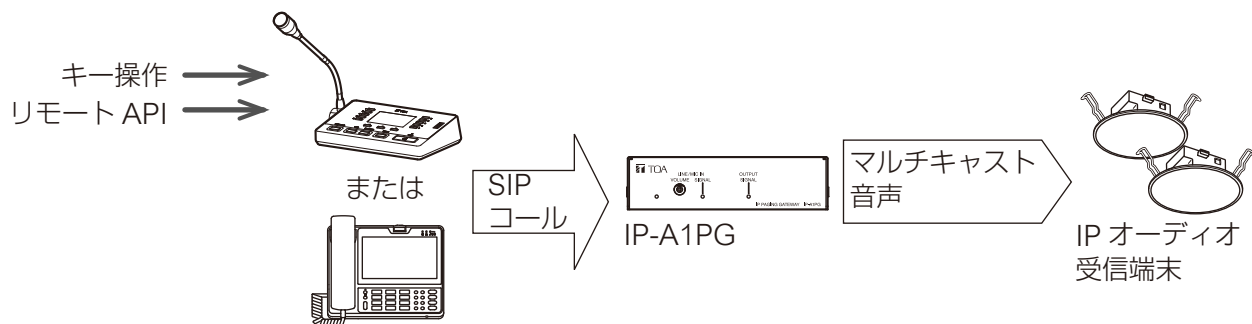
例 3-1 IP オーディオ受信端末への SIP 個別放送

IP リモートマイクや SIP フォンなどの SIP 端末から IP オーディオ受信端末 1 台ごとに個別のリアルタイム拡声放送をする場合、各 IP オーディオ受信端末へ直接 SIP 接続をして SIP 放送を行います。



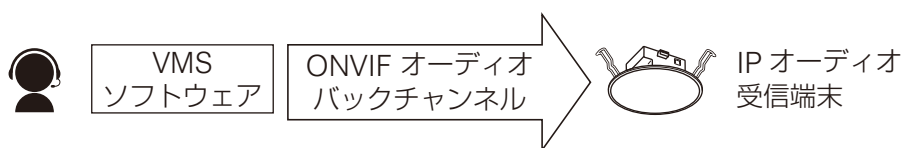
例 3-2 SIP 端末からのグループ拡声放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に IP リモートマイクや SIP フォンなどの SIP 端末から拡声放送する場合は、IP ページングゲートウェイを介してマルチキャスト放送を行います。SIP フォンの場合は DTMF 番号指定することで、変換するマルチキャストのチャンネルを変更することができ、放送先のグループを切り換えることができます。



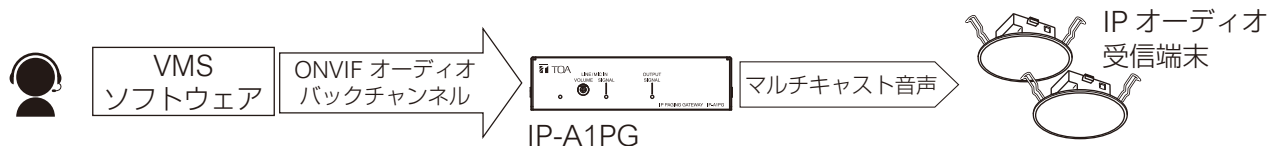
例 3-3 IP オーディオ受信端末への VMS 個別放送

VMS (Video Management System) ソフトウェアやネットワークレコーダーから IP オーディオ受信端末 1 台ごとに個別のリアルタイム拡声放送をする場合は、各 IP オーディオ受信端末へ直接 ONVIF 接続をして VMS 放送を行います。



例 3-4 VMS ソフトウェアからのグループ拡声放送

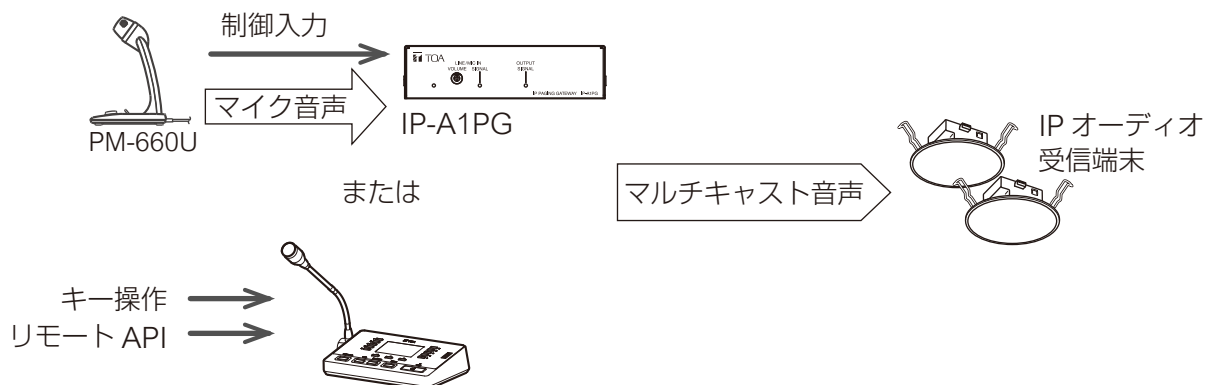
複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に VMS ソフトウェアやネットワークレコーダーから拡声放送する場合は、IP ページングゲートウェイを介してマルチキャスト放送を行います。VMS ソフトウェアの場合はオーディオチャンネル番号を指定することで、変換するマルチキャストのチャンネルを変更することができ、放送先のグループを切り換えることができます。



※ ONVIF は ONVIF Inc. の登録商標です。

例 3-5 マイクによるグループ拡声放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に放送する場合は、IP ページングゲートウェイに接続したマイクや IP リモートマイクにより拡声放送を行います。

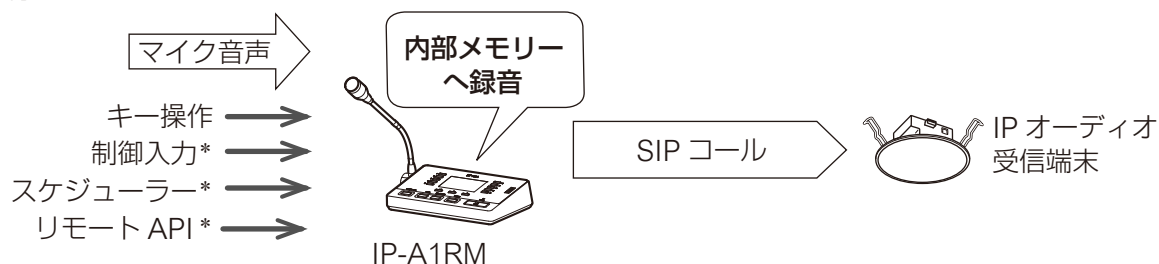


録音放送

IP リモートマイクのマイクから内部メモリーへ事前に放送内容を録音し、放送を行います。

例 4-1 録音音源の SIP 個別放送

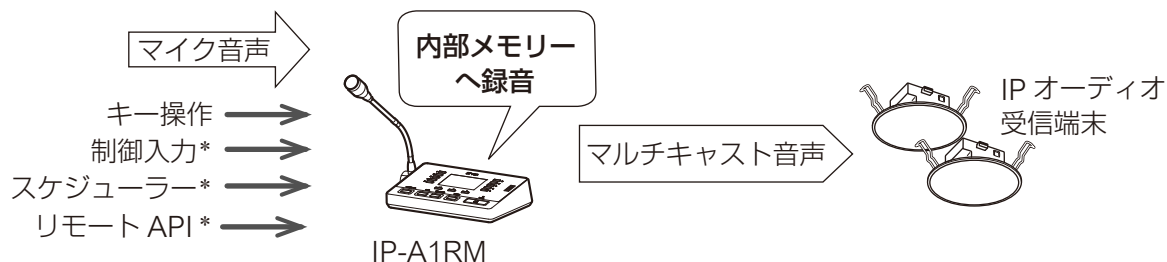
IP オーディオ受信端末 1 台ごとに放送を行う場合は、各 IP オーディオ受信端末へ直接 SIP 接続をして録音放送を行います。



* 録音した音声をパターンに割り当てることで、パターン放送として実行します。

例 4-2 録音音源のグループ放送

複数の IP オーディオ受信端末へ同時に放送を行う場合は、録音音源をマルチキャストで放送します。



* 録音した音声をパターンに割り当てることで、パターン放送として実行します。

放送システムのモデルケースをまとめると、以下となります。

放送の種類	音声ソース	放送先への放送形態	
		個別放送	グループ放送
定型放送	音源ファイル	例 1-1 受信端末での単独内蔵音源放送* ¹	例 1-3 内蔵音源のグループ放送* ²
		例 1-2 内蔵音源の SIP 個別放送* ²	
BGM 放送	アナログ音声	例 2-1 IP 音声インターフェースのローカル放送* ¹	例 2-3 アナログ音源のグループ放送* ²
		例 2-2 アナログ音源の SIP 個別放送* ²	
リアルタイム 拡声放送	SIP 端末 (IP-A1RM 含む)	例 3-1 受信端末への SIP 個別放送* ²	例 3-2 SIP 端末からのグループ拡声放送* ²
	VMS ソフトウェア	例 3-3 受信端末への VMS 個別放送* ¹	例 3-4 VMS ソフトウェアからのグループ拡声放送* ²
	マイク	例 2-1 IP 音声インターフェースのローカル放送* ¹	例 3-5 マイクによるグループ拡声放送* ²
録音放送	録音音源	例 4-1 録音音源の SIP 個別放送* ²	例 4-2 録音音源のグループ放送* ²

*¹ 受信端末を単独で使用するモデルケースになります。設定のしかたは、以下を参照してください。

- ＜受信端末 設定説明書＞
- ・ 放送機能の使いかたについて

*² 送信端末と受信端末を組み合わせるモデルケースになります。設定のしかたは、以下を参照してください。

- ＜送信端末 設定説明書＞
- ・ モデルケース別の設定の流れ
- ＜受信端末 設定説明書＞
- ・ 放送機能の使いかたについて（マルチキャスト放送を行う）

■ モデルケース別の設定の流れ

● 例 1-2 内蔵音源の SIP 個別放送

RM

IP リモートマイクに登録した音源ファイルの音を SIP で送信する「内蔵音源の SIP 個別放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、手順 1 と 9 をスキップしてください。

1 SIP サーバーへの登録設定を行う

🔗 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

2 音源ファイルを機器にアップロードする

🔗 P. 56

- ・ メディア設定画面で、「内蔵音源リスト」に音源ファイルをアップロードします。

3 放送パターンを作成する

🔗 P. 62

- ・ パターン登録画面で音源ファイルを選択し、このパターンでの繰り返し方法や再生間隔、音量などを個別に設定します。

4 放送パターンの音声を確認する

🔗 P. 65

- ・ パターン登録画面の再生ボタンと停止ボタンを使用して、どのように放送されるか音声で確認できます。音声は、モニタースピーカーから聞くことができます。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

5 放送パターンを再生するためのイベントトリガーを設定する

🔗 P. 66

- ・ センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションとして、作成した放送パターンを選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

メモ

操作キーによるマニュアル操作や、スケジューラーによる日時連動で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

6 キー設定を行う

🔗 P. 39

- ・ キー設定画面でキーのアクションに「パターン放送」を選択し、作成した放送パターンを割り当てます。放送先の設定は、キーの放送先に「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

メモ

スケジューラーによる日時連動の放送や、イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

7 送信優先度を設定する

🔗 P. 72

- ・ 優先度設定画面で作成した放送パターンの送信優先度を選択または移動します。

次ページへ

前ページから

再起動

- ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 [P. 34](#)

8 放送するスケジュールを作成する

 [P. 95](#)

- ・日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。

 メモ

イベントトリガーや、操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

9 SIP サーバーへの登録状態を確認する

 [P. 37](#)、[P. 42](#)

- ・ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

10 送信音声を確認する

- ・設定した操作キー、イベントトリガー、またはスケジューラーを実行し、IP リモートマイクのモニタースピーカーから音声が出ることを確認してください。
- ・また、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、パターン登録画面の「入力ボリューム」の設定項目で音量を調節します。[\(P. 62\)](#)

 メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとに音量を調節してください。

● 例 1-3 内蔵音源のグループ放送

IP オーディオ送信端末に登録した音源ファイルの音をマルチキャスト音声で送信する「内蔵音源グループ放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

1 音源ファイルを機器にアップロードする

 P. 56

- ・メディア設定画面で、「内蔵音源リスト」に音源ファイルをアップロードします。

2 放送パターンを作成する

 P. 62

- ・パターン登録画面で音源ファイルを選択し、このパターンでの繰り返し方法や再生間隔、音量などを個別に設定します。

3 放送パターンの音声を確認する

 P. 65

- ・パターン登録画面の再生ボタンと停止ボタンを使用して、どのように放送されるか音声で確認できます。音声は、モニター出力から聞くことができます。

4 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する

 P. 46

- ・放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート番号」（偶数）を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が分かりやすくなります。

再起動

- ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

5 放送パターンを再生するためのイベントトリガーを設定する

 P. 66

- ・センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションとして、作成した放送パターンを選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

メモ

操作キーによるマニュアル操作や、スケジューラーによる日時連動で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

6 キー設定を行う

RM

 P. 39

- ・キー設定画面でキーのアクションに「パターン放送」を選択し、作成した放送パターンを割り当てます。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

メモ

スケジューラーによる日時連動の放送や、イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

7 送信優先度を設定する

 P. 72

- ・優先度設定画面で作成した放送パターンの送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

次ページへ

前ページから



8 放送するスケジュールを作成する

 [P. 95](#)

- ・ 日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。

 **メモ**

イベントトリガーや、操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

9 送信音声を確認する

- ・ 設定したイベントトリガー、キー操作、またはスケジューラーを実行し、モニター出力 **PG** またはモニタースピーカー **RM** から音声が出ることを確認してください。
- ・ また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、パターン登録画面の「入力ボリューム」の設定項目で音量を調節します。([P. 62](#))

 **メモ**

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

IP リモートマイクに接続したオーディオプレーヤーやマイクの音を SIP で送信する「アナログ音源の SIP 個別放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、手順 1 と 6 をスキップしてください。

1 SIP サーバーへの登録設定を行う

 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

2 放送を開始／終了するためのイベントトリガーを設定する

 P. 66

- ・ センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションとして「AUX」を選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

メモ

操作キーによるマニュアル操作や、スケジューラーによる日時連動の放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

3 キー設定を行う

 P. 39

- ・ キー設定画面でキーのアクションに「マニュアル放送」を選択し、AUX のチェックボックスにチェックを入れます。放送先の設定は、「放送先」の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

メモ

スケジューラーによる日時連動の放送や、イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

4 送信優先度を設定する

 P. 72

- ・ 優先度設定画面で作成した放送パターンの送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

5 放送するスケジュールを作成する

 P. 95

- ・ 日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。

メモ

イベントトリガーや、操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

次ページへ

前ページから



6 SIP サーバーへの登録状態を確認する

 [P. 37](#)、[P. 42](#)

- ・ ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

7 送信音声を確認する

- ・ 設定した操作キー、イベントトリガー、またはスケジューラーを実行し、IP リモートマイクのモニタースピーカーから音声が出ることを確認してください。
- ・ また、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、IP リモートマイクの AUX 音量調節器で音量を調節します。

メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 2-3 アナログ音源のグループ放送と例 3-5 マイクによるグループ拡声放送

IP オーディオ送信端末に接続したオーディオプレーヤーやマイクの音をマルチキャスト音声で送信する「アナログ音源のグループ放送」、「マイクによるグループ拡声放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

1 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する

 [P. 46](#)

- ・ 放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート番号」（偶数）を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が分かりやすくなります。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 [P. 34](#)

2 放送を開始／終了するためのイベントトリガーを設定する

 [P. 66](#)

- ・ イベント設定画面で制御入力のアクションとして、「ライン／マイク入力」 **PG** または「AUX」 **RM** を選択すると、制御入力に連動して入力端子に接続した音声で放送ができます。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

 **メモ**

操作キーによるマニュアル操作や、スケジューラーによる日時連動の放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

3 キー設定を行う

RM

 [P. 39](#)

- ・ キー設定画面でキーのアクションに「マニュアル放送」を選択し、「AUX またはマイク」のチェックボックスにチェックを入れます。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

 **メモ**

スケジューラーによる日時連動の放送や、イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

4 送信優先度を設定する

 [P. 72](#)

- ・ 優先度設定画面で「ライン／マイク入力」 **PG** または「AUX またはマイク」 **RM** の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 [P. 34](#)

5 放送するスケジュールを作成する

 [P. 95](#)

- ・ 日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。

 **メモ**

イベントトリガーや、操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

次ページへ

前ページから



6 送信音声を確認する

- ・ 設定したイベントトリガー、キー操作、またはスケジューラーを実行し、モニター出力 **PG** または モニタースピーカー **RM** から音声が出ることを確認してください。
- ・ また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。

メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 3-1 受信端末への SIP 個別放送

RM

IP リモートマイクの本体マイクから SIP で個別の受信端末へ放送を行う「受信端末への SIP 個別放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、手順 1 と 4 をスキップしてください。

1 SIP サーバーへの登録設定を行う

 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

2 キー設定を行う

 P. 39

- ・ キー設定画面でキーのアクションに「マニュアル放送」を選択し、「マイク」のチェックボックスにチェックを入れます。放送先の設定は、放送先の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

3 送信優先度を設定する

 P. 72

- ・ 優先度設定画面で「マイク」の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

4 SIP サーバーへの登録状態を確認する

 P. 37、P. 42

- ・ ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

5 送信音声を確認する

- ・ 設定した操作キーから放送を実行し、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出ることを確認してください。(IP リモートマイクの本体マイクからの放送を行う場合、自機のモニタースピーカーから放送音声は出力されません。)
- ・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 3-2 SIP 端末からのグループ拡声放送

IP リモートマイクや SIP フォンから IP ページングゲートウェイを呼び出すことで、発話音声マルチキャスト音声として転送する「SIP 端末からのグループ拡声放送」を行うことができます。以下のステップを参考に設定してください。手順 1～4 は IP ページングゲートウェイで、手順 5～7 は IP リモートマイクで設定します。

メモ

- 本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、手順 1、5、8 をスキップしてください。
- SIP フォンを送信元とする場合は、手順 5～7 をスキップしてください。

1 SIP サーバーへの登録設定を行う PG

 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

2 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する PG

 P. 46

- ・ 放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート番号」(偶数)を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が分かりやすくなります。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

3 DTMF 番号とマルチキャスト送信チャンネルを関連付ける PG

 P. 48

- ・ 転送設定画面で「SIP」タブを開き、DTMF 番号と放送先となるマルチキャストチャンネルとの関連付けを行います。これにより、SIP 端末からの着信を受け DTMF 番号を認識すると、受話音声を関連付けされたマルチキャストチャンネルに変換し送信されます。

4 送信優先度を設定する PG

 P. 72

- ・ 優先度設定画面で「SIP 放送」の優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

5 SIP サーバーへの登録設定を行う RM

 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

次ページへ

前ページから

6

キー設定を行う RM

 [P. 39](#)

- ・キー設定画面でキーのアクションに「マニュアル放送」を選択し、「マイク」のチェックボックスにチェックを入れます。放送先の設定は、「放送先」の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスと、送信先マルチキャストアドレスに割り当てた DTMF 番号を入力します。

 **メモ**

スケジューラーによる日時連動の放送や、イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

7

送信優先度を設定する RM

 [P. 72](#)

- ・優先度設定画面で「マイク」の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 [P. 34](#)

8

SIP サーバーへの登録状態を確認する

 [P. 37](#)、[P. 42](#)

- ・ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

9

送信音声を確認する

- ・IP リモートマイクのキー操作または SIP フォンから IP ページングゲートウェイを呼び出します。接続後に SIP フォンから DTMF 番号を送信することで、IP ページングゲートウェイで割り当てられた送信マルチキャストアドレスへの転送が開始されます。マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。(IP リモートマイクから放送する場合、DTMF 番号は自動的に送出されます。)
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

 **メモ**

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

本機をネットワークレコーダー（NVR）や Video Management System（VMS）に登録／接続すると、それらのクライアントに接続されたマイクからの音声をマルチキャスト音声として転送する「VMS ソフトウェアからのグループ拡声放送」を行うことができます。以下のステップを参考に設定してください。

1 ONVIF プロトコルで本機を検出／登録／接続できるようにする

 [P. 45](#)

- ・ VMS 放送設定画面で、「VMS 接続機能」を ON にします。
- ・ NVR または VMS のクライアントから検出／登録できるように「制御ポート」「RTSP ポート」「ユーザー名」「パスワード」を設定します。

2 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する

 [P. 46](#)

- ・ 放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート番号」（偶数）を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が分かりやすくなります。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 [P. 34](#)

3 オーディオチャンネルとマルチキャスト送信チャンネルを関連付ける

 [P. 48](#)

- ・ 転送設定画面で VMS 放送タブを開き、「オーディオチャンネル」番号と放送先となるマルチキャストチャンネルとの関連付けを行います。これにより、VMS ソフトウェアがどの「オーディオチャンネル」で出力するかによって、関連付けされたマルチキャストチャンネルに音声を変換し送信されます。

4 送信優先度を設定する

 [P. 72](#)

- ・ 優先度設定画面で「VMS 放送」の優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 [P. 34](#)

5 NVR または VMS へ ONVIF デバイスとして登録／接続する

- ・ NVR または VMS の取扱説明書を確認し、ONVIF デバイスの検出や登録、接続を行ってください。

6 送信音声を確認する

- ・ NVR または VMS のクライアントを操作し、マイクによる放送を開始し、本機のモニター出力から音声が出ることを確認してください。
- ・ また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。

×モ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

IP リモートマイクでマイクから自機内へ録音内容を事前に録音し、SIP で送信する「録音音源からの個別放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。「操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合」と、「録音音源を一旦放送パターンとして登録し、イベントトリガーやスケジューラーで放送を行う場合」の手順を分けて記載しています。

[操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合]

メ モ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、**手順 1 と 4** をスキップしてください。

1 SIP サーバーへの登録設定を行う

🔗 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

2 キー設定を行う

🔗 P. 39

- ・ キー設定画面でキーのアクションに「マニュアル放送」を選択し、「録音」のチェックボックスにチェックを入れます。放送先の設定は、キーの放送先に「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

3 送信優先度を設定する

🔗 P. 72

- ・ 優先度設定画面で「録音音源」の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

4 SIP サーバーへの登録状態を確認する

🔗 P. 37、P. 42

- ・ ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

5 放送内容を録音する

🔗 機器に付属の取扱説明書

- ・ IP リモートマイクの録音キーを押しながら、マイクから放送内容を録音します。録音した内容は、確認キーを押すことでモニタースピーカーで確認することができます。

6 送信音声を確認する

- ・ 設定した操作キーから放送を実行し、IP リモートマイクのモニタースピーカーから音声が出力することを確認してください。
- ・ また、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出力することを確認してください。
- ・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、録音時に IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

メ モ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

【録音音源を一旦放送パターンとして登録し、イベントトリガーやスケジューラーで放送を行う場合】

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、手順 1 と 6 をスキップしてください。

1 SIP サーバーへの登録設定を行う

🔗 P. 42

- ・ SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
- ・ SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」を設定します。

2 放送パターンを作成する

🔗 P. 62

- ・ パターン登録画面で音源ファイルに「録音音源」を選択して放送パターンを作成し、このパターンでの繰り返し方法や再生間隔、音量などを個別に設定します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

3 放送パターンを再生するためのイベントトリガーを設定する

🔗 P. 66

- ・ センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションとして、作成した放送パターンを選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

メモ

スケジューラーによる日時連動で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

4 送信優先度を設定する

🔗 P. 72

- ・ 優先度設定画面で「録音音源」の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

5 放送するスケジュールを作成する

🔗 P. 95

- ・ 日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。

メモ

イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

6 SIP サーバーへの登録状態を確認する

🔗 P. 37、P. 42

- ・ ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

7 放送内容を録音する

🔗 機器に付属の取扱説明書

- ・ IP リモートマイクの録音キーを押しながら、マイクから放送内容を録音します。録音した内容は、確認キーを押すことでモニタースピーカーで確認することができます。

次ページへ

前ページから



8 送信音声を確認する

- ・ 設定したイベントトリガーやスケジューラーから放送を実行し、IP リモートマイクのモニタースピーカーから音声が出ることを確認してください。
- ・ また、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、録音時に IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 4-2 録音音源のグループ放送

RM

IP リモートマイクのマイクから自機内へ録音内容を事前に録音し、マルチキャスト音声で送信する「録音音源からのグループ放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。「操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合」と、イベントトリガーやスケジューラーから「録音音源を放送パターンとして使用する場合」の手順を分けて記載しています。

[操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合]

1 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する

 P. 46

- ・ 放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート番号」（偶数）を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が分かりやすくなります。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

2 キー設定を行う

 P. 39

- ・ キー設定画面でキーのアクションに「マニュアル放送」を選択し、録音のチェックボックスにチェックを入れます。放送先の設定は、キーの放送先に「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

3 送信優先度を設定する

 P. 72

- ・ 優先度設定画面で「録音音源」の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

 P. 34

4 放送内容を録音する

 機器に付属の取扱説明書

- ・ IP リモートマイクの録音キーを押しながら、マイクから放送内容を録音します。録音した内容は、確認キーを押すことでモニタースピーカーで確認することができます。

5 送信音声を確認する

- ・ 設定した操作キーから放送を実行し、IP リモートマイクのモニタースピーカーから音声が出ることを確認してください。
- ・ また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、録音時に IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

 モ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

1 放送パターンを作成する

🔗 P. 62

- ・パターン登録画面で音源ファイルに「録音音源」を選択して放送パターンを作成し、このパターンでの繰り返し方法や再生間隔、音量などを個別に設定します。

2 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する

🔗 P. 46

- ・放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート番号」（偶数）を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が分かりやすくなります。

再起動

- ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

3 放送パターンを再生するためのイベントトリガーを設定する

🔗 P. 66

- ・センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションとして、作成した放送パターンを選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

☒ ☒

スケジューラーによる日時連動で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

4 送信優先度を設定する

🔗 P. 72

- ・優先度設定画面で「録音音源」の送信優先度を選択または移動します。

再起動

- ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

🔗 P. 34

5 放送するスケジュールを作成する

🔗 P. 95

- ・日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。

☒ ☒

イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

6 放送内容を録音する

🔗 機器に付属の取扱説明書

- ・IP リモートマイクの録音キーを押しながら、マイクから放送内容を録音します。録音した内容は、確認キーを押すことでモニタースピーカーで確認することができます。

7 送信音声を確認する

- ・設定したイベントトリガーやスケジューラーから放送を実行し、IP リモートマイクのモニタースピーカーから音声が出ることを確認してください。
- ・また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、録音時に IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

☒ ☒

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

ブラウザ接続のしかた

■ 接続の準備

本機の工場出荷時の設定は次のとおりです。

ユーザー名 : admin
パスワード : guest
IP アドレス : 192.168.14.1
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

本機に接続して設定を変更する前に、お使いのパソコンのネットワーク設定を、本機の設定と合わせる必要があります。また、同一ネットワーク内で、IP アドレスが重複しないようにしてください。

例えば、本機の IP アドレスが 192.168.14.1 になっている場合は、同じ番号にならないよう、お使いのパソコンの IP アドレスの設定を 192.168.14.10 に設定してください。

■ 接続のしかた

ご注意

- 同時に複数のパソコンから接続しないでください。
- 同時に複数のブラウザまたはタブから接続しないでください。

1 本機と設定に使用するパソコンをネットワークに接続する。

2 パソコンでブラウザを起動し、アドレス欄に「本機の IP アドレス」を入力する。

例：192.168.14.1

ログイン画面が表示されます。

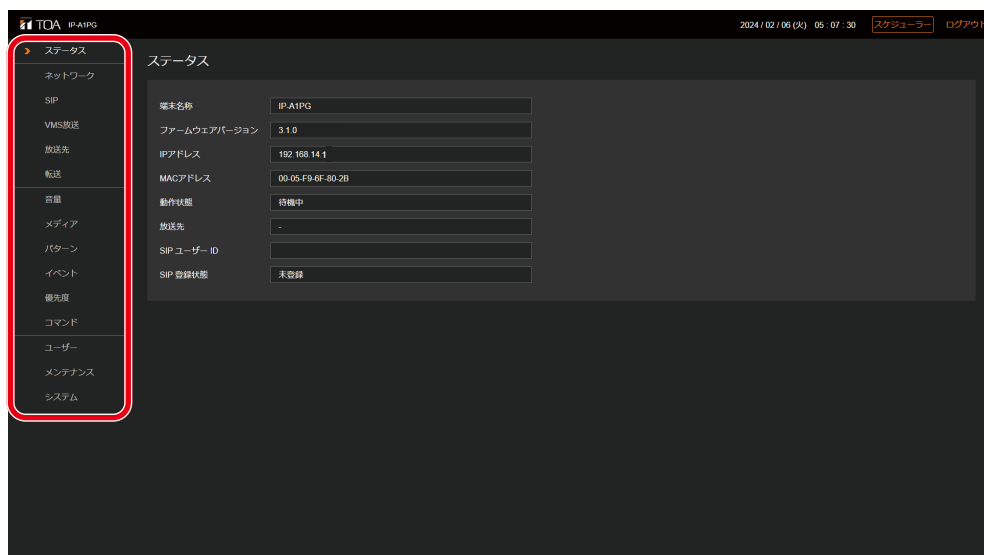
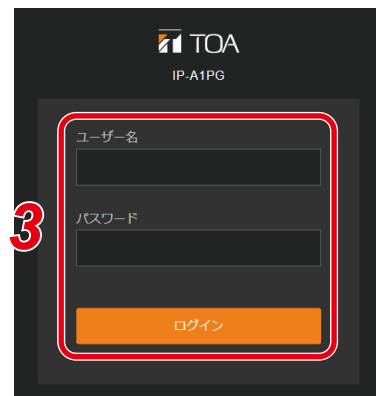
メモ

工場出荷時の IP アドレスは、「192.168.14.1」に設定されています。

3 ユーザー名とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

ステータス画面が表示されます。

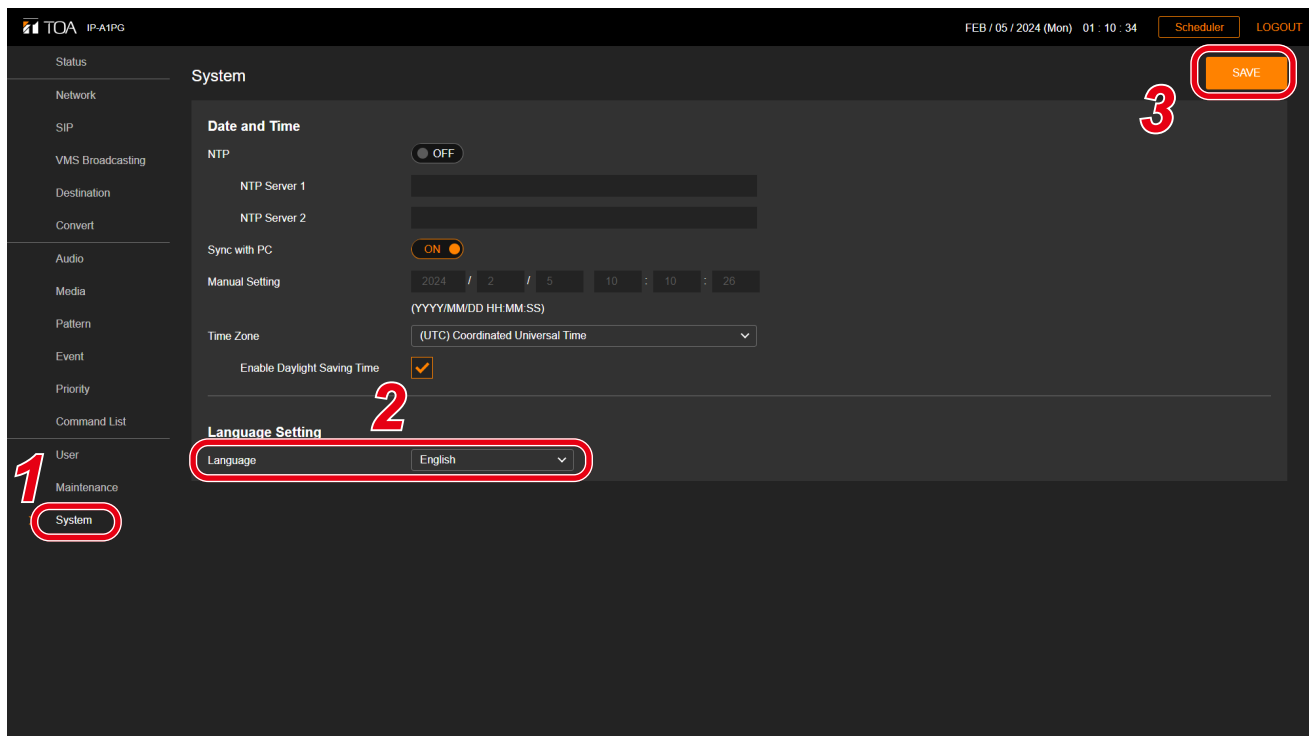
ブラウザ画面の左に並んでいる各機能の名前をクリックして画面を切り換え、各画面で必要な設定を行います。



表示言語を設定する

PG

本機設定画面の表示言語は、初期設定で「English」になっています。システム設定画面（System）で言語設定（Language Setting）を変更することで、表示言語を「日本語」に設定できます。



1 システム設定画面（System）を表示させる。

2 言語設定（Language）で言語を選択する。
リストから「日本語（Japanese）」を選択します。

3 保存（SAVE）ボタンをクリックする。
設定変更が保存されます。
ブラウザでページを更新すると、表示が日本語になります。

現在の日時を設定する

本機を使用し始めるとき、最初に現在の日時を設定してください。スケジューラーで動作させる場合や、ログを確認するために必要な設定です。システム設定画面（ P. 89）で設定を行います。

ご注意

本機を初めて使用する場合や、長時間通電されていない場合、下記のメッセージが表示されます。

日付と時刻は設定されていないかあるいは初期化されました。
日付と時刻を再設定してください。

OK

そのときは、下記のいずれかの手順で現在の日時を設定してください。

● 自動で NTP サーバーに日時を同期する

1 「NTP」を ON にして、日時を同期する NTP サーバーを指定する。

NTP サーバーは 2 つ設定することができます。

「NTP サーバー 1、2」には IP アドレスまたはドメインを入力してください。


優先的に「NTP サーバー 1」へ同期します。



2 「タイムゾーン」を選択する。

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。

日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。



3 保存ボタンをクリックする。

設定変更が保存されるとともに、NTP サーバーへ日時を同期します。同期に成功すると、「同期成功」と表示されます。

メモ

- NTP サーバーへの日時同期は、以下のときに実行されます。ただし、同期するタイミングで本機が放送中の場合、同期しません。
 - 「NTP」が ON の状態で、保存ボタンをクリックしたとき
 - 「NTP」が ON の状態で、本機を再起動したとき
 - 「NTP」が ON の状態で、本機が毎日 0:01 となったとき
- 保存ボタンをクリックしたときに放送機能が実行されている場合は、時刻設定の反映が優先されて実行中の放送は停止します。



● 接続したパソコンの日時に同期する

1 「PC と同期」を ON にする。

「NTP」が OFF のとき、設定を変更できます。



2 「タイムゾーン」を選択する。

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。

日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。

3 保存ボタンをクリックする。

設定変更が保存されるとともに、設定画面を表示しているパソコンの現在の日時と同期します。同期は一度だけ実行されます。定期的に自動で同期するわけではありません。

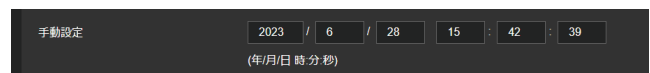
× モ

保存ボタンをクリックしたタイミングで放送機能が実行されている場合、時刻設定の反映を優先し、実行中の放送は停止します。

● 手動で日時を設定する

1 「手動設定」に現在時刻を入力する。

「NTP」が OFF のとき、「PC と同期」が OFF のときに手動で日時を入力できます。



2 「タイムゾーン」を選択する。

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。

日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。

3 保存ボタンをクリックする。

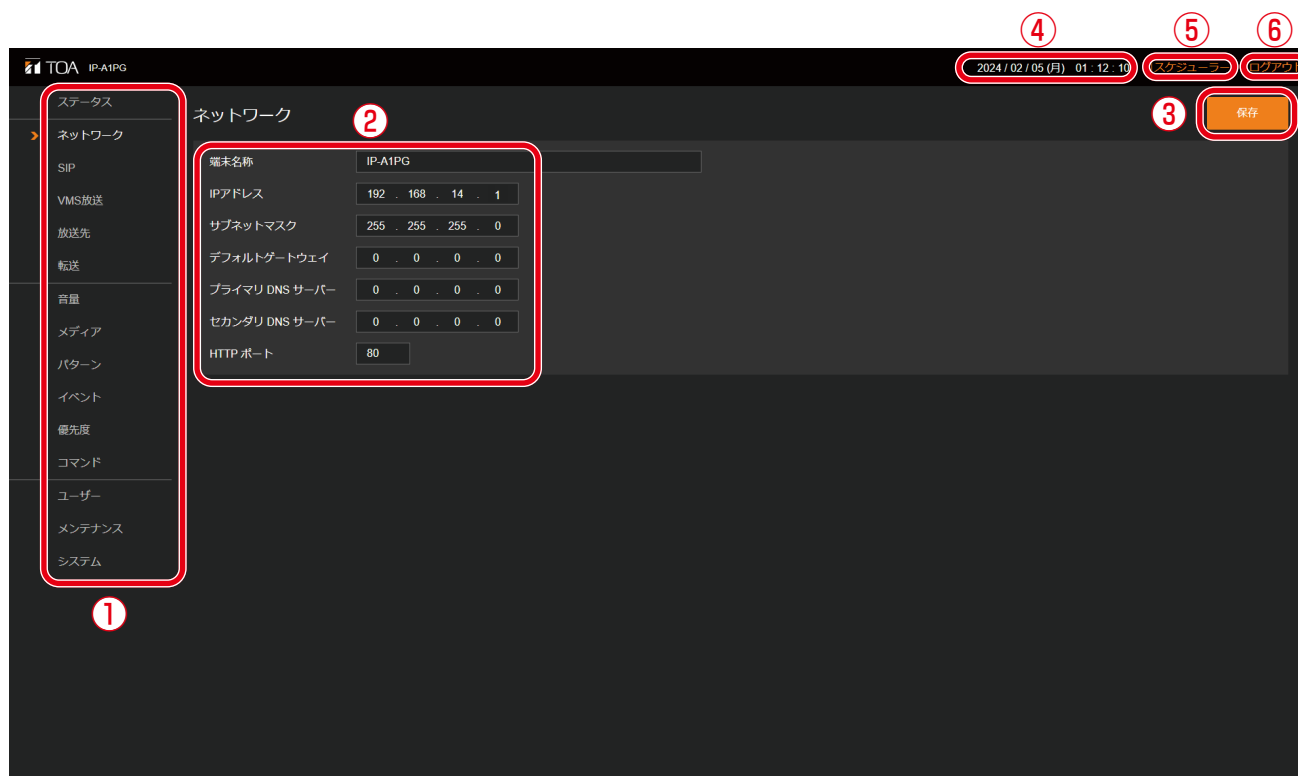
入力された日時が保存されます。

× モ

保存ボタンをクリックしたタイミングで放送機能が実行されている場合、時刻設定の反映を優先し、実行中の放送は停止します。

各画面共通の操作のしかた

画面構成について



	名称	内容
①	設定メニュー	設定メニューをクリックすると、設定項目画面が切り換わります。設定内容を変更した場合は、設定項目画面を切り換える前に保存ボタンにより変更内容を保存してください。
②	設定項目画面	各設定メニューごとの設定項目が表示されます。設定内容を変更した場合は、設定項目画面を切り換える前に保存ボタンにより変更内容を保存してください。
③	保存ボタン	設定変更内容を保存するためのボタンです。
④	現在時刻表示	本機の現在時刻が表示されます。
⑤	スケジューラーボタン	スケジューラー画面に切り換わります。放送や動作のスケジュールを設定することができます。
⑥	ログアウトボタン	設定内容の確認や設定変更が完了した後、ログアウトする場合にクリックします。ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

■ 設定・変更内容の保存のしかた

設定項目の変更を行った場合、保存する必要があります。設定画面により、すぐに設定・変更が適用される場合と、再起動後に適用される場合があります。

● すぐに設定・変更が適用される場合

1 保存ボタンをクリックする。

右記のメッセージが表示され、すぐに設定・変更が適用されたことをお知らせします。

保存

変更は反映されました。

OK

2 OK ボタンをクリックする。

● 設定・変更が再起動後に適用される場合

1 保存ボタンをクリックする。

右記のメッセージが表示され、変更内容が再起動後に適用されることをお知らせします。

保存

変更は再起動後に反映されます。

OK

2 OK ボタンをクリックする。

3 メンテナンス画面を表示し、再起動ボタンをクリックする。

再起動

再起動

■ ご注意

各画面（ステータス画面、メディア設定画面、メンテナンス画面を除く）で内容を設定・変更した後に保存ボタンをクリックしないで画面を切り換えようとする、右の画面が表示されます。

- 設定内容を保存する場合
いいえボタンをクリックし、各画面で保存ボタンをクリックしてから画面を切り換えてください。
- 設定内容を保存しない場合
はいボタンをクリックすると、設定した内容が保存されずに別の画面に切り換わります。

設定を保存せずにページを移動しますか？

はいを押すと、設定を保存せずにページを移動します。
いいえを押すと、元の設定画面に戻ります。

いいえ

はい

■ 再起動のしかた

本機の再起動の手順は次のとおりです。

1 メンテナンス画面を表示する。

2 再起動ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。

3 はいボタンをクリックする。
本機とのネットワーク接続が切断され、本機が自動的に再起動を行います。



再起動しますか? はいを押すとセッションを閉じて再起動します。

いいえ

はい

■ ログアウトのしかた

ログアウトボタン



本機の設定の確認や変更が完了した後に接続を切断するときは、ログアウトボタンをクリックしてください。ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

設定のしかた

■ 設定メニューの構成について

画面左に表示される設定メニューは、機種ごとに異なります。

IP-A1PG、IP-A1RM

①

2023 / 06 / 13 (火) 13 : 21 : 49

スケジューラー

ログアウト

IP-A1PG

TOA IP-A1PG	
②	ステータス
③	ネットワーク
④	SIP
⑤	VMS放送
⑥	放送先
⑦	転送
⑧	音量
⑨	メディア
⑩	パターン
⑪	イベント
⑫	優先度
⑬	コマンド
⑭	ユーザー
⑮	メンテナンス
⑯	システム

IP-A1RM

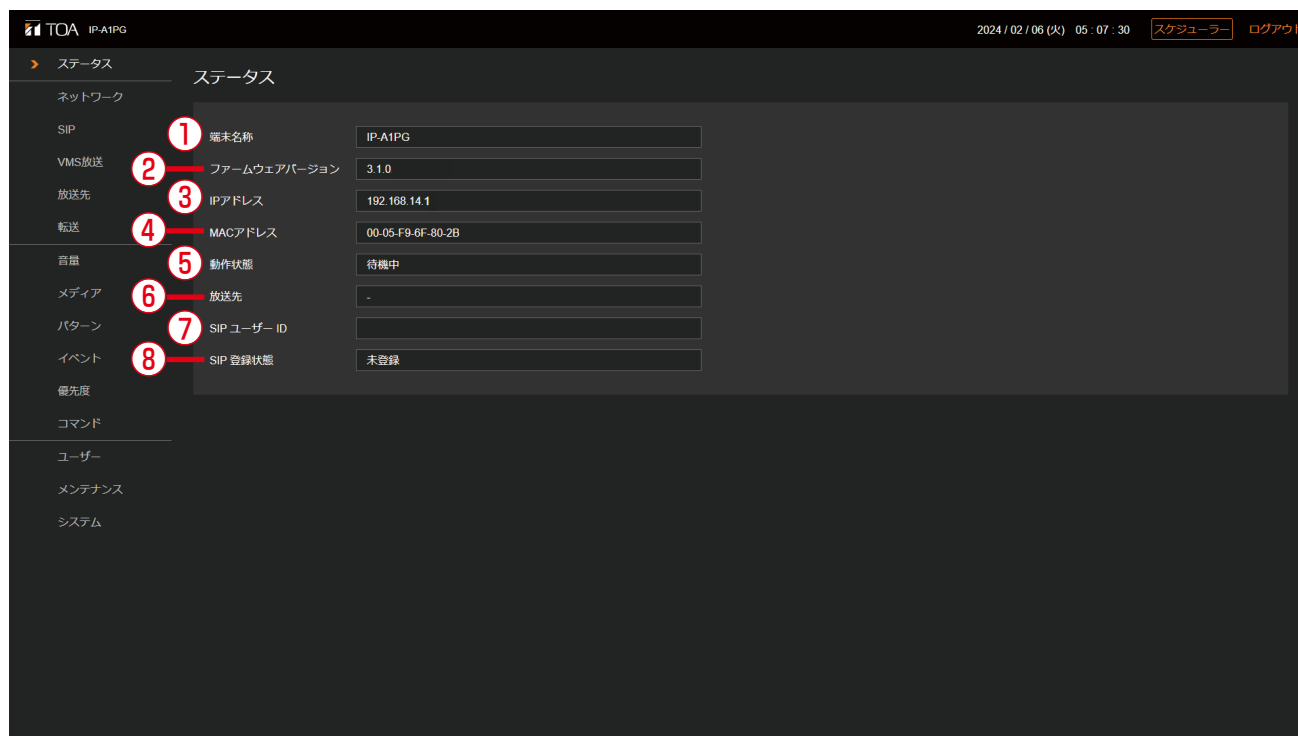
TOA IP-A1RM	
②	ステータス
⑰	キー設定
③	ネットワーク
④	SIP
⑥	放送先
⑧	音量
⑨	メディア
⑱	チャイム
⑩	パターン
⑪	イベント
⑫	優先度
⑬	コマンド
⑭	ユーザー
⑮	メンテナンス
⑯	システム





	設定メニュー	設定項目	設定変更の適用	参照ページ
①	スケジューラー	繰り返しの定時放送やイベント実行のスケジュール登録、編集、削除 1 週間のスケジュールを一覧表示、年間スケジュールの確認	即時	P. 95
②	ステータス画面	現在のファームウェアバージョンやネットワーク設定などの確認	—	P. 37
③	ネットワーク設定画面	IP アドレスなどのネットワークアドレスの設定	再起動後	P. 41
④	SIP 設定画面	SIP 接続の有効／無効、SIP サーバーアドレス、認証情報、オーディオコーデックの設定	再起動後	P. 42
⑤	VMS 放送設定画面 PG	VMS 接続の有効／無効や認証情報の設定、接続ポートの設定	再起動後	P. 45
⑥	放送先設定画面	放送先としてグループ名称を登録、マルチキャストアドレスおよびポート番号を設定	再起動後	P. 46
⑦	転送設定画面 PG	SIP 着信時の DTMF 番号と放送先の変換関係を設定、VMS との接続時のオーディオチャンネルと放送先の変換関係を設定	再起動後	P. 48
⑧	音量設定画面	ライン／マイク入力の変動と感度設定 PG マイク（本体マイク）の感度設定および AUX のミュートと感度設定 RM	即時	P. 52
⑨	メディア設定画面	メッセージなどの音源ファイルを内蔵メモリーに登録／削除	—	P. 56
⑩	パターン登録画面	イベントに連動させる音源再生をパターンとして登録	即時	P. 62
⑪	イベント設定画面	制御入力に連動する動作、制御出力に連動させる動作の設定	再起動後	P. 66
⑫	優先度設定画面	放送の音源に対する優先順位設定	再起動後	P. 72
⑬	コマンドリスト画面	コマンドセットとして複数の HTTP コマンドを登録、設定	即時	P. 75
⑭	ユーザー設定画面	ユーザー名とパスワードの変更	即時	P. 77
⑮	メンテナンス画面	設定ファイルダウンロード／アップロード、初期化、ファームウェア更新、ハードウェア再起動、動作ログのダウンロード	—	P. 78
⑯	システム設定画面	日時設定と NTP 設定、タイムゾーン、言語の設定	即時*	P. 89
⑰	キー設定画面 RM	操作キーに割り当てるアクション、放送先などの設定	即時	P. 39
⑱	チャイム設定画面 RM	放送の開始および終了時に鳴動させるチャイムの設定	再起動後	P. 60

* IP-A1RM の液晶画面のメニュー表示言語は、再起動後に変更が反映されます。

ステータス画面の表示




現在の本機の状態を表示します。
このページは表示のみですので、このページでは内容の変更は行えません。



	項目	内容
①	端末名称	ネットワーク設定画面（P. 41）で設定した機器名称が表示されます。
②	ファームウェアバージョン	本機のファームウェアバージョンが表示されます。 （  P. 83 「ファームウェア更新のしかた」）
③	IP アドレス	ネットワーク設定画面（P. 41）で設定した IP アドレスが表示されます。
④	MAC アドレス	本機の MAC アドレスが表示されます。
⑤	動作状態	本機の動作状態を表示します。（  P. 38 「ステータス表示と状態表示灯について」）
⑥	放送先	本機が放送動作中に、どのマルチキャスト送信チャンネルを使用して放送しているか表示します。放送先設定画面で設定された各マルチキャスト送信チャンネルのグループ名称を表示します。 — ：放送を行っていない状態 グループ名称 ：表示された放送先へ音声送信中
⑦	SIP ユーザー ID	SIP サーバーに登録される本機ของผู้ใช้ ID が表示されます。 （  P. 42 「SIP 設定画面」）
⑧	SIP 登録状態	SIP サーバーに登録するときの本機の登録状態が表示されます。 （  P. 42 「SIP 設定画面」） <ul style="list-style-type: none">● 登録成功● 登録失敗● 登録中● 未登録

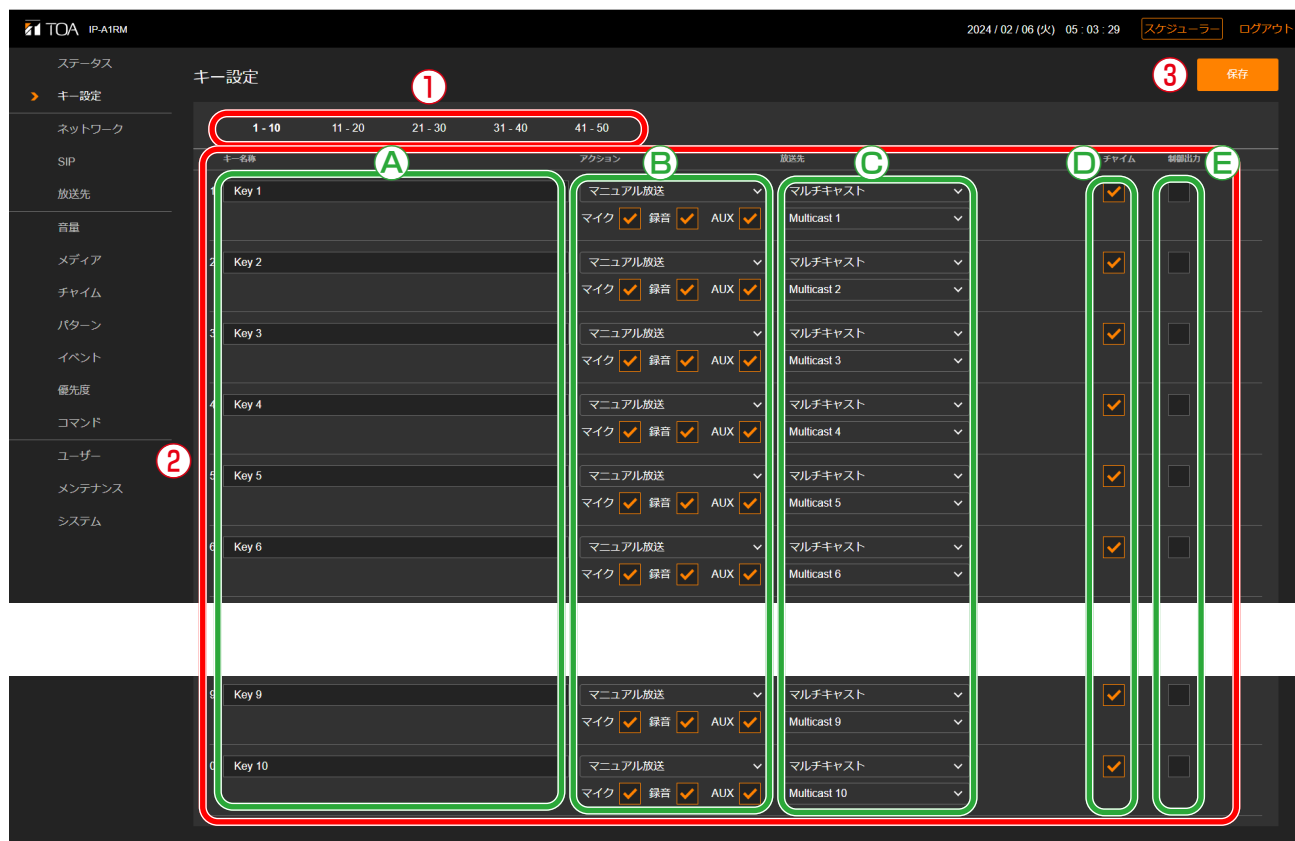
■ ステータス表示と状態表示灯について

ステータス画面におけるステータス項目の表示と状態表示灯は以下のような関係となります。

本機の状態	ステータス画面の ステータス表示	マイク表示灯	状態表示灯
		IP-A1RM (青)	IP-A1PG、IP-A1RM (緑、青、黄、赤)
システム起動中	—	消灯	緑色点滅  0.5 - 0.5 秒  0.5 - 1 秒 
待機中	待機中	消灯	緑色点灯 
音源確認中 	待機中	消灯	緑色点灯 
音源録音中 	待機中	青色点灯 	緑色点灯 
放送中	 SIP DTMF 入力待ち SIP (マルチキャスト転送中) VMS (マルチキャスト転送中) パターン ## (音源ファイル名) (マルチキャスト放送中) LINE / MIC 入力 (マルチキャスト放送中)	—	青色点灯 
	 マイク (SIP 発呼中／放送中、マルチキャスト放送中)	青色点灯 	
	 AUX (SIP 発呼中／放送中、マルチキャスト放送中) 録音音源 (SIP 発呼中／放送中、マルチキャスト放送中) パターン ## (音源ファイル名) (SIP 発呼中／放送中、マルチキャスト放送中)	消灯	
システムミュート中*	システムミュート中	消灯	赤色点滅  0.5 - 0.5 秒 
初期化中 ファームウェア更新中	—	消灯	黄色点灯 

* システムミュート中とは、本機のミュート端子または制御入力への信号によって、本機からの放送音声が入力されるとともに、同一ネットワークの IP スピーカーがミュートするように制御されている状態です。

選択キーに関する設定を行います。設定した内容は本機の液晶画面に反映されます。



① ページタブ

タブをクリックすると、該当のキー設定画面に切り換わります。

各タブで 10 個の選択キーへ機能を割り当て、合計で 50 種類のアクションを設定することができます。


② キー設定

それぞれのキーに割り当てるアクションを設定します。

	項目	内容
A	キー名称	<p>選択キーの名称を設定します。設定した名称は、本体の液晶画面のキー名称欄に表示されます。</p> <p>表示可能な文字数は、全角 16 文字、半角 32 文字です。</p> <p>初期設定：Key 1 ～ 50</p> <p>メモ</p> <p>本機での文字の表示は、字数によって次のようになります。</p> <p>全角文字の場合</p> <p>1 ～ 6 文字 ： 16 ポイント、1 行</p> <p>7 ～ 8 文字 ： 12 ポイント、1 行</p> <p>9 ～ 16 文字 ： 12 ポイント、2 行</p> <p>半角文字の場合</p> <p>1 ～ 12 文字 ： 16 ポイント、1 行</p> <p>13 ～ 16 文字 ： 12 ポイント、1 行</p> <p>17 ～ 32 文字 ： 12 ポイント、2 行</p>

	項目	内容
B	アクション	<p>各キーを押したとき実行するアクションを選択します。選択したアクションごとに設定可能な項目が変わります。 初期設定：マニュアル放送</p> <p>【アクションに「マニュアル放送」を選択した場合】 マニュアル放送で使用する音源を選択します。複数を選択した場合は、本体での放送操作時に音源を手動で選択します。選択するには、該当するチェックボックスにチェックを入れます。 マイク：本体マイクからの音声を送信します。 録音：本体マイクから自機内に事前に録音した音声を送信します。 AUX：AUX 入力からの入力音声を送信します。</p> <p>【アクションに「パターン放送」を選択した場合】 内蔵音源によるパターン放送を実行します。パターン登録画面で設定されたパターン名称を表示します。 設定範囲：Pattern 1 ～ 20</p> <p>【アクションに「制御出力」を選択した場合】 制御出力を ON/OFF します。</p> <p>【アクションに「コマンドセット」を選択した場合】 コマンド画面で設定したコマンドセットを実行します。コマンドセット名を表示します。 設定範囲：Command Set 0 ～ 9</p>
C	放送先	<p>アクションにマニュアル放送またはパターン放送を設定した場合に、放送先を選択します。</p> <p>グループ放送を行う場合は放送先にマルチキャストを選択し、放送先となるマルチキャスト送信先チャンネルを選択します。 設定範囲：Multicast 1 ～ Multicast 20</p> <p>個別放送を行う場合は放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる SIP 端末の SIP ユーザー ID/IP アドレスを入力します。IP ページングゲートウェイ経由でグループ放送を行う場合は、「IP ページングゲートウェイで放送先に設定した DTMF 番号」を入力します。</p> <p>初期設定：マルチキャスト Multicast#（#はキーの番号ごとに異なります。）</p>
D	チャイム	<p>アクションにマニュアル放送を設定した場合に、放送開始および終了時のチャイム鳴動の有無を選択します。なお、この項目での設定にかかわらず、本機のキー操作で放送を行うときにチャイム鳴動の有無を変更できます。 チャイム鳴動させるときはチェックボックスにチェックを入れます。 初期設定：チェックあり</p>
E	制御出力	<p>アクションにマニュアル放送を設定した場合に、放送に連動して制御出力から信号を送り外部機器を制御することができます。 チェックボックスにチェックを入れると、設定されたキーによる放送を開始したときに外部制御出力がオンになり、放送が停止したときにオフになります。 初期設定：キー 1 ～ 20 チェックあり キー 21 ～ 50 チェックなし</p> <p>メモ アクションにパターン放送を選択した場合、放送に連動した制御出力の設定はパターン設定画面で行い、その設定状態をキー設定画面で表示します。</p>

③ 保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。  P. 33

ネットワーク設定画面

本機のネットワーク関連の設定を行います。

TOA IP-A1PG 2024 / 02 / 05 (月) 01 : 12 : 10 スケジューラー ログアウト

ステータス ネットワーク

ネットワーク

SIP ① 端末名称 IP-A1PG

VMS放送 ② IPアドレス 192 . 168 . 14 . 1

放送先 ③ サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

転送 ④ デフォルトゲートウェイ 0 . 0 . 0 . 0

音量 ⑤ プライマリ DNS サーバー 0 . 0 . 0 . 0

メディア セカンダリ DNS サーバー 0 . 0 . 0 . 0

パターン ⑥ HTTP ポート 80

イベント

優先度

コマンド

ユーザー

メンテナンス

システム

⑦ 保存

	項目	内容
①	端末名称 * 1、* 2	本機の端末名称を設定します。 初期設定：品番
②	IP アドレス * 2	本機の IP アドレスを設定します。 プライベートアドレスのみ入力可能です。 初期設定：192.168.14.1
③	サブネットマスク * 2	本機のサブネットマスクを設定します。 初期設定：255.255.255.0
④	デフォルトゲートウェイ * 2	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 初期設定：0.0.0.0
⑤	DNS サーバー	DNS サーバーのアドレスを設定します。プライマリ DNS サーバーとセカンダリ DNS サーバーを設定することができます。 初期設定：0.0.0.0（無効）
⑥	HTTP ポート	HTTP サーバーポート番号を設定します。通常は初期設定のままで使用してください。 設定範囲：80 または 10000 ～ 40000 初期設定：80
⑦	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。🔒 P. 33

* 1 設定できる文字や文字数については、P. 91「使用可能な文字」をお読みください。

* 2 設定ファイルアップロード時に設定が変更されず、元の設定値を維持する項目です。

SIP 設定画面

SIP 接続に関連する設定を行います。

PG

TOA IP-A1PG 2024 / 02 / 05 (月) 01 : 15 : 55 スケジューラー ログアウト

ステータス SIP 14 保存

ネットワーク

SIP 1 SIP アカウント設定 OFF 未登録

SIP アカウント

2 SIP サーバーアドレス

3 SIP サーバーポート 5060

4 登録有効期限 1800 秒

5 ユーザー ID

6 表示名称 IP-A1PG

7 パスワード

8 認証 ID

その他の設定

9 オーディオコーデック 無効 有効

Opus
G722
G711u
G711a

11 通話時間制限 3600 秒

12 RTP タイムアウト 30 秒

13 優先放送元

IPアドレス / SIP ユーザーID

RM

TOA IP-A1RM 2024 / 02 / 05 (月) 01 : 39 : 20 スケジューラー ログアウト

ステータス SIP 14 保存

キー設定

ネットワーク

1 SIP アカウント設定 OFF 未登録

SIP アカウント

2 SIP サーバーアドレス

3 SIP サーバーポート 5060

4 登録有効期限 1800 秒

5 ユーザー ID

6 表示名称 IP-A1RM

7 パスワード

8 認証 ID

その他の設定

9 オーディオコーデック 無効 有効

Opus
G722
G711u
G711a


10 呼び出し時間制限 25 秒

11 通話時間制限 3600 秒

12 RTP タイムアウト 30 秒

	項目	内容
①	SIP アカウント設定	<p>スイッチをクリックして、SIP アカウントの有効・無効を切り換えます。</p> <p>ON : SIP アカウントは有効となり、SIP サーバーへ登録されます。</p> <p>OFF : SIP アカウントは無効となり、SIP サーバーへ登録されません。</p> <p>初期設定 : OFF</p> <p>SIP サーバーへの登録状態が、右側に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●登録成功 ●登録失敗 ●登録中 ●未登録
②	SIP サーバーアドレス*	<p>SIP サーバーのアドレスを設定します。IP アドレスまたはドメイン名を設定することができます。</p> <p>初期設定 : 空欄</p>
③	SIP サーバーポート	<p>SIP サーバーと通信するためのポート番号を設定します。</p> <p>設定範囲 : 1024 ~ 65532</p> <p>初期設定 : 5060</p>
④	登録有効期限	<p>本機が SIP サーバーに登録をリクエストするときの有効期限を設定します。SIP サーバー側に設定されている登録有効期限に合わせて適切な値を設定してください。(単位 : 秒)</p> <p>設定範囲 : 60 ~ 7200</p> <p>初期設定 : 1800</p>
⑤	ユーザー ID *	<p>SIP サーバーに登録するときの本機のユーザー ID を設定します。多くの場合、本機を呼び出すときの番号として使用します。</p> <p>初期設定 : 空欄</p>
⑥	表示名称*	<p>SIP フォンなどの他の SIP デバイスに表示する名称を設定します。ユーザー ID と同じでも構いません。</p> <p>初期設定 : 品番</p>
⑦	パスワード*	<p>本機を SIP サーバーに登録するためのパスワードを設定します。</p> <p>初期設定 : 空欄</p>
⑧	認証 ID *	<p>SIP サーバーに本機を登録するときの認証 ID を入力します。使用する場合はチェックボックスにチェックを入れます。</p> <p>初期設定 : チェックボックス チェックなし、認証 ID 空欄</p>
⑨	オーディオコーデック	<p>SIP 放送で使用するコーデックを右側の有効枠に、使用しないコーデックを左側の無効枠の中に移動させます。</p> <p>Opus、G722、G711u、G711a のそれぞれのコーデック名のボタンを選択し、コーデック名の左側にチェックマークが表示された状態で「←」ボタンや「→」ボタンをクリックして、どちらかの枠の中に移動させます。有効枠の中に複数のコーデックを選択している場合は、∨ボタンや∧ボタンをクリックして上下の順番を並び替えることで、それぞれのコーデックの優先順位を設定できます。(上側にあるコーデックの方が、下側のコーデックよりも優先して選択されます。)</p>
⑩	呼び出し時間制限 RM	<p>SIP 接続の呼び出し時間の上限を秒数で設定します。(単位 : 秒)</p> <p>設定範囲 : 25 ~ 60</p> <p>初期設定 : 25</p>
⑪	通話時間制限	<p>SIP 接続の通話時間の上限を秒数で設定します。(単位 : 秒)</p> <p>設定範囲 : 1 ~ 18000</p> <p>初期設定 : 3600</p>
⑫	RTP タイムアウト	<p>設定した時間、本機に RTP パケットが届かない場合に接続状態がタイムアウトし、切断されます。</p> <p>設定範囲 : 5 ~ 3600 秒</p> <p>初期設定 : 30 秒</p>

* 設定できる文字や文字数については、P. 91「使用可能な文字」をお読みください。

	項目	内容
⑬	優先放送元 PG	優先放送元に設定された端末から SIP 着呼すると、他の端末からの SIP 放送を実行中であっても、割り込んで放送を開始します。使用する場合はチェックボックスにチェックを入れます。 初期設定：チェックボックス チェックなし、優先放送元 空欄
⑭	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。( P. 33)

VMS 放送設定画面

PG

VMS 接続に関連する設定を行います。

	項目	内容
①	VMS 放送機能	スイッチをクリックして、VMS 放送機能の使用する・使用しないを切り換えます。 ON : Onvif サーバーが有効となり、VMS 放送を使用できます。 OFF : Onvif サーバーが無効となり、VMS 放送は使用できません。 初期設定 : ON
②	制御ポート	他の機器から本機へ VMS 接続する場合の制御ポートを設定します。 設定範囲 : 9090 または 10000 ~ 40000 初期設定 : 9090
③	RTSP ポート	本機から他の機器へ VMS 接続により映像を配信するための RTSP ポートを設定します。 <div>× モ</div> ルーターでポートフォワーディングの設定をする場合、LAN 側／WAN 側のポート番号が一致するように設定してください。 設定範囲 : 554 または 10000 ~ 40000 初期設定 : 554
④	ユーザー名*	他の機器から VMS 接続する場合の本機のユーザー名称を設定します。 初期設定 : admin
⑤	パスワード*	他の機器から VMS 接続する場合の本機のパスワードを設定します。 初期設定 : guest
⑥	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(P.33)

* 設定できる文字や文字数については、P.91「使用可能な文字」をお読みください。

ご注意

WAN 環境で VMS ソフトウェアから VMS 放送を行う場合、VMS ソフトウェアが RTP/RTSP/TCP (Video/Audio/Audio Backchannel) に対応している必要があります。VMS ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

放送先設定画面

放送先として使用するマルチキャスト送信チャンネルを設定します。

放送先

マルチキャスト送信チャンネル設定

① グループ名称

② マルチキャストアドレス

ポート番号

③ オーディオコーデック

④ TTL

⑤ 保存

グループ名称	マルチキャストアドレス	ポート番号
Multicast 1	239 . 239 . 14 . 1	48000
Multicast 2	239 . 239 . 14 . 2	48002
Multicast 3	239 . 239 . 14 . 3	48004
Multicast 4	239 . 239 . 14 . 4	48006
Multicast 5	239 . 239 . 14 . 5	48008
Multicast 6	239 . 239 . 14 . 6	48010
Multicast 7	239 . 239 . 14 . 7	48012
Multicast 8	239 . 239 . 14 . 8	48014
Multicast 9	239 . 239 . 14 . 9	48016
Multicast 10	239 . 239 . 14 . 10	48018
Multicast 11	239 . 239 . 14 . 11	48020
Multicast 19	239 . 239 . 14 . 19	48036
Multicast 20	239 . 239 . 14 . 20	48038

共通設定

オーディオコーデック: Opus


TTL: 1

マルチキャスト送信チャンネル設定

	項目	内容
①	グループ名称*	マルチキャスト送信チャンネルの名称を設定できます。受信端末と名称を合わせることで、放送グループの名称として活用できます。 初期設定：Multicast 1 ～ Multicast 20
②	マルチキャストアドレス／ポート番号	マルチキャスト音声を送信するための送信アドレスとポート番号を設定します。マルチキャストアドレスにはクラス D アドレスを入力してください。ポート番号は偶数を入力してください。 <マルチキャストアドレス> 設定範囲：クラス D アドレス 初期設定：239.239.14.1 ～ 239.239.14.20 <ポート番号> 設定範囲：1024 ～ 65532 初期設定：48000 ～ 48038（偶数）

* 設定できる文字や文字数については、P. 91「使用可能な文字」をお読みください。

共通設定

	項目	内容
③	オーディオコーデック	送信するマルチキャスト音声のコーデックを設定します。 Opus : 音声コーデックが Opus となります。 G711u : 音声コーデックが PCMU(G.711u) となります。 G711a : 音声コーデックが PCMA(G.711a) となります。 G722 : 音声コーデックが G.722 となります。 初期設定 : Opus *
④	TTL	送信するマルチキャスト音声の TTL 値を設定します。マルチキャストルーティングが必要な環境では、適切な値に設定してください。 設定範囲 : 1 ~ 255 初期設定 : 1
⑤	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。( P. 33)

* ファームウェアが Ver.3.0.1 以前の場合は G.722

SIP 着信時の DTMF 番号と放送先の転送関係、VMS ソフトウェアとの接続時のオーディオチャンネルと放送先の転送関係を設定します。

● SIP 放送 転送設定

有効	DTMF	放送先
<input checked="" type="checkbox"/>	01	Multicast 1
<input checked="" type="checkbox"/>	02	Multicast 2
<input checked="" type="checkbox"/>	03	Multicast 3
<input checked="" type="checkbox"/>	04	Multicast 4
<input checked="" type="checkbox"/>	05	Multicast 5
<input checked="" type="checkbox"/>	06	Multicast 6
<input checked="" type="checkbox"/>	07	Multicast 7
<input checked="" type="checkbox"/>	08	Multicast 8
<input checked="" type="checkbox"/>	09	Multicast 9
<input checked="" type="checkbox"/>	10	Multicast 10
<input checked="" type="checkbox"/>	11	Multicast 11
<input checked="" type="checkbox"/>	12	Multicast 12
<input checked="" type="checkbox"/>	13	Multicast 13
<input checked="" type="checkbox"/>	14	Multicast 14
<input checked="" type="checkbox"/>	15	Multicast 15
<input checked="" type="checkbox"/>	16	Multicast 16
<input checked="" type="checkbox"/>	17	Multicast 17
<input checked="" type="checkbox"/>	18	Multicast 18
<input checked="" type="checkbox"/>	19	Multicast 19
<input checked="" type="checkbox"/>	20	Multicast 20

	項目	内容
①	有効チェックボックス	転送設定として有効化する番号にチェックを入れます。 初期設定：1～10 チェックあり、11～20 チェックなし
②	DTMF 番号	SIP フォンと本機が通話状態になった後、SIP フォンから入力する DTMF 番号を認識して、どの放送先へマルチキャストで転送するか設定します。DTMF 番号は 2 桁で設定することができます。異なる転送設定に対して、同じ DTMF 番号を登録することはできません。 設定範囲：0～9, *, #, A, B, C, D 初期設定：01～20 ご注意 本機の DTMF 信号の方式は以下に対応しています。インバンド方式には対応しておりません。 ・DTMF over RTP (RFC2833) ・SIP INFO メッセージ
③	放送先	SIP フォンからの音声をどのマルチキャスト送信チャンネルへ転送するか選択します。 放送先設定で設定されているグループ名が表示されます。 設定範囲：Multicast 1～Multicast 20 初期設定：Multicast 1～Multicast 20
④	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(P. 33)

● VMS 放送 転送設定

TOA IP-A1PG

2024 / 02 / 05 (月) 01 : 21 : 14

スケジュール ログアウト

ステータス

ネットワーク

SIP

VMS放送

放送先

転送

音量

メディア

パターン

イベント

優先度

コマンド

ユーザー

メンテナンス

システム

転送

SIP

VMS 放送

1

2

3

放送先

チャンネル 1

チャンネル 2

チャンネル 3

チャンネル 4

チャンネル 5

Multicast 1


Multicast 2

Multicast 3

Multicast 4

Multicast 5

保存

	項目	内容
①	チャンネル 1 ～ 5	本機を VMS ソフトウェアと ONVIF で接続したとき、5 つのチャンネルを持つデバイスとして認識します。それぞれのチャンネルと放送先（マルチキャスト送信チャンネル）との転送関係を設定します。
②	放送先	VMS からの音声をどのマルチキャスト送信チャンネルへ転送するか選択します。 放送先設定で設定されているグループ名が表示されます。 設定範囲：Multicast 1 ～ Multicast 20 初期設定：Multicast 1 ～ Multicast 5
③	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。（  P. 33）

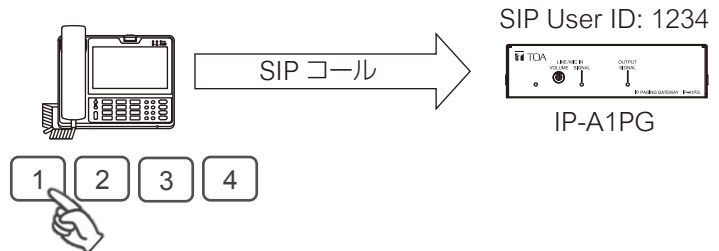
■ SIP からマルチキャスト放送へ変換する場合の動作について

SIP フォンや IP リモートマイクから IP ページングゲートウェイを呼び出してマルチキャスト放送するときの放送先の選択操作の手順を説明します。

● SIP フォンからの放送先選択操作について

1 SIP フォンから IP ページングゲートウェイを呼び出す。

IP ページングゲートウェイの SIP ユーザー ID または IP アドレスにより、SIP フォンから呼び出し操作を行います。IP ページングゲートウェイが自動着信すると、DTMF 番号の入力待ち状態となり、以下のような音声がかかります。

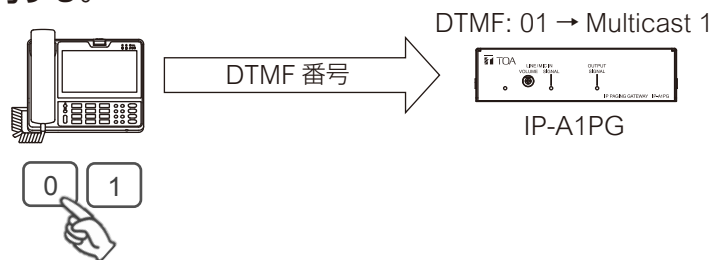


「ティロリン - ティロリン - ティロリン - ティロリン」

DTMF 番号の入力待ち状態は 30 秒間継続し、その間上記の音声がかかります。

2 放送先に割り当てた DTMF 番号を入力する。

DTMF 番号の入力待ち状態（30 秒）の間に、転送設定画面で設定されている放送したい放送先に割り当てられた DTMF 番号を入力します。有効となっている正しい DTMF 番号を入力すると、以下のような音声が聞こえ、放送できる状態になります。



「ポポピンポンパン」

DTMF 番号の入力待ち状態が 30 秒経過したり、DTMF 番号の入力が間違っていると、以下のような音声が聞こえ、自動的に終話します。

「ポポン - ポポン」

ご注意

本機の DTMF 信号の方式は以下に対応しています。インバンド方式には対応しておりません。SIP フォンによっては、DTMF 信号の方式を変更できるものがあります。

- ・ DTMF over RTP (RFC2833)
- ・ SIP INFO メッセージ

3 放送を行う。

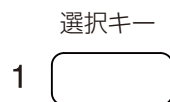
受話器からの音声が、選択した放送先へ放送されます。

4 SIP フォンを終話する。

受話器を置いて終話すると、放送を終了します。

● IP リモートマイクからの放送先選択操作について

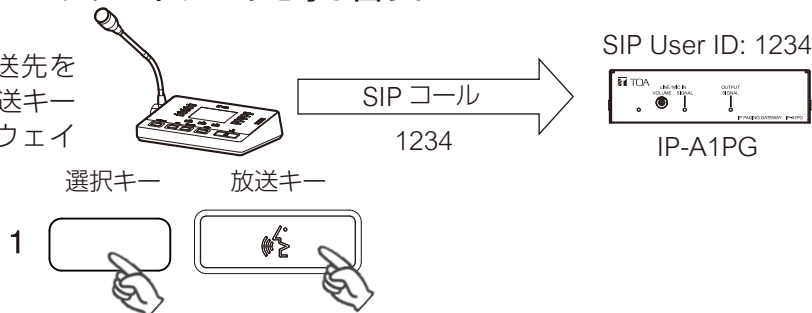
事前に、IP リモートマイクの選択キーに放送先を設定しておきます。「IP ページングゲートウェイの SIP ユーザー ID/IP アドレス」と「IP ページングゲートウェイで放送先に設定した DTMF 番号」を割り当ててことで、放送先が設定されます。



●割り当て例
ユーザー ID : 1234
DTMF 番号 : 01

1 IP リモートマイクから IP ページングゲートウェイを呼び出す。

IP リモートマイクで、事前に放送先を設定した選択キーを押してから放送キーを押すと、IP ページングゲートウェイへ SIP 接続を行います。



SIP 接続の確立後、自動的に IP リモートマイクから IP ページングゲートウェイへ DTMF 番号を送出します。



DTMF 番号を受け付けた後、IP ページングゲートウェイは IP リモートマイクに DTMF 応答を返します。応答を受けると、IP リモートマイクのマイク表示灯が青色に点灯し、放送ができる状態になります。



メモ

DTMF 番号の送出後、IP ページングゲートウェイからの応答を得られない場合も、一定時間経過後に自動的に放送可能状態となります。

2 放送を行う。

IP リモートマイクの本体マイクからの音声、選択した放送先へ放送されます。

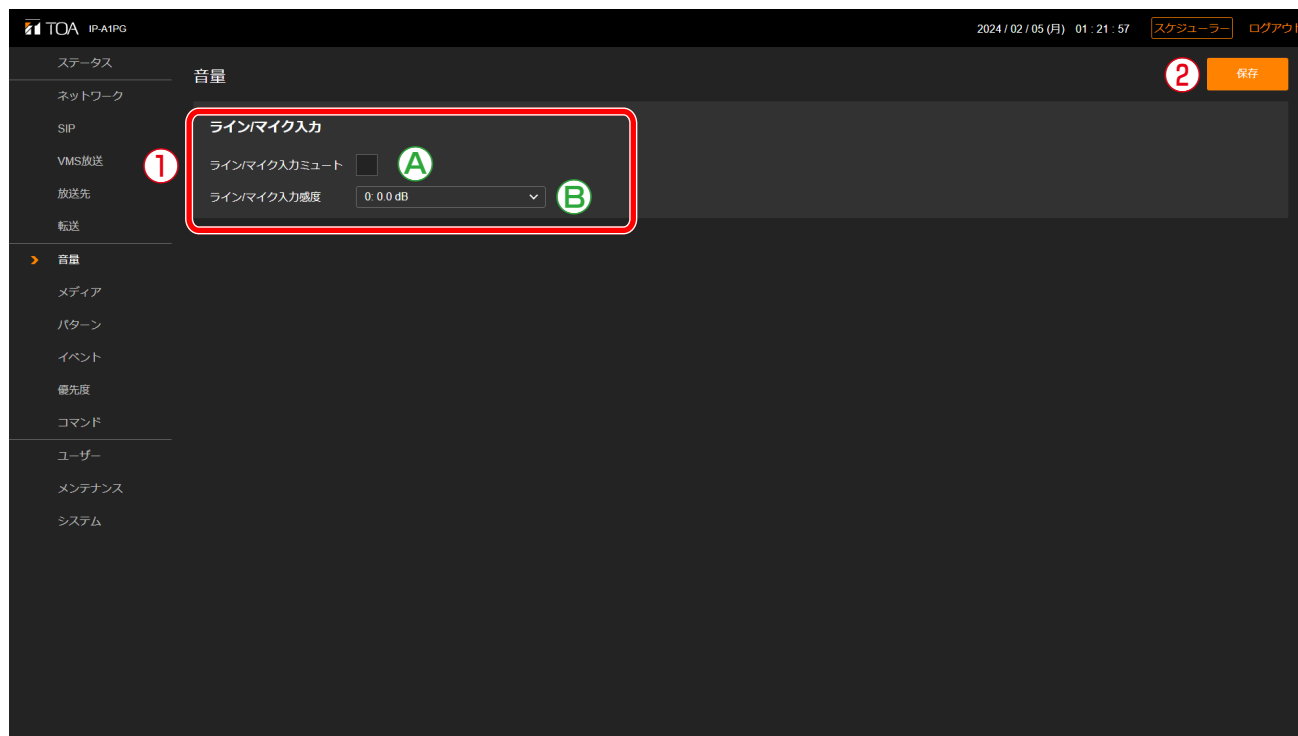
3 放送を終了する。

もう一度 IP リモートマイクの放送キーを押すと、放送が終了します。

音量設定画面

PG

ライン／マイク入力からネットワークへ送信する音声について設定します。



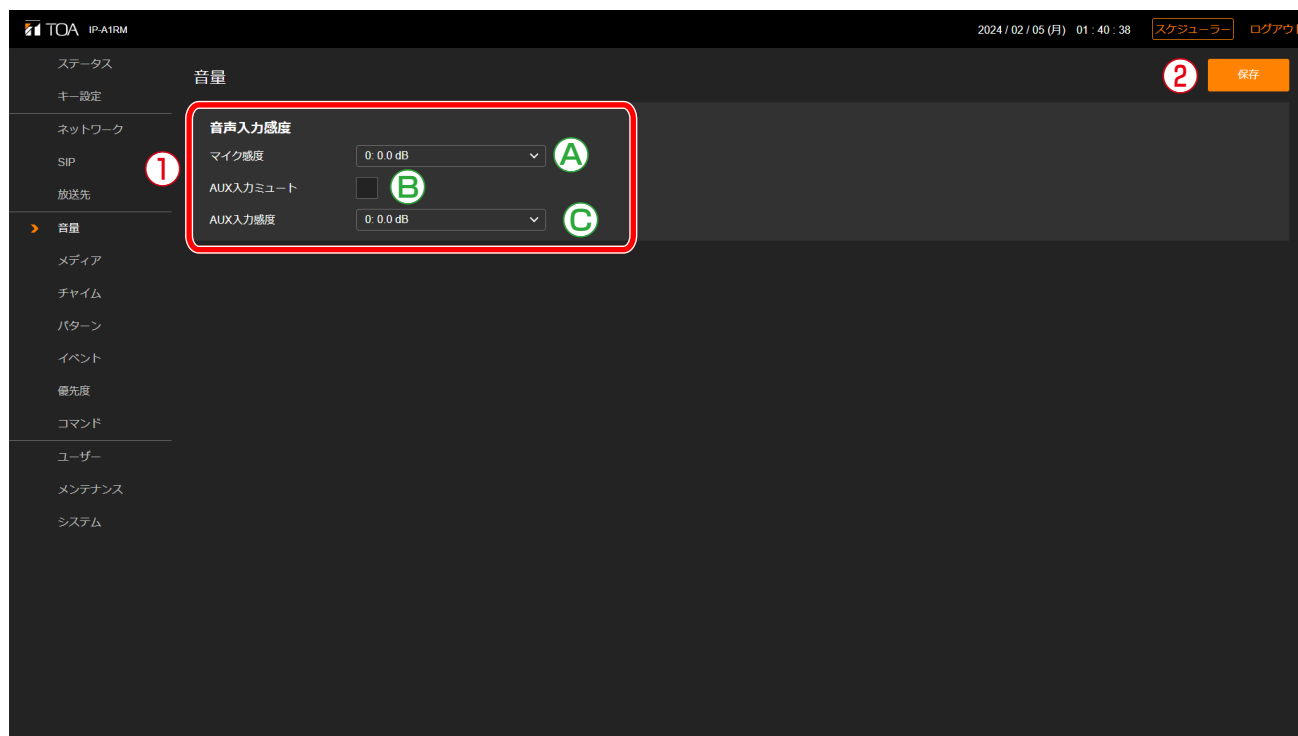
① ライン／マイク入力感度設定

	項目	内容
A	ライン／マイク入力ミュート	チェックを入れると、ライン／マイク入力からの音声をミュートします。ライン／マイク入力ミュートは、保存ボタンを押すとすぐに反映されます。 初期設定：チェックなし
B	ライン／マイク入力感度	ライン／マイク入力の感度を設定します。感度設定の変更は、保存ボタンを押すとすぐに反映されます。 設定範囲：0 (0.0 dB) ～ 8 (+12.0 dB) 初期設定：0 (0.0 dB)

② 保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(🔍 P. 33)

IP-A1RM からネットワークへ送信する音声について設定します。



① 音声入力感度設定

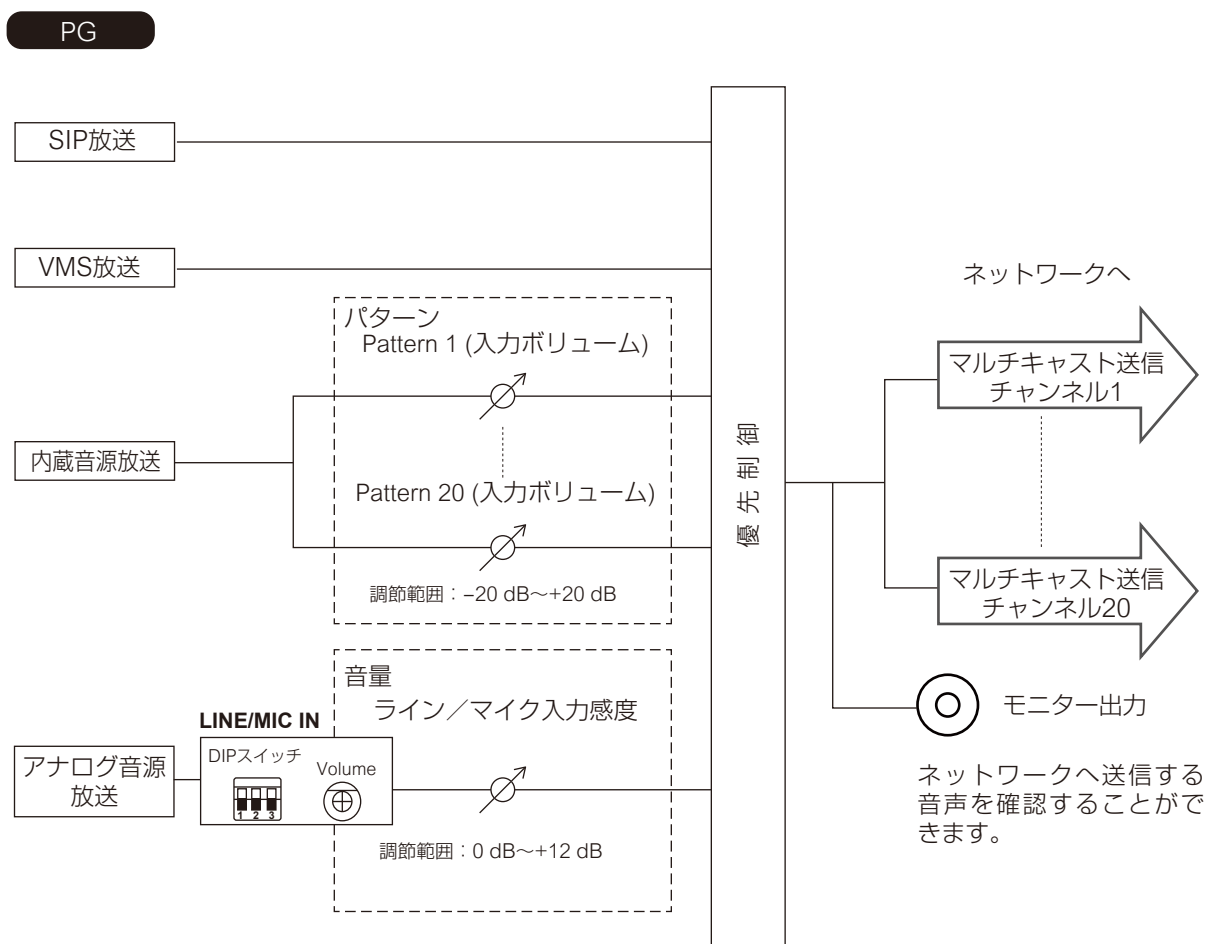
	項目	内容
A	マイク感度	本体マイクの感度を設定します。感度設定の変更は、保存ボタンを押すとすぐに反映されます。 設定範囲：0（0.0 dB）～ 8（+12.0 dB） 初期設定：0（0.0 dB）
B	AUX 入力ミュート	チェックを入れると、AUX 入力からの音声をミュートします。AUX 入力ミュートは、保存ボタンを押すとすぐに反映されます。 初期設定：チェックなし
C	AUX 入力感度	AUX 入力の感度を設定します。感度設定の変更は、保存ボタンを押すとすぐに反映されます。 設定範囲：0（0.0 dB）～ 8（+12.0 dB） 初期設定：0（0.0 dB）

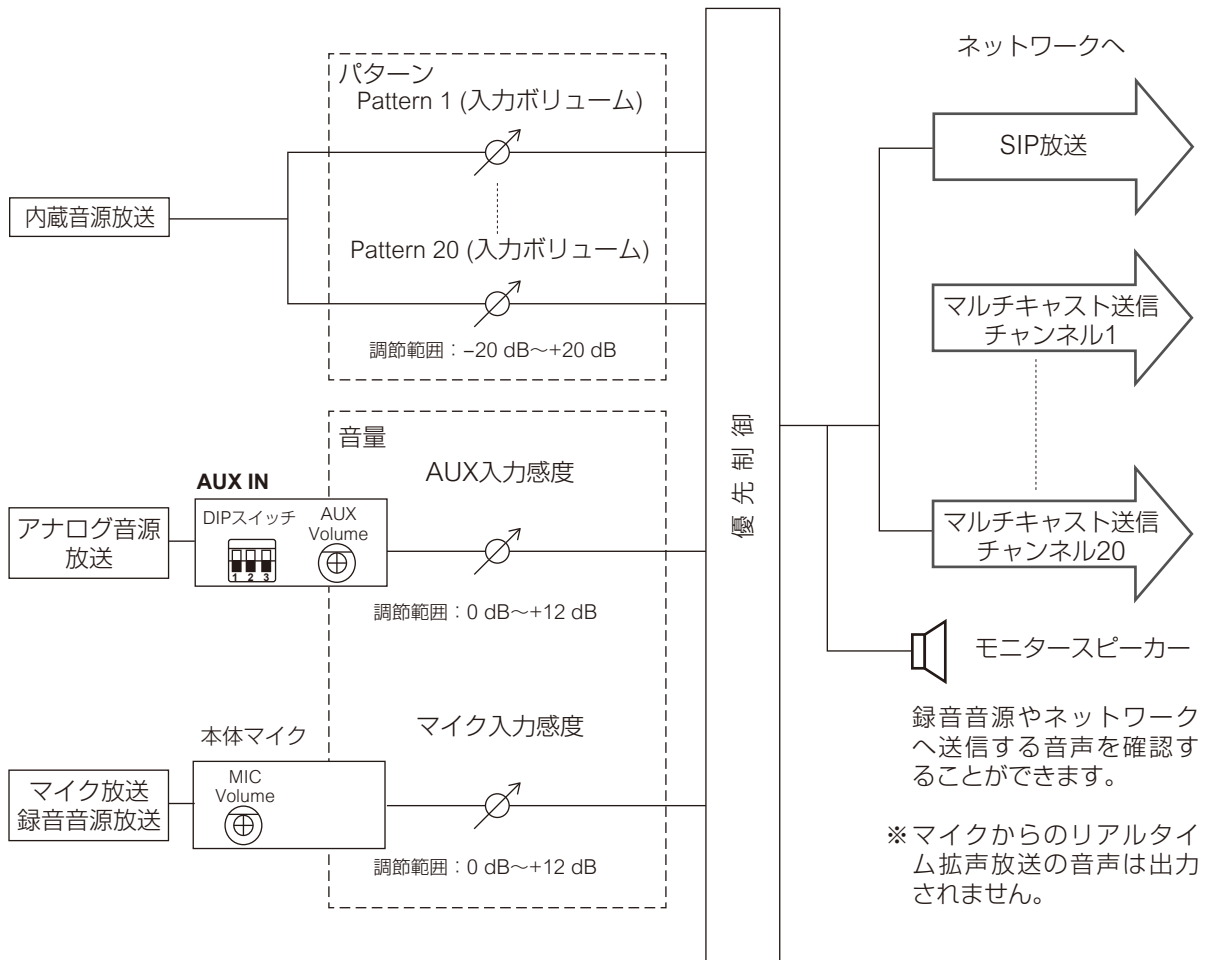
② 保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。（ P. 33）

■ 音量設定機能の概念図

それぞれの放送音源に対して、どの音量設定が有効であるか、以下の図を参照してください。



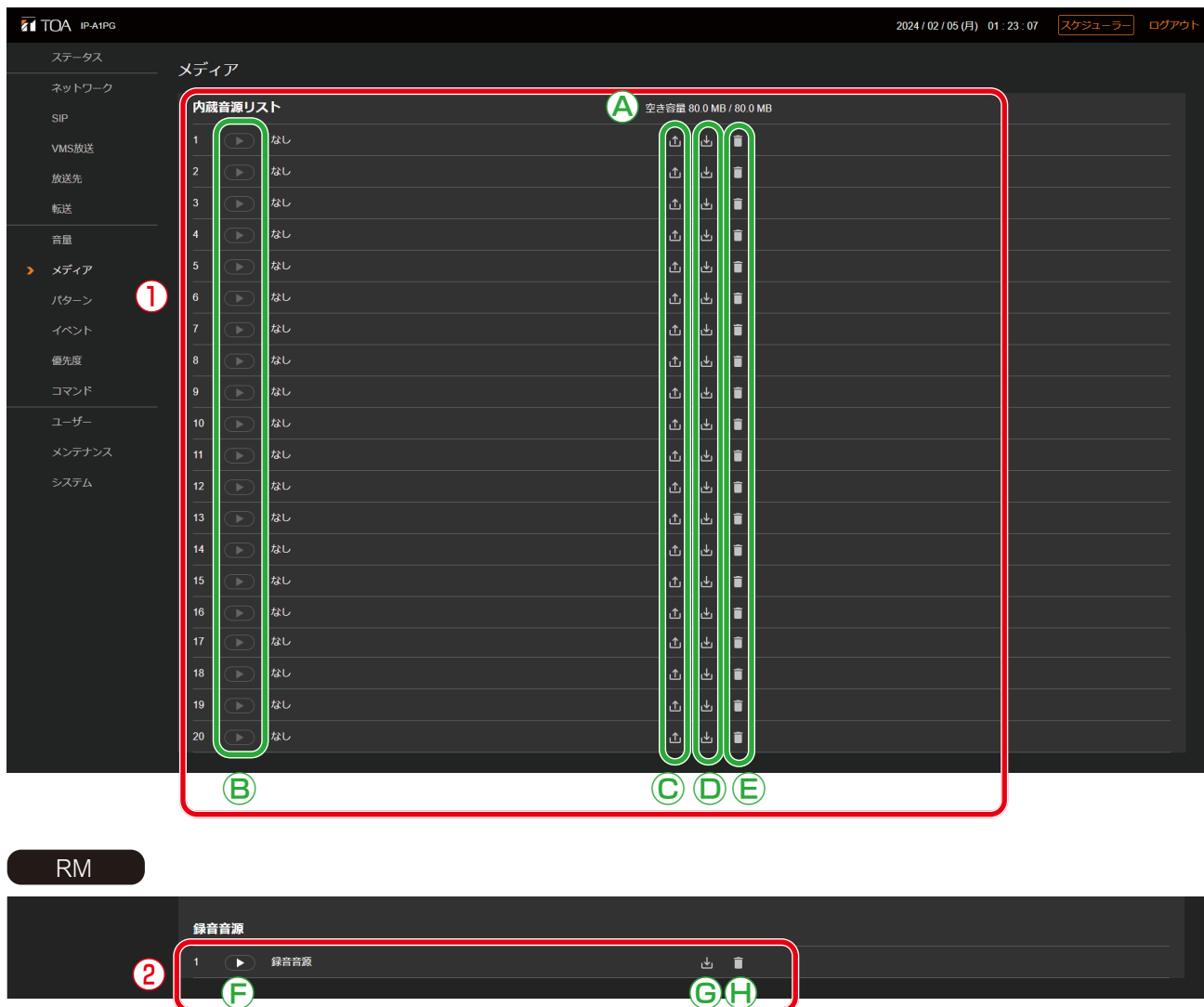


～音量設定のコツ～

- 本機へ入力する時点で、音源の音量レベルを上げすぎない。
(この時点で歪んだ音源は、以降の音量設定により歪みをなくすことはできません。)
- 内蔵音源の間で音量感を合わせるには、「入力ボリューム」を使用して調節すること。
- 受信端末からの出力音量は、それぞれ受信端末ごとにマスターボリュームで音量を調節する。
- 同じ音源で音量を2種類に分けて放送したい(通常音量と緊急音量など)場合は、送信端末から送信するマルチキャストチャンネルを2種類使用することで、受信端末では異なる音源として受信することができ、音量差を設けた使いかたができます。

メディア設定画面

内蔵音源のアップロードやダウンロード、削除を行います。



① 内蔵音源リスト



本機に内蔵されている音源ファイルの名称がリスト表示されます。

1～20のメディア番号に音源ファイルが登録されます。本機にはWAV形式またはMP3形式の音声ファイルがアップロードできます。

	項目	内容
A	内蔵音源の空き容量	本機に音源ファイルをアップロードするための最大容量（80 MB）と現在の空き容量が表示されます。
B	音源ファイル再生ボタン	内蔵音源リストに登録された音源ファイルをパソコン上で再生し、音声として確認することができます。音源ファイルが登録されていないと、再生ボタンは有効になりません。
C	アップロードアイコン	パソコンに保存されている音源ファイルを本機にアップロードして内蔵音源リストに追加します。 (P. 58「音源ファイルのアップロードのしかた」)
D	ダウンロードアイコン	本機に保存されている音源ファイルをパソコンにダウンロードします。 (P. 58「音源ファイルのダウンロードのしかた」)
E	削除アイコン	本機に保存されている音源ファイルを削除します。 (P. 59「音源ファイルの削除のしかた」)

② 録音音源 RM

IP リモートマイクの本体マイクから録音した音源です。パソコンでの再生、ファイルのダウンロード、削除の操作ができます。

	項目	内容
F	録音音源再生ボタン	本機の本体マイクで録音された録音音源をパソコン上で再生し、音声として確認することができます。
G	ダウンロードアイコン	本機に保存されている録音音源ファイルをパソコンにダウンロードします。  P. 58 「音源ファイルのダウンロードのしかた」
H	削除アイコン	本機に保存されている音源ファイルを削除します。 ( P. 59 「音源ファイルの削除のしかた」)

■ 音源ファイルのアップロードのしかた

内蔵音源をアップロードする手順は次のとおりです。

音源ファイルを保存できる容量は、1 ファイルにつき 30 MB 以内、全体合計で 80 MB 以内です。

対応ファイルのフォーマットは次のとおりです。

WAV ファイル：8/16/44.1/48 kHz サンプリング、8/16 bit、モノラル／ステレオ

MP3 ファイル：32/44.1/48 kHz サンプリング、64 ～ 320 kbps、CBR/VBR、モノラル／ステレオ

■ ご注意


- ファイル名に使用可能な文字には制限があります。条件を満たさないファイルはアップロードできません。
P. 91「使用可能な文字」で確認し、ファイル名を使用可能な文字のみに変更してからアップロードしてください。
- 内蔵音源放送中に、放送中の音源ファイルと同じメディア番号に音源ファイルをアップロードすると、放送が停止します。

■ メモ

音源ファイルのフォーマットとファイルサイズの目安は下表のとおりです。

音源ファイルのフォーマット	1 分あたりの ファイルサイズ	30 MB あたりの 音源長さの目安	本機（80 MB）に 保存できる合計時間
WAV（モノラル、48 kHz、16 bit）	5.8 MB	約 5 分	約 14 分
WAV（モノラル、44.1 kHz、16 bit）	5.3 MB	約 5 分	約 15 分
WAV（モノラル、44.1 kHz、8 bit）	2.6 MB	約 11 分	約 30 分
MP3（モノラル、320 kbps）	2.4 MB	約 12 分	約 33 分
MP3（モノラル、256 kbps）	1.9 MB	約 16 分	約 42 分
MP3（モノラル、192 kbps）	1.4 MB	約 21 分	約 56 分
MP3（モノラル、128 kbps）	1.0 MB	約 32 分	約 83 分

上記はあくまで目安時間です。録音する機器やデータの作成方法によっては、これよりも短くなることがあります。

- 1** 音源ファイルを保存したいメディア番号のアップロードアイコン  をクリックする。
ファイルエクスプローラーが開きます。

- 2** 本機にアップロードしたい音源ファイルを選択する。

- 3** OK ボタンをクリックする。
アップロードが開始します。
アップロードが完了すると、内蔵音源リストに追加した音源ファイル名が表示されます。

■ 音源ファイルのダウンロードのしかた

内蔵音源または録音音源をダウンロードする手順は次のとおりです。

- 1** パソコンに保存したいメディア番号のダウンロードアイコン  をクリックする。
ファイルエクスプローラーが開きます。

- 2** 音源ファイルを保存するフォルダーを選択する。

- 3** OK ボタンをクリックする。
選択した音源ファイルがダウンロードされます。

■ 音源ファイルの削除のしかた

内蔵音源または録音音源を削除する手順は次のとおりです。

ご注意

内蔵音源放送中の音源ファイルを削除すると、内蔵音源放送が停止します。

- 1 削除したいメディア番号の削除アイコン  をクリックする。
確認ダイアログが表示されます。

削除しますか？

いいえ

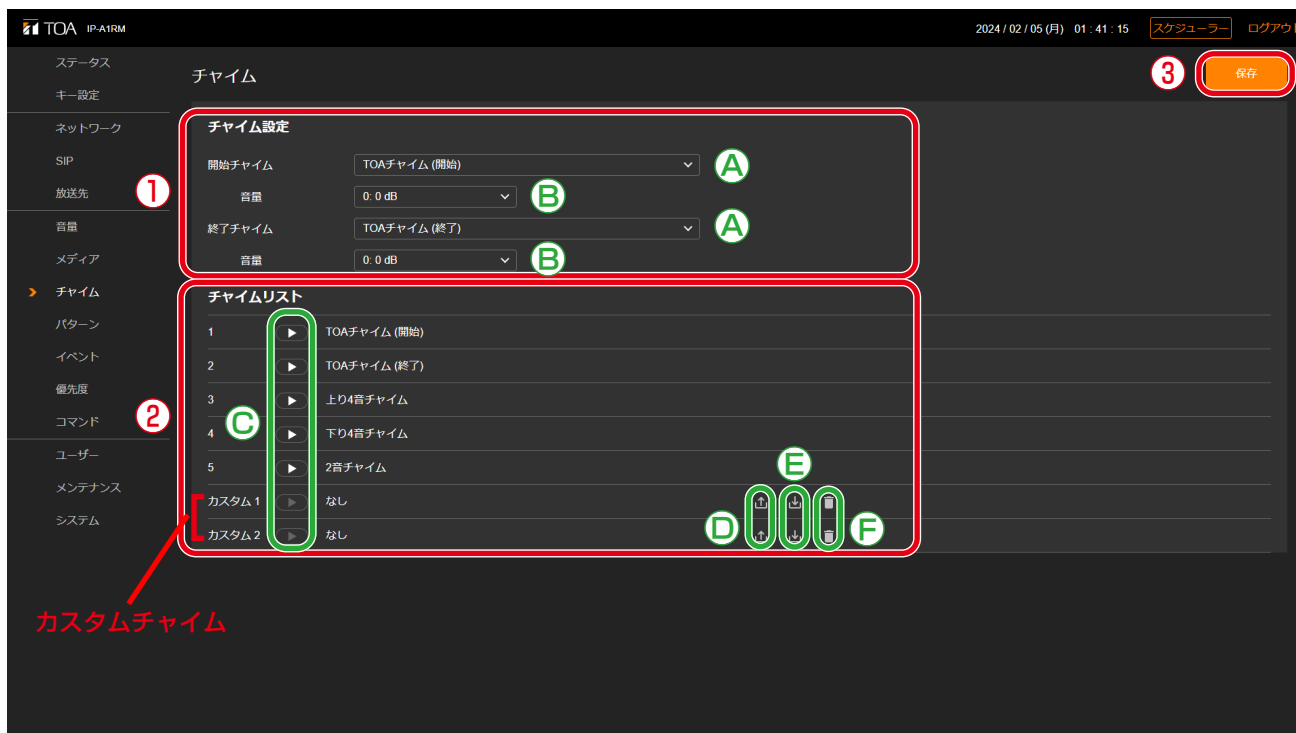
はい

- 2 はいボタンをクリックする。
選択した音源ファイルが削除されます。

チャイム設定画面

RM

マニュアル放送の開始時または終了時に鳴動するチャイムに関連する設定を行います。



① チャイム設定

マニュアル放送の開始時または終了時に鳴動するチャイムの種類の選択と音量の設定を行います。

	項目	内容
A	開始チャイム、終了チャイム	マニュアル放送の開始時または終了時に鳴動するチャイムの種類を、プルダウンメニューから選択します。 初期設定 開始チャイム：TOA チャイム（開始） 終了チャイム：TOA チャイム（終了）
B	音量	開始チャイムと終了チャイムの音量を設定します。 設定範囲：-20 dB ～ +20 dB 初期設定：0 dB

② チャイムリスト

1～5にはあらかじめ本機に登録されているチャイムファイルが表示されます。

6、7番目はカスタムチャイムです。任意の音源を本機へアップロードし、チャイムとして使用できます。


	項目	内容
C	再生ボタン	このボタンを押すと、チャイムをパソコン上で再生して音声として確認することができます。
D	アップロードアイコン	パソコンに保存されているカスタムチャイム用音源ファイルを本機にアップロードします。
E	ダウンロードアイコン	本機に保存されているカスタムチャイム用音源ファイルをパソコンにダウンロードします。
F	削除アイコン	本機に保存されているカスタムチャイム用音源ファイルを削除します。

メモ

カスタムチャイムに使用できる音源ファイルの仕様は次のとおりです。

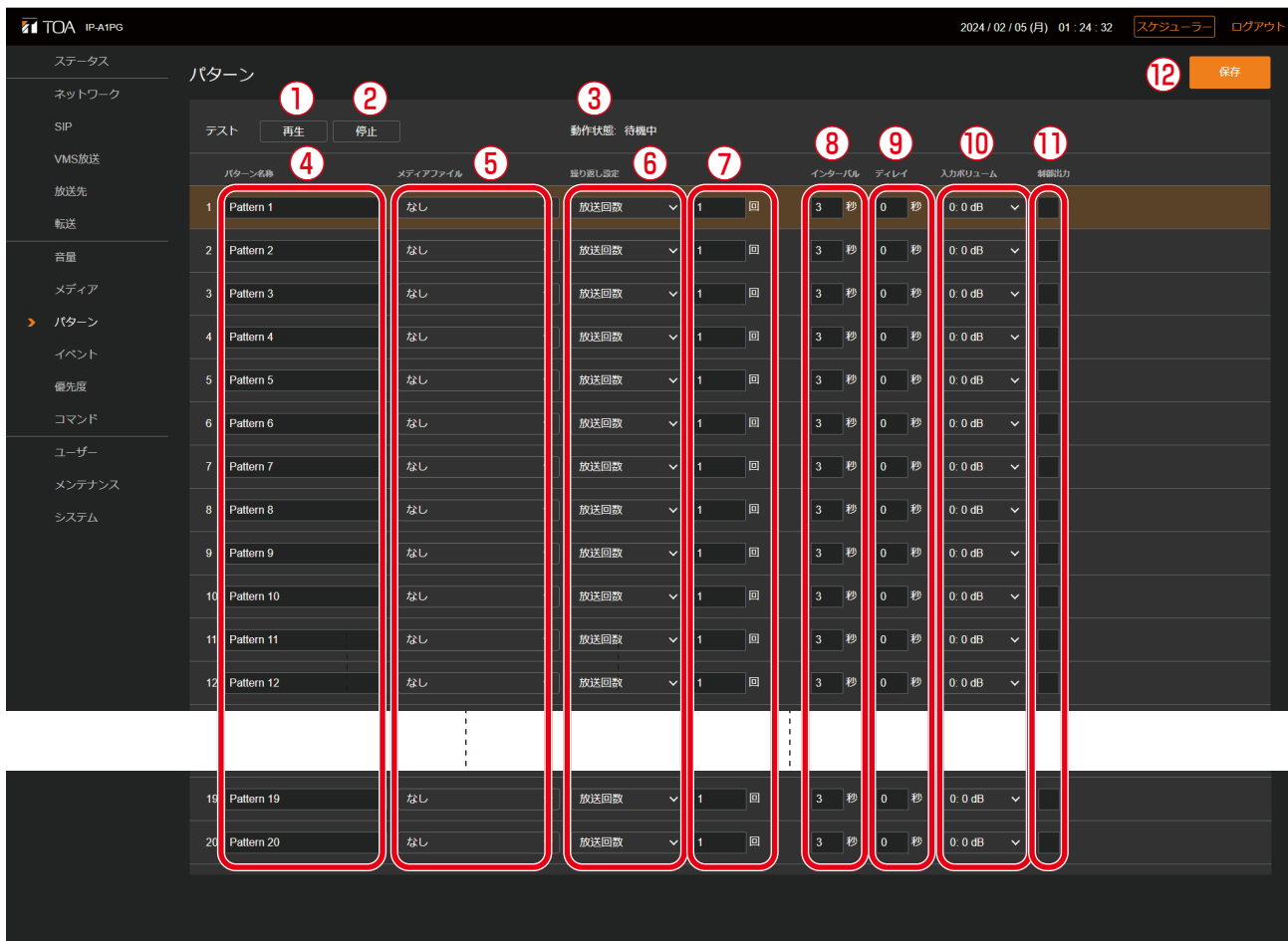
- 最大ファイルサイズ：1 ファイルにつき 1 MB
- 対応フォーマット
 - WAV ファイル：8/16/44.1/48 kHz サンプリング、8/16 bit、モノラル／ステレオ
 - MP3 ファイル：32/44.1/48 kHz サンプリング、64 ～ 320 kbps、CBR/VBR、モノラル／ステレオ

③ 保存ボタン

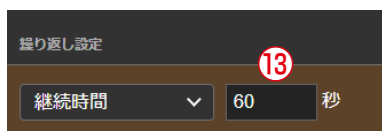
設定・変更した内容を保存するときにクリックします。( P. 33)

パターン登録画面

イベントに連動させて放送できる音源を、放送パターンとして最大 20 個登録できます。




- 繰り返し設定⑥で「継続時間」を選択した場合



	項目	項目
①	再生ボタン	設定したパターンがどのように放送されるか、テスト放送ができます。このボタンを押すと、モニター出力 PG またはモニタースピーカー RM から音声を出力します。
②	停止ボタン	テスト放送中に押すと、テスト放送を停止します。
③	動作状態	本機の動作状態を表示します。 本機が放送状態の場合、どの音声が発送されているか分かるように音源を表示します。(P. 38 「ステータス表示と状態表示灯について」)
④	パターン名称*	各パターンの名称を設定します。 初期設定：Pattern 1 ～ 20
⑤	メディアファイル	個々のパターンで放送する音源を、内蔵音源または録音音源から選択します。 初期設定：なし

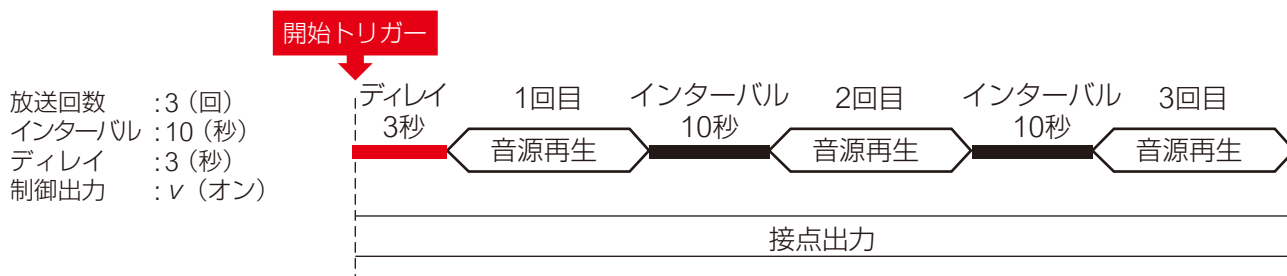
* 設定できる文字や文字数については、P. 91 「使用可能な文字」をお読みください。

	項目	項目
⑥	繰り返し設定	放送パターンの繰り返し方法を以下の2つから選択します。 放送回数 : 繰り返し放送を、放送回数で指定します。 継続時間 : 繰り返し放送を、放送する継続時間で指定します。 初期設定 : 放送回数
⑦	放送回数	繰り返し設定⑥で「放送回数」を選択すると、設定が有効になります。イベントトリガー発生後の放送する繰り返し回数を設定します。 設定範囲 : 1 ~ 10 (回) 初期設定 : 1 (回)
⑧	インターバル	繰り返し放送を行うときの音源の再生間隔 (再生終了~次の再生開始までの時間) を設定します。 設定範囲 : 0 ~ 99 (秒) 初期設定 : 3 (秒)
⑨	ディレイ	イベントトリガー発生後、音源の再生を行うまでの遅延時間を設定します。放送音声の頭切れなどが発生する場合に活用します。 設定範囲 : 0 ~ 99 (秒) 初期設定 : 0 (秒)
⑩	入力ボリューム	パターンごとの音量を一定にしたり、あるいはパターンによって音量を変えたりするために、個々のパターンに入力ボリュームを設定できます。 入力ボリュームの設定内容は、設定保存後、次の放送から反映されます。 設定範囲 : -20 ~ +20 dB 初期設定 : 0 dB
⑪	制御出力	内蔵音源放送の実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することができます。 右側のボックスをクリックしてチェックを入れると、本機が内蔵音源放送を開始したときに外部制御出力がオンになり、放送が停止したときにオフになります。 初期設定 : チェックなし
⑫	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。( P.33)
⑬	継続時間	繰り返し設定⑥で「継続時間」を選択すると、設定が有効になります。イベントトリガー発生後の放送継続時間を設定します。 設定範囲 : 5 ~ 3600 (秒) 初期設定 : 60 (秒)

繰り返し方法には「放送回数を選択した場合」「継続時間を選択した場合」の2つがあります。
他の設定項目との組み合わせにより、それぞれ以下のように再生されます。

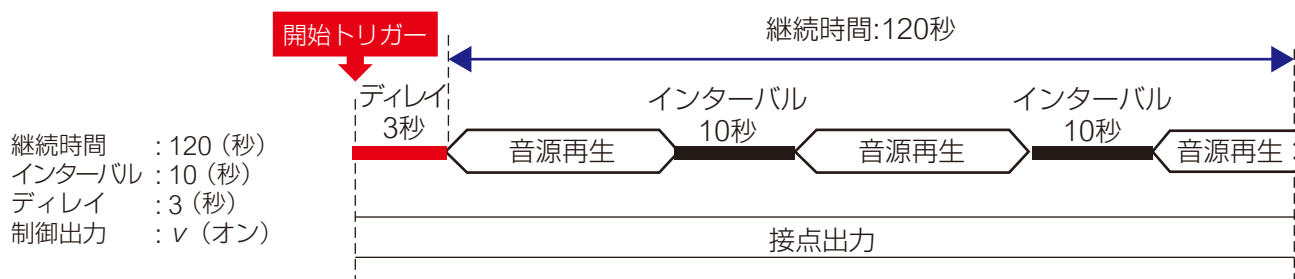
● 放送回数を選択した場合

音源の繰り返し再生回数を指定します。開始トリガーが制御入力で、信号モードが「エッジ」のときや、リモートAPIによる外部制御のときは、以下のように動作します。



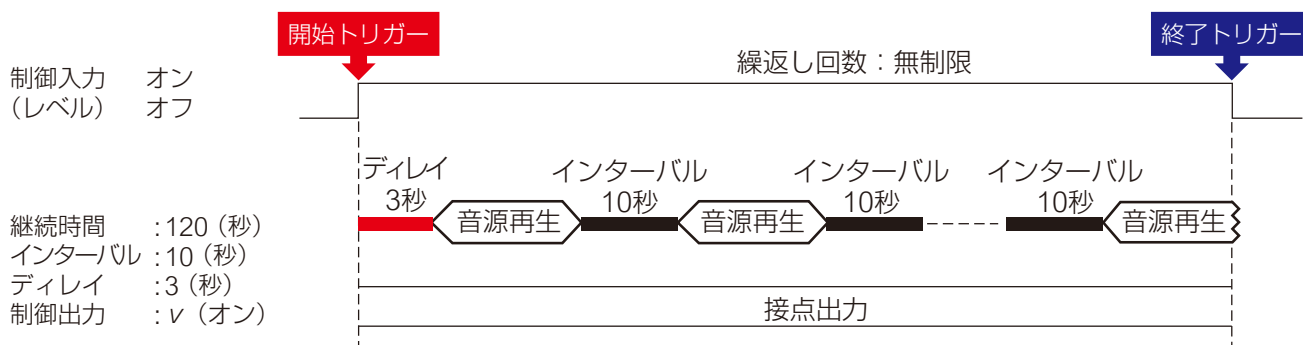
● 継続時間を選択した場合

繰り返し再生時間を指定します。開始トリガーが制御入力で、信号モードが「エッジ」のときや、リモートAPIによる外部制御のときは、以下のように動作します。



● 制御入力の信号モードがレベルで、開始～終了を制御する場合

「放送回数」または「放送継続時間」のいずれの設定であっても、信号モードが「レベル」のときは、開始トリガーから終了トリガーまでの期間で回数無制限の繰り返し再生となります。
音源と音源の間はインターバルの設定時間が適用されます。

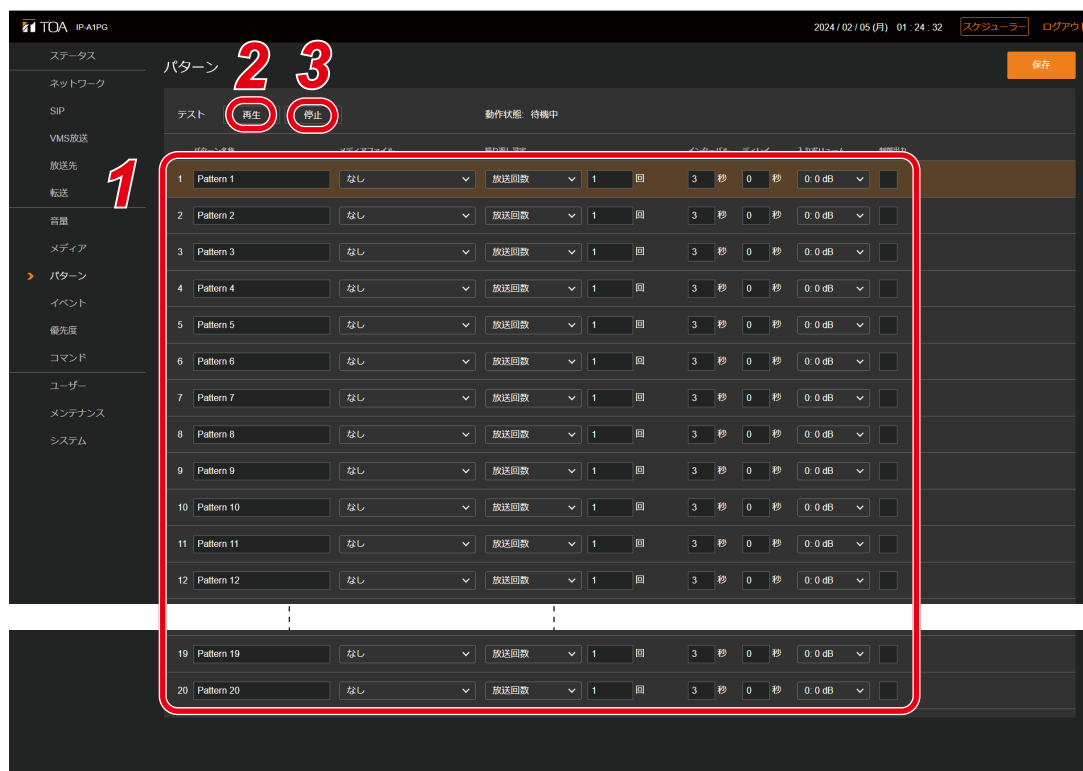


■ パターン放送のテストのしかた

選択した放送パターンの放送テストを行う手順は次のとおりです。

【ご注意】

設定内容がまだ保存されていない状態では、テスト放送の再生ボタンは使用できません。



1 テストしたい放送パターンをクリックして選択する。

2 再生ボタンをクリックする。

選択した放送パターンのテスト放送を開始します。

× モ

音声は、モニター出力 **PG** またはモニタースピーカー **RM** から出力されます。マルチキャスト音声としてネットワークへは出力されません。

3 停止するときは、停止ボタンをクリックする。

テスト放送が停止します。

イベント設定画面

接点制御入力および接点制御出力に関連する設定を行います。

PG

TOA IP-A1PG 2024 / 02 / 05 (月) 01 : 26 : 06 スケジューラー ログアウト

イベント

3 保存

制御入力

制御入力 1

アクション **A** なし

放送先 **B** マルチキャスト Multicast 1

信号モード **C** レベル **D** メイク接点 (N.O.)

制御入力 2

アクション **A** なし

放送先 **B** マルチキャスト Multicast 2

信号モード **C** レベル **D** メイク接点 (N.O.)

制御入力 3

アクション **A** なし

放送先 **B** マルチキャスト Multicast 3

信号モード **C** レベル **D** メイク接点 (N.O.)

制御入力 4

アクション **A** なし

放送先 **B** マルチキャスト Multicast 4

信号モード **C** レベル **D** メイク接点 (N.O.)

制御出力

SIP (マルチキャスト転送中) ☐

VMS (マルチキャスト転送中) ☐

音声入力 (マルチキャスト放送中) ☐

RM

TOA IP-A1RM 2024 / 02 / 05 (月) 01 : 42 : 35 スケジューラー ログアウト

イベント

3 保存

制御入力

制御入力 1

アクション **A** なし

放送先 **B** マルチキャスト Multicast 1

信号モード **C** レベル **D** メイク接点 (N.O.)

制御入力 2

アクション **A** なし

放送先 **B** マルチキャスト Multicast 2

信号モード **C** レベル **D** メイク接点 (N.O.)

制御出力

表示名

ON Control Out ON **E**

OFF Control Out OFF

マイク ☐ **F**

AUX ☐

①制御入力

制御入力ごとにさまざまなイベントアクションを設定でき、外部機器から制御信号を入力することで実行します。

	項目	内容
A	アクション	<p>制御信号を受けたときに実行するアクションを選択します。選択可能なアクションと、それぞれの信号モードとの組み合わせは次ページの表となります。</p> <p>初期設定：なし</p> <p>メモ</p> <p>制御入力1～4に同じアクションを重複して設定することはできません。ただし、ライン／マイク入力 PG と AUX RM は除きます。ライン／マイク入力 PG と AUX RM は、重複設定することで、異なる放送先のイベントを作成することができます。</p>
B	放送先	<p>アクションの設定に放送するもの（Pattern 1～20、ライン／マイク入力 PG または AUX RM）を選択した場合に、放送先を選択します。</p> <p>グループ放送を行う場合は放送先にマルチキャストを選択し、放送先となるマルチキャスト送信先チャンネルを選択します。</p> <p>設定範囲：Multicast 1～Multicast 20</p> <p>初期設定：Multicast 1～Multicast #（#は制御入力のチャンネル番号）</p> <p>RM</p> <p>個別放送を行う場合は、放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる SIP 端末の SIP ユーザー ID/IP アドレスを入力します。IP ページングゲートウェイ経由でグループ放送を行う場合は、「IP ページングゲートウェイで転送先に設定した DTMF 番号」を入力します。</p>
C	信号モード	<p>制御信号の信号モードを設定します。</p> <p>レベル：制御信号がオンの間だけ指定されたアクションを実行します。オフになると、アクションを終了します。</p> <p>エッジ：制御信号がオンになる開始トリガーのみ検出します。</p> <p>初期設定：レベル</p>
D	制御条件	<p>制御信号の制御条件を設定します。</p> <p>メイク接点（N.O.）：開放状態を通常とし、短絡するとオンになります。（メイク接点）</p> <p>ブレイク接点（N.C.）：短絡状態を通常とし、開放するとオンになります。（ブレイク接点）</p> <p>初期設定：メイク接点（N.O.）</p>

設定可能なアクションは、次のとおりです。

メモ

制御入力 1 ～ 4 に同じアクションを重複して設定することはできません。ただし、ライン／マイク入力 **PG** と AUX **RM** は除きます。ライン／マイク入力 **PG** と AUX **RM** は、重複設定することで、異なる放送先のイベントを作成することができます。

設定可能アクション	内容	レベル	エッジ
なし	アクションは設定されていません。	—	—
Pattern 1 ～ 20	内蔵音源によるパターン放送を実行します。	✓ *	✓
ライン／マイク入力 PG	ライン／マイク入力による放送の開始または終了を行います。	✓	—
AUX RM	AUX 入力による放送の開始または終了を行います。	✓	—
コマンドセット 0 ～ 9	コマンドリスト画面に登録する「コマンドセット」を実行します。	—	✓
放送停止	制御信号入力中は、「放送停止」となり、本機からの放送音声の送信を停止し、放送停止状態になります。	✓	—
システムミュート	制御信号入力中は、「システムミュート」となり、本機からの放送音声の送信の停止とともに、マルチキャスト音声ストリームが届く同一ネットワーク内の受信端末に対して、受信端末単独で実行している放送も含めてシステム全体をミュート状態にすることができます。	✓	—

* パターンの繰り返し設定が「放送回数」または「継続時間」のいずれの設定であっても、信号モードが「レベル」のときは、開始トリガーから終了トリガーまでの期間で回数無制限の繰り返し再生となります。

② 制御出力

PG

本機の放送実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することができます。

本機がどの放送のときに制御出力をオンにするかを設定します。

SIP（マルチキャスト転送中）：SIP 音声によるマルチキャスト放送中に制御出力がオンになり、放送終了時にオフになります。

VMS（マルチキャスト転送中）：VMS 音声によるマルチキャスト放送中に制御出力がオンになり、放送終了時にオフになります。

音声入力（マルチキャスト転送中）：ライン／マイク入力からのマルチキャスト放送中に制御出力がオンになり、放送終了時にオフになります。

初期設定：チェックなし

メモ

内蔵音源放送の放送時の制御出力の設定については、パターン登録画面の「制御出力⑩」（P. 62）をお読みください。

本機の放送実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することができます。
本機がどの放送のときに制御出力をオンにするかを設定します。

	項目	内容
E	表示名	<p>本機の制御出力が ON または OFF の場合の名称をそれぞれ設定します。</p> <p>設定された名称は、選択キーで制御出力を操作する時に、液晶画面の制御出力画面で表示されます。</p> <p>初期設定 ON : Control Out ON OFF : Control Out OFF</p>
F	制御出力	<p>本機の放送実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することができます。</p> <p>本機がどの放送のときに制御出力をオンにするかを設定します。</p> <p>マイク : 本体マイクからの放送中に制御出力がオンになり、放送終了時にオフになります。</p> <p>AUX : AUX 入力からの放送中に制御出力がオンになり、放送終了時にオフになります。</p> <p>初期設定 : チェックなし</p>

メモ

内蔵音源放送の放送時の制御出力の設定については、パターン登録画面の「制御出力⑩」(P. 62)をお読みください。

③ 保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(P. 33)

● 内蔵音源を放送する <Pattern 1 ～ 20 選択時>

メモ

以下の説明の「パターン放送」とは、「パターン登録画面」で設定するパターンリストの再生による放送を意味します。パターンリストには、再生する音源の指定および繰り返し再生方法、ディレイ、インターバル、入力ボリューム、制御出力の有無などの組み合わせが含まれます。

信号モードがエッジの場合



エッジ信号を検出して内蔵音源による放送を開始します。放送中に同じイベントトリガーが入力されても、その放送を中断することはありません。

信号モードがレベルの場合



音源の長さに関係なく、レベル信号入力中は放送を継続し、パターン放送を自動的に何度も繰り返します。高優先放送により放送を中断した場合、高優先放送終了時にレベル信号が継続していれば、パターン放送を先頭から再び開始します。

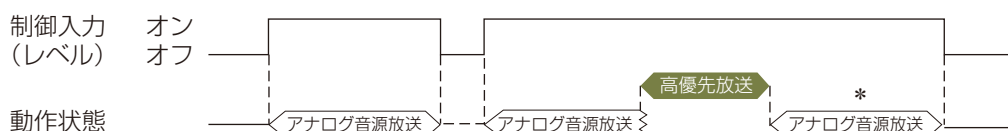
メモ

パターンの繰り返し設定が「放送回数」または「放送継続時間」のいずれの設定であっても、信号モードが「レベル」のときは、開始トリガーから終了トリガーまでの期間で回数無制限の繰り返し再生となります。音源と音源の間はインターバルの設定時間が適用されます。

RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後には放送は再開されません。

● アナログ音源を放送する <ライン／マイク入力 **PG** または **AUX** **RM** 選択時>



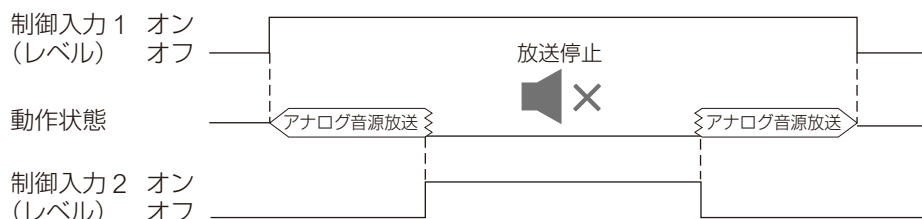
レベル信号入力中は放送を継続します。高優先放送により放送を中断した場合、高優先放送終了時にレベル信号が継続していれば、放送を再び開始します。

RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後には放送は再開されません。

● 放送を止める <放送停止、システムミュート選択時>

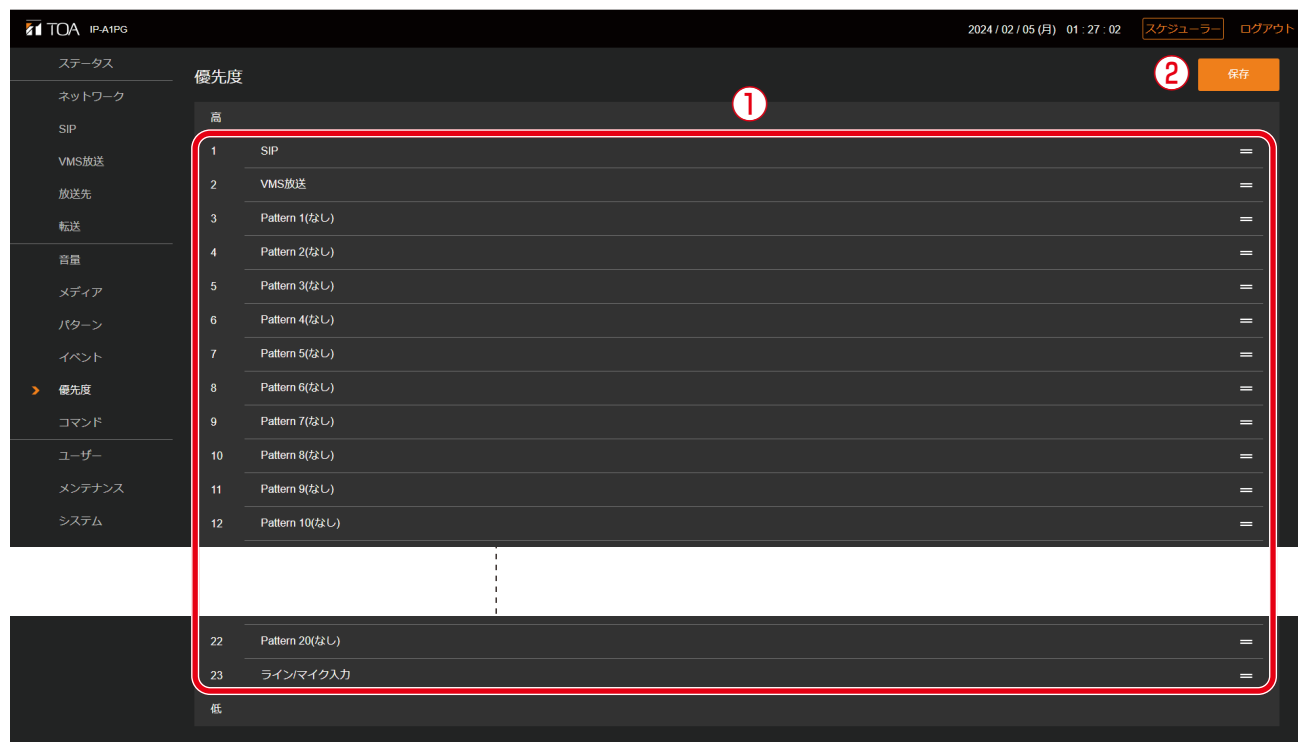
「放送停止」および「システムミュート」を制御入力のイベントに設定することで、送信端末からの放送音声の送信を停止することができます。



「放送停止」は、レベル信号入力中に送信端末からの放送音声の送信を停止し、放送停止状態になります。
「システムミュート」は、レベル信号入力中に送信端末からの放送音声の送信の停止とともに、マルチキャスト音声ストリームが届く同一ネットワーク内の受信端末に対して、受信端末単独で実行している放送も含めてシステム全体をミュート状態にすることができます。

優先度設定画面

各放送機能の優先度を設定できます。



	項目	内容
①	優先度リスト	<p>上下の順番を並べ替えることで、優先度を変更することができます。上に配置するほど優先度は高くなり、下に配置するほど優先度は低くなります。ドラッグ & ドロップで順番を並べ替えることができます。</p> <p>動作のしかたは、P. 73「優先度設定による放送の切り換わり動作について」をお読みください。</p> <p>PG</p> <p>初期設定：</p> <p>優先度 高 SIP VMS 放送 Pattern 1 ～ 20</p> <p>優先度 低 ライン／マイク入力放送</p> <p>RM</p> <p>初期設定：</p> <p>優先度 高 マイク 録音音源 Pattern 1 ～ 20</p> <p>優先度 低 AUX</p>
②	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(P. 33)

● 優先度設定による放送の切り換わり動作について

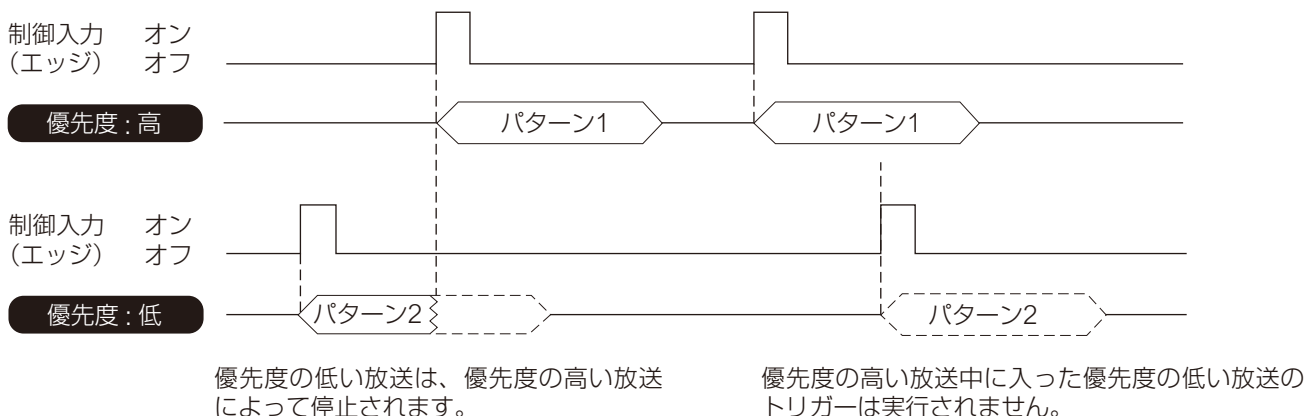
放送音源に対して優先度を設定することで、高い優先度の放送を割り込ませることができます。代表的な動作例を以下に示します。

× モ

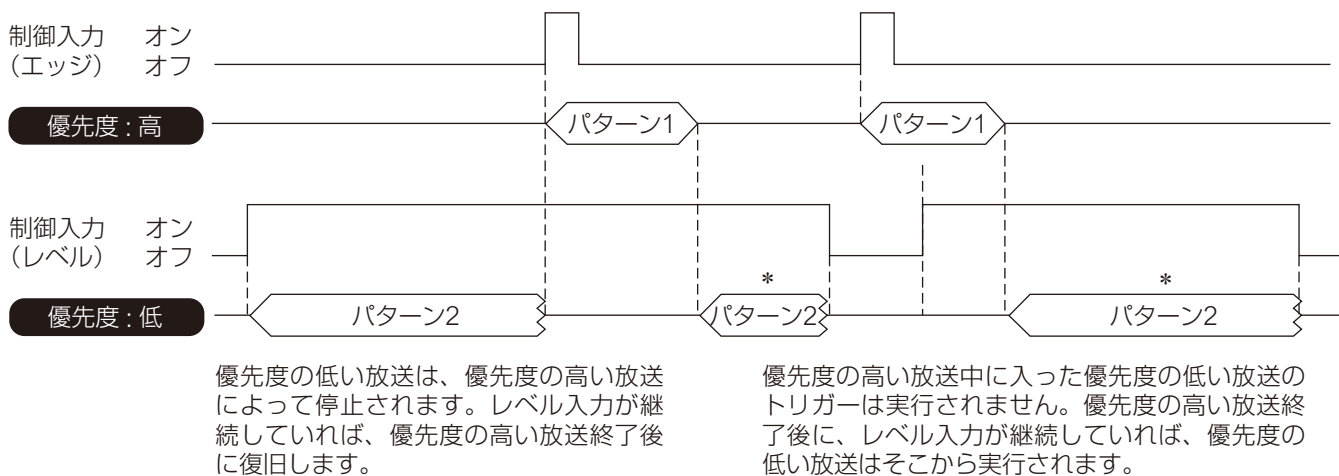
以下の説明における「パターン」とは、「パターン登録画面」で設定するパターンリストの再生による放送を意味します。パターンリストには、再生する音源の指定および繰り返し再生方法、ディレイ、インターバル、入力ボリューム、制御出力の有無などの組み合わせが含まれます。

内蔵音源放送の切り換わり動作

例 1：信号モードがエッジの場合



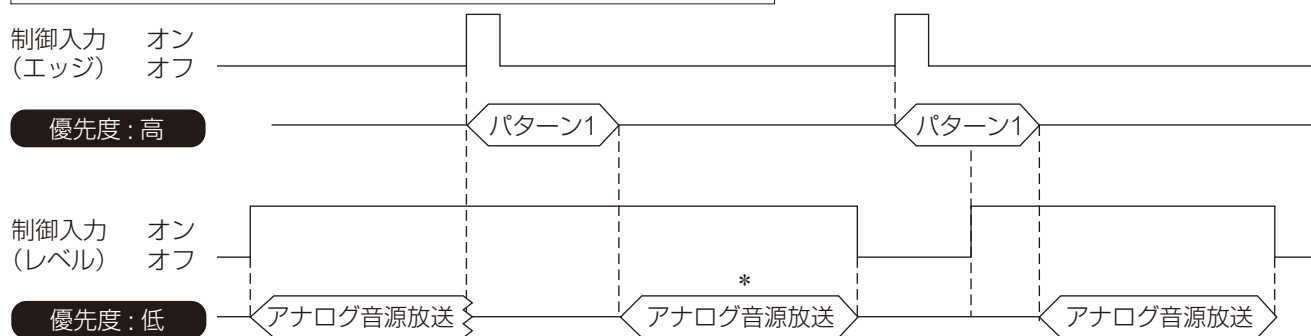
例 2：信号モードがレベルの場合



RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後は放送は再開されません。

アナログ音源放送（ライン／マイク入力）の切り換わり動作



優先度の低いアナログ音源放送は、優先度の高い放送によって停止されます。レベル入力が継続していれば、優先度の高い放送終了後に復旧します。

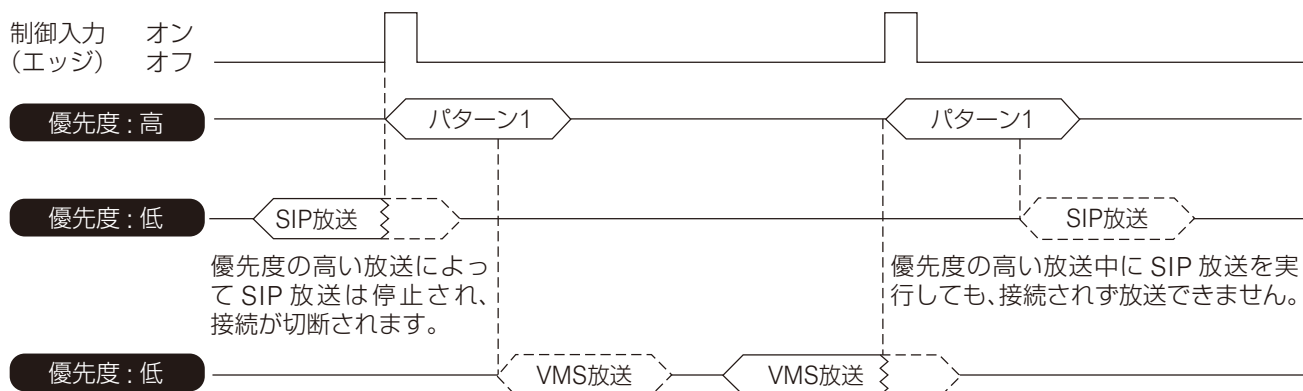
優先度の高い放送中に入った優先度の低いアナログ音源放送のトリガーは実行されません。優先度の高い放送後に、レベル入力が継続していれば、優先度の低いアナログ音源放送はそこから実行されます。

RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後は放送は再開されません。

SIP 放送、VMS 放送の切り換わり動作

PG



優先度の高い放送によって SIP 放送は停止され、接続が切断されます。

優先度の高い放送中に SIP 放送を実行しても、接続されず放送できません。

優先度の高い放送中に VMS 放送を実行しても、接続されず放送できません。

優先度の高い放送によって VMS 放送は停止され、接続が切断されます。

コマンドリスト画面

HTTP コマンドを登録することで、HTTP 制御が可能なさまざまな機器と連携することができます。

TOA IP-ATPG 2024 / 02 / 05 (月) 01 : 27 : 51 スケジューラー ログアウト

コマンドリスト

① ② ③ ④ 保存

コマンド1

URL (A)

メソッド (B) GET

ユーザー名 (C)

パスワード (D)

コマンド2

URL

メソッド GET

ユーザー名

パスワード

- コマンド③のメソッド (B) で「POST」を選択した場合

コマンド1

URL

メソッド POST

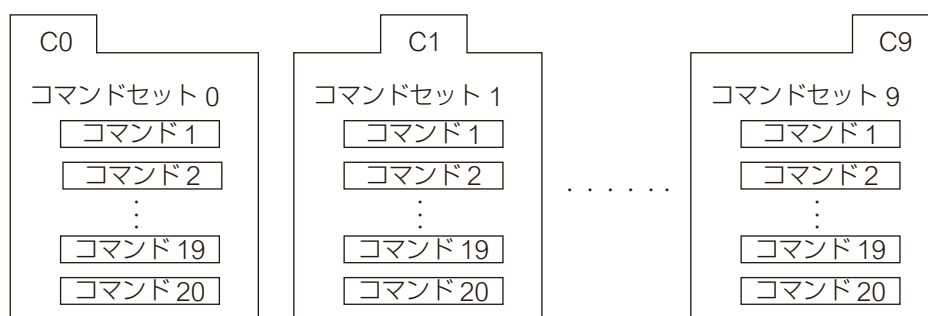
ユーザー名

パスワード

音源ファイル (E) なし

● コマンドリストの構成

コマンドリストにおけるそれぞれのコマンドとコマンドセットの構成は、以下となります。
イベント設定やスケジューラーでは、コマンドセット単位でアクションに設定できます。



① コマンドセットタブ (C0 ～ C9)

C0 ～ C9 の 10 個のコマンドセットがあり、タブ切り換えによりコマンドセット画面が切り換わります。それぞれのコマンドセットには、最大 20 個のコマンドを登録することができます。

② コマンドセット名*

コマンドセットそれぞれに名称を設定できます。設定した名称でイベント設定画面などの選択肢に表示されます。

* 設定できる文字や文字数については、[P. 91 「使用可能な文字」](#) をお読みください。

③ コマンド

	項目	内容
A	URL *	登録する HTTP コマンドを入力します。 初期設定：空欄
B	メソッド	HTTP コマンドのメソッドを以下の 2 つから選択します。 GET : GET メソッドでリクエストを送信できます。 POST : POST メソッドでリクエストを送信できます。送信端末内の音源ファイルを受信端末にアップロードするときに使用します。指定する URL は、「リモート API 仕様書」をご確認ください。「リモート API 仕様書」については、当社営業所へお問い合わせください。 初期設定：GET
C	ユーザー名*	HTTP コマンドの送信先の認証に使用するユーザー名を入力します。 初期設定：空欄
D	パスワード*	HTTP コマンドの送信先の認証に使用するパスワードを入力します。 初期設定：空欄
E	音源ファイル	メソッド (B) で「POST」を選択すると設定が有効になります。 HTTP コマンドを使用して受信端末へアップロードする音源ファイルを、内蔵音源、または録音音源 RM から選択します。

* 設定できる文字や文字数については、[P. 91 「使用可能な文字」](#) をお読みください。

④ 保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。( [P. 33](#))

ユーザー設定画面

パソコンから本機に接続するときのユーザー名やパスワードを設定できます。

メモ

管理者権限は、すべての設定およびスケジューラー機能の変更または編集を行うことができます。

ユーザー権限は、スケジューラー画面へログインし、スケジューラー機能のみの変更または編集を行うことができます。

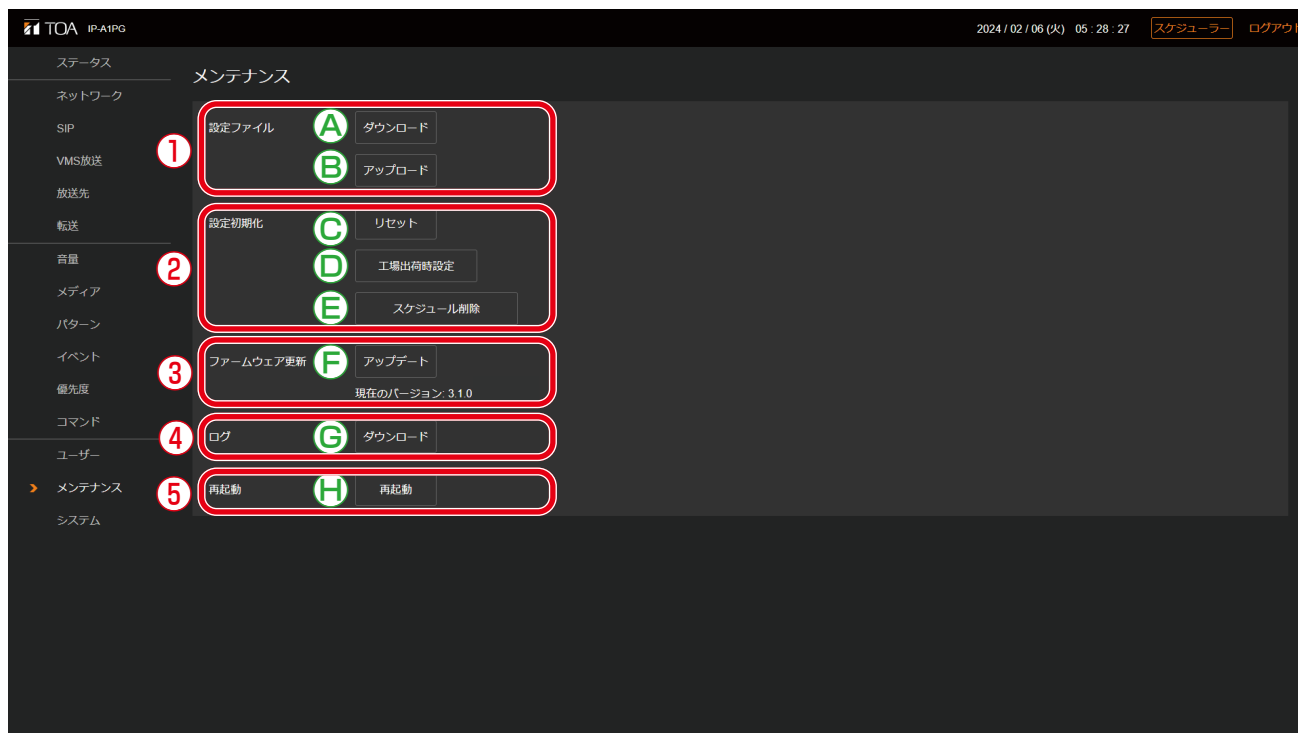
	項目	内容
①	権限選択	ユーザー名やパスワードなどのユーザー情報を変更する権限を選択します。 管理者 : 管理者権限のユーザー情報を変更します。 ユーザー : ユーザー権限のユーザー情報を変更します。
②	現在のユーザー名 * 1、* 2	現在のユーザーアカウント名称を入力します。 初期設定 : admin
③	現在のパスワード * 1、* 2	現在のユーザーアカウントのパスワードを入力します。 初期設定 : guest
④	新しいユーザー名 * 1	新しく設定するユーザーアカウントの名称を入力します。
⑤	新しいパスワード * 1	新しく設定するユーザーアカウントのパスワードを入力します。
⑥	パスワードの確認 * 1	もう一度、新しく設定するユーザーアカウントのパスワードを入力します。
⑦	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(P.33)

* 1 設定できる文字や文字数については、P.91「使用可能な文字」をお読みください。

* 2 設定ファイルアップロード時に設定が変更されず、元の設定値を維持する項目です。

メンテナンス画面

本機の設定のバックアップ／復元、設定初期化、ファームウェア更新、ハードウェア再起動ができます。



① 設定ファイル

	項目	内容
A	ダウンロード	本機の設定内容と音源ファイルを、1つの設定ファイルとして接続したパソコンへダウンロードすることができます。
B	アップロード	ダウンロードしておいた設定ファイルをパソコンからアップロードすることで、設定内容と音源ファイルを復元することができます。 <div>メモ</div> <ul style="list-style-type: none"> 設定ファイルのアップロードでは、ユーザー設定とネットワーク設定は適用されません。アップロード前の設定状態を維持します。 設定ファイルのアップロード時に、スケジュールデータを除いて適用することを選択できます。詳しくは P. 80「設定ファイルのアップロード」をお読みください。

② 設定初期化

	項目	内容
C	リセット	本機のすべての設定内容を初期設定の状態にリセットします。ただし、本機の内部に保存された音源ファイルは削除されず、メディア画面に保持されます。
D	工場出荷時設定	本機のすべての設定内容を工場出荷の状態にリセットします。本機の内部に保存された音源ファイルも削除されます。
E	スケジュール削除	本機のスケジュールデータのみリセットできます。その他の設定は変更されません。

③ ファームウェア更新

	項目	内容
F	アップデート	パソコンに保存されたファームウェアアップデートを適用することで、本機のファームウェアをアップデートすることができます。「現在のバージョン」に本機の現在のファームウェアバージョンが表示されます。

④ ログ

	項目	内容
G	ダウンロード	本機の動作ログをパソコンへダウンロードすることができます。

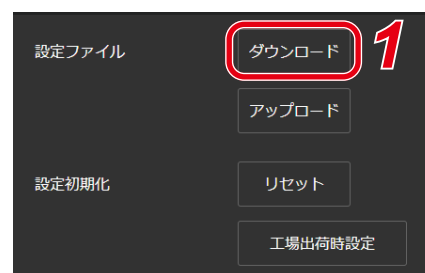
⑤ 再起動

	項目	内容
H	再起動	本機の再起動を行います。再起動が必要な設定変更を適用する場合などに使用します。

■ 設定ファイルのダウンロード

本機の設定内容をパソコンに設定ファイルとして保存する手順は次のとおりです。

- 1** ダウンロードボタンをクリックする。
ファイルエクスプローラーが開きます。
- 2** 設定ファイルを保存するフォルダーを選択する。
- 3** ファイル名を入力して、保存ボタンをクリックする。



メモ

設定ファイルの拡張子は「.spconf」です。
ダウンロード時に自動で以下のファイル名が与えられます。
<IP アドレス>_<端末名称>.spconf

■ 設定ファイルのアップロード

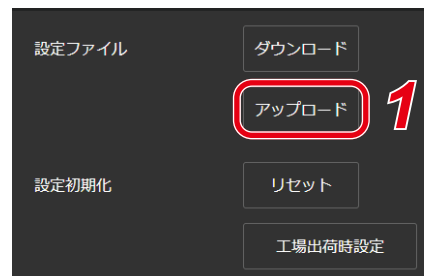
パソコンに保存されている設定ファイルから設定内容を本機に復元する手順は次のとおりです。

ご注意

放送中にアップロードを行うと、すべての放送が停止します。

1 アップロードボタンをクリックする。

設定アップロード画面が開きます。



2 参照ボタンをクリックする。

ファイルエクスプローラーが開きます。



3 設定ファイルを選択する。

× モ

- 設定ファイルの拡張子は「.spconf」です。
- ファイル名に使用可能な文字については P. 91 「使用可能な文字」をお読みください。

4 開くボタンをクリックする。

5 画面に表示されている設定ファイルの名称を確認した上で、更新ボタンをクリックする。

アップロードが開始され、その後に自動的に再起動を開始します。

アップロード中や再起動中は、動作状況を示すポップアップが表示され続けます。途中、設定ファイルのアップロードが完了した時点で、一旦、確認ダイアログが表示されます。

ご注意

受信端末の設定ファイルは、送信端末へアップロードできません。

× モ

アップロードする前に設定ファイルの適用範囲を選択することができます。

- 「すべての設定をアップロードします。」（設定初期値）
：アップロードする設定ファイルですべての設定データを適用します。
- 「スケジュールデータを除いて設定をアップロードし、スケジュールデータを削除します。」
：アップロードする設定ファイルのうちスケジュールデータを除いて設定データを適用します。すでに本機に設定されたスケジュールデータが存在する場合、本機のスケジュールデータは削除されます。

6 OK ボタンをクリックする。

再起動が完了すると、動作状況を示すポップアップの表示が消え、設定アップロード画面に戻ります。

7 設定アップロード画面左上の戻るボタンをクリックする。

ログイン画面に戻ります。

■ 設定初期化のしかた

本機のすべての設定内容を初期設定に戻す手順は次のとおりです。

ご注意

- 次項の工場出荷設定の処理と異なり、本機に内蔵されている音源データは削除されません。
- ファームウェアのバージョンは、工場出荷時のバージョンには戻りません。設定初期化する前のバージョンが維持されます。

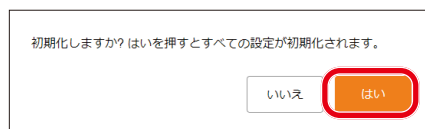
1 リセットボタンをクリックする。



確認ダイアログが開きます。

2 はいボタンをクリックする。

設定初期化が始まります。
完了すると、確認ダイアログが表示されます。



3 OK ボタンをクリックする。

4 本機を再起動する。

再起動の操作を行い、再起動後に本機のすべての設定が初期化されます。
再起動のしかたは、[P. 34 「再起動のしかた」](#)をお読みください。

メモ

本機のリセットキーを使用しても設定を初期化できます。
詳しい手順は機器に付属の取扱説明書をお読みください。

■ 工場出荷時の設定に戻す

本機のすべての設定内容を工場出荷時の設定に戻す手順は次のとおりです。

ご注意

- 工場出荷設定を行うと、本機に内蔵されている音源データもすべて削除されます。
- ファームウェアのバージョンは、工場出荷時のバージョンには戻りません。設定初期化する前のバージョンが維持されます。

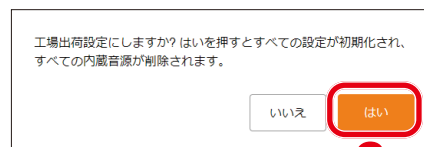
1 工場出荷時設定ボタンをクリックする。



確認ダイアログが開きます。

2 はいボタンをクリックする。

工場出荷状態への初期化が始まります。
完了すると、確認ダイアログが表示されます。



3 OK ボタンをクリックする。

4 本機を再起動する。

再起動の操作を行い、再起動後に本機は工場出荷状態に戻ります。
再起動のしかたは、[P. 34 「再起動のしかた」](#)をお読みください。

■ ファームウェア更新のしかた

本機のファームウェアを更新する手順は次のとおりです。

× モ

最新のファームウェアアップデーターは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で品番を検索してダウンロードしてください。

ご注意

ダウンロードしたファームウェアアップデーターのファイル名は変更しないでください。

1 アップデートボタンをクリックする。



アップデート画面が開きます。

2 参照ボタンをクリックする。



ファイルエクスプローラーが開きます。

3 新しいファームウェアアップデーターのファイルを選択する。

× モ

ファームウェアアップデーターの拡張子は「.bin」です。

4 開くボタンをクリックする。

5 画面に表示されているファームウェアアップデーターの名称を確認した上で、更新ボタンをクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

6 OK ボタンをクリックする。

新しいファームウェアアップデーターのアップロードが開始します。

アップロードが完了すると、本機の状態表示灯がファームウェア更新中の表示となり、本機が再起動します。

再起動が完了すると、アップデート画面に戻ります。

ご注意

ファームウェアのアップデート中は、再起動や電源の切断を行わないでください。
ファームウェアが破損し、正常に起動できなくなる可能性があります。

7 アップデート画面左上の戻るボタンをクリックする。

ログイン画面に戻ります。

8 もう一度ログインした後、ステータス画面で「ファームウェアバージョン」欄に新しいファームウェアのバージョンが表示されていることを確認する。

メモ

ファームウェアを更新した後も、すべての設定内容や音源データは、初期化されずに維持されます。

■ ログファイルのダウンロード

● ログファイルについて

ログのダウンロードボタンをクリックすると、ログファイルをダウンロードできます。

ログファイルの拡張子は「.log」です。メモ帳などのテキストエディターで閲覧することができます。

ダウンロードするとき、自動で以下のファイル名が与えられます。

<IP アドレス>_< 端末名称 >.log

ログファイルに保存されるデータは、端末情報と動作ログになります。

過去 30 日間のログが確認できます。

ファイルサイズは、最大で 15 MB 程度になることがあります。



端末情報	[TERMINAL] (Model) IP-A1AF [TERMINAL] (HW version) 1 [TERMINAL] (MAC Address) 00:05:f9:xx:xx:xx [TERMINAL] (Name) IP-A1AF [TERMINAL] (FW version) 2.2.0 [TERMINAL] (IP Address) 192.168.14.20 [TERMINAL] (Subnet Mask) 255.255.255.0 [TERMINAL] (Default Gateway) 192.168.14.1 [TERMINAL] (DNS Server (Primary)) 0.0.0.0 [TERMINAL] (DNS Server (Secondary)) 0.0.0.0
動作ログ	----- log ----- [2023/02/15 04:14:57 UTC+0000] [SYSTEM] Changing Date and Time [2023/02/15 13:14:57 UTC+0900] [SYSTEM] Start Up [2023/02/15 13:15:00 UTC+0900] [AUDIO] Speaker Volume -24 dB [2023/02/15 13:15:00 UTC+0900] [AUDIO] LINE/MIC IN Mute Disable [2023/02/15 13:15:00 UTC+0900] [AUDIO] LINE/MIC IN Sensitivity 0.0 dB [2023/02/15 13:15:17 UTC+0900] [SYSTEM] Broadcast Function Ready [2023/02/15 13:15:18 UTC+0900] [STATUS] Idle [2023/02/15 13:16:04 UTC+0900] [STATUS] Pattern 1 [2023/02/15 13:16:07 UTC+0900] [STATUS] Idle

● ログ一覧表

送信端末のログ	変数	ログ内容
[SYSTEM]		
Start Up		本機の起動
Broadcast Function Ready		放送準備完了
Reboot		再起動開始
Changing Date and Time		日時設定の変更開始
Change Date and Time		日時設定の変更
NTP Synchronization Start		NTP 調時の開始
NTP Synchronized (NTP Server #)	NTP サーバー番号 (1 ~ 2)	NTP 調時成功
NTP Synchronization is skipped (The status is not Idle)		待機状態ではないため NTP 調時をスキップ
[ERROR] NTP Synchronization Failed		NTP 調時失敗
[STATUS]		
Idle		待機状態開始
SIP DTMF Waiting		DTMF 番号入力待ち状態開始
SIP to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	SIP 音声のマルチキャスト送信開始
VMS to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	VMS 音声のマルチキャスト送信開始
LINE/MIC IN to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	アナログ音声のマルチキャスト送信開始
AUX to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	AUX 放送 (マルチキャスト送信)
AUX to SIP Calling		AUX 放送 (SIP 発呼中)
AUX to SIP		AUX 放送 (SIP)
Microphone to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	マイク放送 (マルチキャスト送信)
Microphone to SIP Calling		マイク放送 (SIP 発呼中)
Microphone to SIP		マイク放送 (SIP)
Pattern ## to Multicast ##	パターン番号 (1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	パターン音声のマルチキャスト送信開始
Pattern ## to SIP Calling	パターン番号 (1 ~ 20)	パターン放送 (SIP 発呼中)
Pattern ## to SIP	パターン番号 (1 ~ 20)	パターン放送 (SIP)
Broadcast Disable		放送停止状態の開始
System Mute		システムミュート開始
[AUDIO]		
LINE/MIC IN Sensitivity ## dB	感度設定値 (0.0 ~ 12.0)	音声入力の感度設定を変更
LINE/MIC IN Mute Enable		音声入力のミュートを有効化
LINE/MIC IN Mute Disable		音声入力のミュートを無効化
MIC IN Sensitivity ## dB	感度設定値 (0.0 ~ 12.0)	音声入力の感度設定を変更
MIC IN Mute Enable		音声入力のミュートを有効化
MIC IN Mute Disable		音声入力のミュートを無効化
AUX IN Sensitivity ## dB	感度設定値 (0.0 ~ 12.0)	音声入力の感度設定を変更
AUX IN Mute Enable		音声入力のミュートを有効化
AUX IN Mute Disable		音声入力のミュートを無効化
Speaker Volume ## (**)	## : スピーカー音量値 (60 dB ~ 0 dB、mute) ** : スピーカー音量レベル (0 ~ 10)	スピーカー音量の変更
[EVENT]		
Control In # ON (Edge)	制御入力番号 (1 ~ 4)	制御入力のエッジ信号として ON
Control In # ON (Level)	制御入力番号 (1 ~ 4)	制御入力レベル信号として ON
Control In # OFF (Level)	制御入力番号 (1 ~ 4)	制御入力レベル信号として OFF
[ACTION]		
No Action		実行するアクションが設定されていない
Pattern ## Start	パターン番号 (1 ~ 20)	内蔵音源放送の開始

送信端末のログ		変数	ログ内容
Pattern ## End		パターン番号 (1 ~ 20)	内蔵音源放送の終了 (レベル信号の場合のみ)
LINE/MIC IN Start			アナログ音声放送の開始
LINE/MIC IN End			アナログ音声放送の終了
AUX Start			アナログ音声放送の開始
AUX End			アナログ音声放送の終了
Command Set #		コマンドセット番号 (0 ~ 9)	コマンドセット送信実行
Broadcast Disable Start			放送停止状態の開始
Broadcast Disable End			放送停止状態の終了
System Mute Start			システムミュートの開始
System Mute End			システムミュートの終了
[MAINTENANCE]			
Download Config			設定ファイルのダウンロード開始
Upload Config			設定ファイルのアップロード開始
Reset Settings			設定リセットを実行
Reset Schedules			スケジュールをリセット
Download Log			ログのダウンロード開始
Firmware Update (xxx => yyy)	xxx : 更新前バージョン yyy : 更新後バージョン		ファームウェアアップデートの開始
[SCHEDULE]			
Pattern ## to Multicast ## Start	パターン番号 (1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)		内蔵音源放送の開始
Pattern ## to Multicast ## End	パターン番号 (1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)		内蔵音源放送の終了
Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start Pattern ## to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号		Pattern to SIP 開始
Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf End Pattern ## to SIP (target) End (DTMF なしの場合)	target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号		Pattern to SIP 終了
LINE/MIC IN to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)		アナログ音声放送の開始
LINE/MIC IN to Multicast ## End	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)		アナログ音声放送の終了
AUX to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)		アナログ音声放送の開始
AUX to Multicast ## End	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)		アナログ音声放送の終了
AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号		AUX to SIP 開始
AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) End (DTMF なしの場合)	target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号		AUX to SIP 終了
Command Set #	コマンドセット番号 (0 ~ 9)		コマンドセット送信実行
Control Out ON			制御出力 ON
Control Out OFF			制御出力 OFF
New Schedule (id=xxx)	xxx : スケジュール ID		スケジュールの新規作成
Edit Schedule (id=xxx)	xxx : スケジュール ID		スケジュール編集を実施
Edit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)	xxx : 分割前スケジュール ID yyy : 分割されたスケジュール ID		スケジュールを分割
Remove Schedule (id=xxx)	xxx : スケジュール ID		スケジュールの削除
Edit Categories			カテゴリー編集を実施

送信端末のログ		変数	ログ内容
	Edit Schedules (category=zzz)	zzz：カテゴリ ID	カテゴリからの繰り返し設定の一括編集
	Maintenance Start		期限切れスケジュール削除開始
	Maintenance End		期限切れスケジュール削除終了
[KEY]			
	Pattern ## to Multicast ## Start	パターン番号 (1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	内蔵音源放送の開始
	Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start Pattern ## to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target：SIP 発呼先 dtmf：DTMF 番号	Pattern to SIP 開始
	Pattern ## Broadcasting End	パターン番号 (1 ~ 20)	パターン放送終了
	Microphone to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	Microphone to Multicast 開始
	Microphone to SIP (target) DTMF dtmf Start Microphone to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target：SIP 発呼先 dtmf：DTMF 番号	Microphone to SIP 開始
	Microphone Broadcasting End		Microphone 放送終了
	AUX to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	AUX to Multicast 開始
	AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target：SIP 発呼先 dtmf：DTMF 番号	AUX to SIP 開始
	AUX Broadcasting End		AUX 放送終了
	Recorded Audio to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番号 (1 ~ 20)	Recorded Audio to Multicast 開始
	Recorded Audio to SIP (target) DTMF dtmf Start Recorded Audio to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target：SIP 発呼先 dtmf：DTMF 番号	Recorded Audio to SIP 開始
	Recorded Audio Broadcasting End		Recorded Audio to SIP 終了
	Microphone Recording Start		本体マイク録音開始
	Microphone Recording Stop		本体マイク録音終了
	Recorded Audio Confirmation Start		録音音源再生確認の開始
	Recorded Audio Confirmation Stop		録音音源再生確認の終了
	Pattern ## Confirmation Start	パターン番号 (1 ~ 20)	パターン放送再生確認の開始
	Pattern ## Confirmation Stop	パターン番号 (1 ~ 20)	パターン放送再生確認の終了
	AUX Confirmation Start		AUX 放送再生確認の開始
	AUX Confirmation Stop		AUX 放送再生確認の終了
	Delete Recorded Audio		録音音源削除
	Command Set ##	コマンドセット番号 (0 ~ 9)	コマンドセット送信実行
	Control Out ON		制御出力 ON
	Control Out OFF		制御出力 OFF
	Lock Key		キーロック (オートキーロック含む)
	Unlock Key		キーロック解除
[SIP]			
	SIP Server State (xxx)	xxx: Unregistered Registering Registered	SIP サーバー登録時の状態
	SIP Server State (xxx) [yyy:zzz]	xxx: Registration Failed yyy: Error Message zzz: SIP Response Code	SIP サーバー登録失敗

送信端末のログ		変数	ログ内容
	Outgoing (xxx) (yyy)	xxx: Trying Remote Ringing Connected DTMF sent [char *] (RMのみ) DTMF response received [char *] (RMのみ) End yyy: Remote SIP ID	SIP 発呼時の状態
	Outgoing (xxx) (yyy) [aaa:zzz]	xxx: Error yyy: Remote SIP ID aaa: SIP Error Message zzz: SIP response code	SIP 発呼不可
	Incoming (xxx) (yyy)	xxx: Ringing Connected DTMF received [char *] (PGのみ) DTMF response sent [char *] (PGのみ) High Priority Call Accepted (RM以外) Low Priority Call Rejected (RM以外) End yyy: Remote SIP ID	SIP 着呼時の状態
	Incoming (xxx) (yyy) [aaa:zzz]	xxx: Error yyy: Remote SIP ID aaa: SIP Error message zzz: SIP response code	SIP 着呼不可
[COMMAND LIST]			
	Command Set n Sent, Total=x (OK=y Error=z)	n: コマンドセット番号(0～9) x: コマンドの合計数 y: OKのコマンド数 z: エラーのコマンド数	コマンドの結果
	[ERROR] Command Set n Command m (No Response)	n: コマンドセット番号(0～9) m: コマンド番号(1～20)	応答なしの場合
	[ERROR] Command Set n Command m (Response Code: xxx)	n: コマンドセット番号(0～9) m: コマンド番号(1～20) xxx: レスポンスコード	エラーの応答があった場合


* 設定範囲：0～9、*、#、A、B、C、D

システム設定画面

日時設定や NTP サーバーとの同期設定を行います。

	項目	内容
①	NTP	ON にすると、NTP クライアント機能が有効になります。NTP サーバーへの同期動作が始まると、以下の内容が表示されます。 同期中 : NTP 同期中 同期成功 : NTP 同期成功 同期失敗 : NTP 同期に失敗 初期設定 : OFF で注意 同期するタイミングで本機が放送中の場合、同期しません。
②	NTP サーバー 1、2 *	NTP サーバーの IP アドレスやドメインを入力し、同期するサーバーを設定します。 初期設定 : 空欄
③	PC と同期	ON にして保存ボタン⑧を押すと、接続しているパソコンの現在時刻に同期します。NTP ①が OFF のとき、設定が可能となります。 初期設定 : ON
④	手動設定	手動で現在時刻を設定します。保存ボタンを押すと、設定されます。NTP ①と PC と同期③の両方が OFF のとき設定が可能となります。
⑤	タイムゾーン	本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。保存ボタンを押すと、設定されます。 日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。 初期設定 : (UTC) 協定世界時

* 設定できる文字や文字数については、P. 91 「使用可能な文字」をお読みください。

	項目	内容
⑥	サマータイム有効	チェックを入れると、サマータイムがあるタイムゾーンにおいて、サマータイムによる時刻修正が有効になります。サマータイムがないタイムゾーンにおいては、チェックの有無にかかわらずサマータイムによる時刻修正は実行されません。 初期設定：チェックあり
⑦	言語設定	ウェブブラウザでの設定画面および IP-A1RM の液晶画面に表示する言語を選択できます。 初期設定：English PG 日本語 RM
⑧	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。( P.33)

設定のしかたは [P.30「現在の日時を設定する」](#) を参照してください。

ご注意

本機を約 24 時間通電することで、無通電状態でおおよそ 24 時間、時刻を保持することができます。ご購入直後や長期間通電されていない場合、現在時刻は保持されていません。最初に現在時刻を設定してください。

使用可能な文字

■ 名称、認証 ID、パスワードに使用可能な文字

対象		最大 文字数	アルファベット A～Z a～z 数字 0～9	漢字*1 ひらが な	カタカ ナ	使用できる記号
ログイン画面	ユーザー名	15	○			× 記号は使用できません
	パスワード	15	○			
キー設定画面	キー名称	32*2	○*3	○	○*3	“ ” (半角スペース) “!” (感嘆符) “#” (シャープ) “\$” (ドル) “%” (パーセント) “&” (アンパサンド) “.” (シングルクォー ト) “(” “)” (丸括弧) “*” (アスタリスク) “+” (プラス) “,” (カンマ) “-” (ハイフン) “.” (ドット) “/” (スラッシュ) “:” (コロン) “;” (セミコロン) “<” “>” (不等号) “=” (イコール) “?” (疑問符) “@” (アットマーク) “[” “]” (角括弧) “^” (ハット) “_” (アンダーバー) “\” (バッククォ ー ト) “{” “}” (波括弧) “ ” (縦棒) “~” (チルダ) *3
ネットワーク設定画 面	端末名称	31*4	○*3	○	○*3	“!” (感嘆符) “#” (シャープ) “\$” (ドル) “%” (パーセント) “&” (アンパサンド) “.” (シングルクォー ト) “(” “)” (丸括弧) “-” (ハイフン) “@” (アットマーク) “[” “]” (角括弧) “^” (ハット) “_” (アンダーバー) “{” “}” (波括弧) “~” (チルダ) *3
SIP 設定画面	SIP サーバーアドレ ス	253*5	○			“-” (ハイフン) “.” (ドット)
	ユーザー ID	31	○			“-” (ハイフン)
	表示名称	31	○			“_” (アンダーバー)
	パスワード	31	○			“ ” (半角スペース) “!” (感嘆符) “#” (シャープ) “\$” (ドル) “%” (パーセント) “&” (アンパサンド) “.” (シングルクォー ト) “(” “)” (丸括弧) “*” (アスタリスク) “+” (プラス) “,” (カンマ) “-” (ハイフン) “.” (ドット) “/” (スラッシュ) “:” (コロン) “;” (セミコロン) “<” “>” (不等号) “=” (イコール) “?” (疑問符) “@” (アットマーク) “[” “]” (角括弧) “^” (ハット) “_” (アンダーバー) “\” (バッククォ ー ト) “{” “}” (波括弧) “ ” (縦棒) “~” (チルダ)
	認証 ID	31	○			“-” (ハイフン) “_” (アンダーバー)
	優先放送元	31	○			“-” (ハイフン) “_” (アンダーバー) “.” (ドット) *6
VMS 放送設定画面	ユーザー名	15	○			× 記号は使用できません
	パスワード	15	○			

対象		最大 文字数	アルファベット A～Z a～z 数字 0～9	漢字*1 ひらが な	カタカ ナ	使用できる記号
放送先設定画面	グループ名	32*2	○*3	○	○*3	“ ” (半角スペース) “.” (コロン) “!” (感嘆符) “;” (セミコロン) “#” (シャープ) “<” “>” (不等号) “\$” (ドル) “=” (イコール) “%” (パーセント) “?” (疑問符) “&” (アンパサンド) “@” (アットマーク) “'” (シングルクォー ト) “[”]” (角括弧) “^” (ハット) “(”)” (丸括弧) “_” (アンダーバー) “*” (アスタリスク) “~” (バッククォート) “+” (プラス) “{ ” }” (波括弧) “,” (カンマ) “ ” (縦棒) “-” (ハイフン) “~” (チルダ) “.” (ドット) *3 “/” (スラッシュ)
イベント設定画面	SIP ユーザー ID	31	○			“-” (ハイフン) “_” (アンダーバー) “.” (ドット) *6
	制御出力欄の表示 名	32*2	○*3	○	○*3	“ ” (半角スペース) “.” (コロン) “!” (感嘆符) “;” (セミコロン) “#” (シャープ) “<” “>” (不等号) “\$” (ドル) “=” (イコール) “%” (パーセント) “?” (疑問符) “&” (アンパサンド) “@” (アットマーク) “'” (シングルクォー ト) “[”]” (角括弧) “^” (ハット) “(”)” (丸括弧) “_” (アンダーバー) “*” (アスタリスク) “~” (バッククォー ト) “+” (プラス) “{ ” }” (波括弧) “,” (カンマ) “ ” (縦棒) “-” (ハイフン) “~” (チルダ) “.” (ドット) *3 “/” (スラッシュ)
コマンドリスト画面	コマンドセット名	32*2	○*3	○	○*3	“ ” (半角スペース) “.” (コロン) “!” (感嘆符) “;” (セミコロン) “#” (シャープ) “<” “>” (不等号) “\$” (ドル) “=” (イコール) “%” (パーセント) “?” (疑問符) “&” (アンパサンド) “@” (アットマーク) “'” (シングルクォー ト) “[”]” (角括弧) “^” (ハット) “(”)” (丸括弧) “_” (アンダーバー) “*” (アスタリスク) “~” (バッククォート) “+” (プラス) “{ ” }” (波括弧) “,” (カンマ) “ ” (縦棒) “-” (ハイフン) “~” (チルダ) “.” (ドット) *3 “/” (スラッシュ)
	URL	2048*5	○			“!” (感嘆符) “-” (ハイフン) “#” (シャープ) “.” (ドット) “\$” (ドル) “/” (スラッシュ) “%” (パーセント) “.” (コロン) “&” (アンパサンド) “;” (セミコロン) “'” (シングルクォー ト) “=” (イコール) “(”)” (丸括弧) “?” (疑問符) “*” (アスタリスク) “@” (アットマーク) “+” (プラス) “[”]” (角括弧) “,” (カンマ) “_” (アンダーバー) “-” (チルダ)
	ユーザー名	15	○			× 記号は使用できません
	パスワード	15	○			

対象		最大 文字数	アルファベット A～Z a～z 数字 0～9	漢字* ¹ ひらが な	カタカ ナ	使用できる記号
ユーザー設定画面	現在のユーザー名	15	○			× 記号は使用できません
	現在のパスワード	15	○			
	新しいユーザー名	15	○			
	新しいパスワード	15	○			
	パスワードの確認	15	○			
システム設定画面	NTP サーバー 1	253 * ⁵	○			"-" (ハイフン)
	NTP サーバー 2	253 * ⁵	○			"." (ドット)
スケジューラー	スケジュール名	32 * ²	○ * ³	○	○ * ³	" " (半角スペース) " " (コロン) "!" (感嘆符) ":" (セミコロン) "#" (シャープ) "<" ">" (不等号) "\$" (ドル) "=" (イコール) "%" (パーセント) "?" (疑問符) "&" (アンパサンド) "@" (アットマーク) "'" (シングルクォー ト) "[" "]" (角括弧) " " (ハット) "(" ")" (丸括弧) " " (アンダーバー) "*" (アスタリスク) "~" (バッククォー ト) "+" (プラス) " " (波括弧) "_" (カンマ) "{" "}" (縦棒) "-" (ハイフン) " " (チルダ) "." (ドット) "/" (スラッシュ) * ³
	カテゴリー名	32 * ²	○ * ³	○	○ * ³	

*¹ JIS 第一水準漢字一覧表 (JIS X 0213 2004) に準じます。

*² 半角 32 文字、全角 16 文字が使用できます。

*³ 全角および半角が使用できます。

*⁴ 半角 31 文字、全角 15 文字が使用できます。

*⁵ ラベル文字数は 63 文字以下です。

*⁶ アドレス入力時のみ使用できます。

メモ

IP 設定ツールを使って「名称 (端末名称)」を設定する場合に使用可能な文字は、上記「ネットワーク設定画面」の「端末名称」と同じ内容です。

■ ファイル名に使用可能な文字

対象		最大文字数	アルファベット A～Z a～z 数字 0～9	漢字* ¹ ひらが な	カタ カナ	使用できる記号
メディア設定画面	音源ファイル名 (*wav、*.mp3)	32* ² 、* ⁵	○* ³	○	○* ³	" " (半角スペース) "." (ドット) "!" (感嘆符) ";;" (セミコロン) "#" (シャープ) "=" (イコール) "\$" (ドル) "@" (アットマーク) "%" (パーセント) "[" "]" (角括弧) "&" (アンパサント) "^" (ハット) "'" (シングルクォート) "_" (アンダーバー) " " (クォート) "`" (バッククォート) "(" ")" (丸括弧) " " (ト) "+" (プラス) "{" "}" (波括弧) "_" (カンマ) "~" (チルダ) "-" (ハイフン) * ³
チャイム設定画面	音源ファイル名 (*wav、*.mp3)	32* ² 、* ⁵	○* ³	○	○* ³	
メンテナンス画面	設定ファイル名 (*spconf)	128* ⁴ 、* ⁵	○* ³	○	○* ³	

*¹ JIS 第一水準漢字一覧表 (JIS X 0213 2004) に準じます。

*² 全角または半角 32 文字が使用できます。

*³ 全角および半角が使用できます。

*⁴ 全角または半角 128 文字が使用できます。

*⁵ 拡張子も文字数に含まれます。

メモ

IP 設定ツールによる「設定アップロード」の場合のファイル名に使用可能な文字は、上記「メンテナンス画面」の「設定ファイル名」と同じ内容です。

スケジューラー機能

■ スケジューラー機能について

● スケジューラー機能の概要

スケジューラーは、日時を指定して自動で放送を行ったり、制御出力やコマンド送信といった制御を実行する機能です。分かりやすいユーザーインターフェースを採用することにより、使い慣れていない方でも直感的に操作することができます。また、スケジュール単位、タスク単位、およびカテゴリーを使用した一括編集など、使用シーンに応じたさまざまな編集方法を提供します。

● スケジューラー画面の開きかた

【管理者権限の場合】

管理者権限でログインすると、設定画面を表示します。
右上に表示されるスケジューラーボタンを押すと、スケジューラー画面を表示します。

2023 / 06 / 23 (金) 15 : 15 : 30

スケジューラー

ログアウト

【ユーザー権限の場合】

ログイン画面を表示し、ユーザー権限でログインするとスケジューラー画面を表示します。

× モ

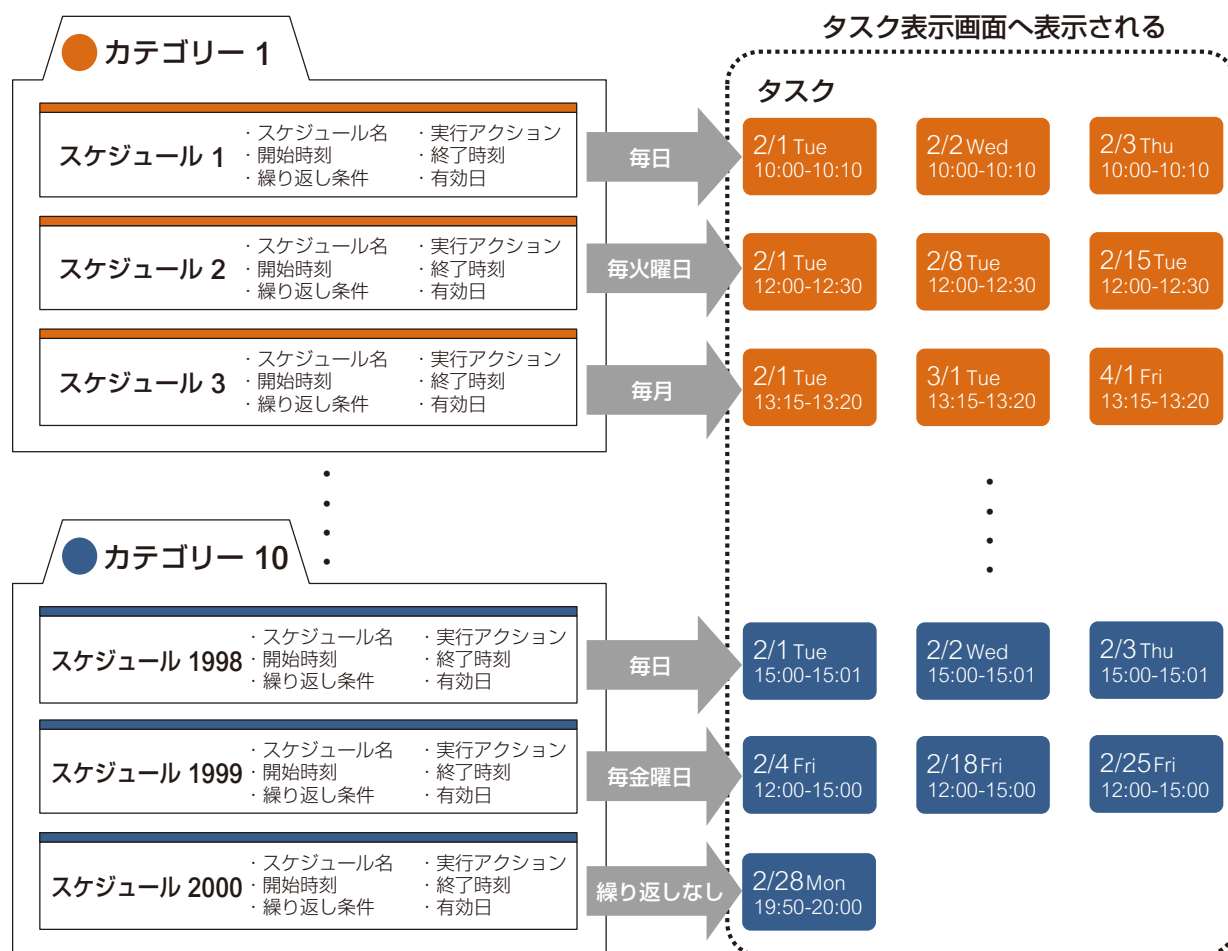
ユーザー権限では、スケジューラー画面を表示し、スケジュールの新規作成やスケジュールの編集を行うことができます。

ただし、設定画面を使用した変更は行えませんので、音源ファイルを入れ換えたり、パターン構成を変更するなどの操作はできません。これらを変更する場合は、管理者権限で行ってください。

The image shows a login screen for the TOA IP-A1PG system. At the top, the TOA logo and model name "IP-A1PG" are displayed. Below this, there are two input fields: "ユーザー名" (Username) with the text "user" entered, and "パスワード" (Password) with masked characters "*****". An orange "ログイン" (Login) button is positioned below the password field.

● スケジューラー機能の概要と用語の説明

【スケジューラー機能の概念図】



【用語説明】

スケジュール：

スケジュールは、実行するアクションと実行する日時や繰り返し条件に関する設定情報のセットです。

スケジュールは実行するアクションを軸に作成し、スケジュール編集画面を使用してスケジュール名や開始／終了時刻などを設定します。スケジュールでは繰り返し設定として、毎日／毎週／毎月など定期的に有効にしたり、特定の日に有効にしたりすることができます。また、逆に定期的な有効日のうち一部を無効にすることもできます。

スケジュールは最大 2000 件まで作成することができます。繰り返し設定で「指定しない」に設定されたスケジュールは継続して保持されますが、実行し終えたスケジュール（繰り返し設定のないスケジュールや最終日を経過したスケジュール）は、最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除されます。

タスク：

タスクはスケジュールから自動的に生成される日付情報を持った実行データです。スケジュールの繰り返し設定で有効日に設定された日付に対して生成され、カテゴリに設定された色でタスク表示画面に表示されます。タスクを削除すると、元となるスケジュールからタスクの日が無効に設定され、またタスクを編集すると、元となるスケジュールから分離された新たなスケジュールが作成されます。

同じ時刻に、より高い優先度のタスクがある場合や、同じ音源のタスクが重複する場合には、灰色（グレー）で表示されます。実行し終えたタスクは、翌日末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除されます。

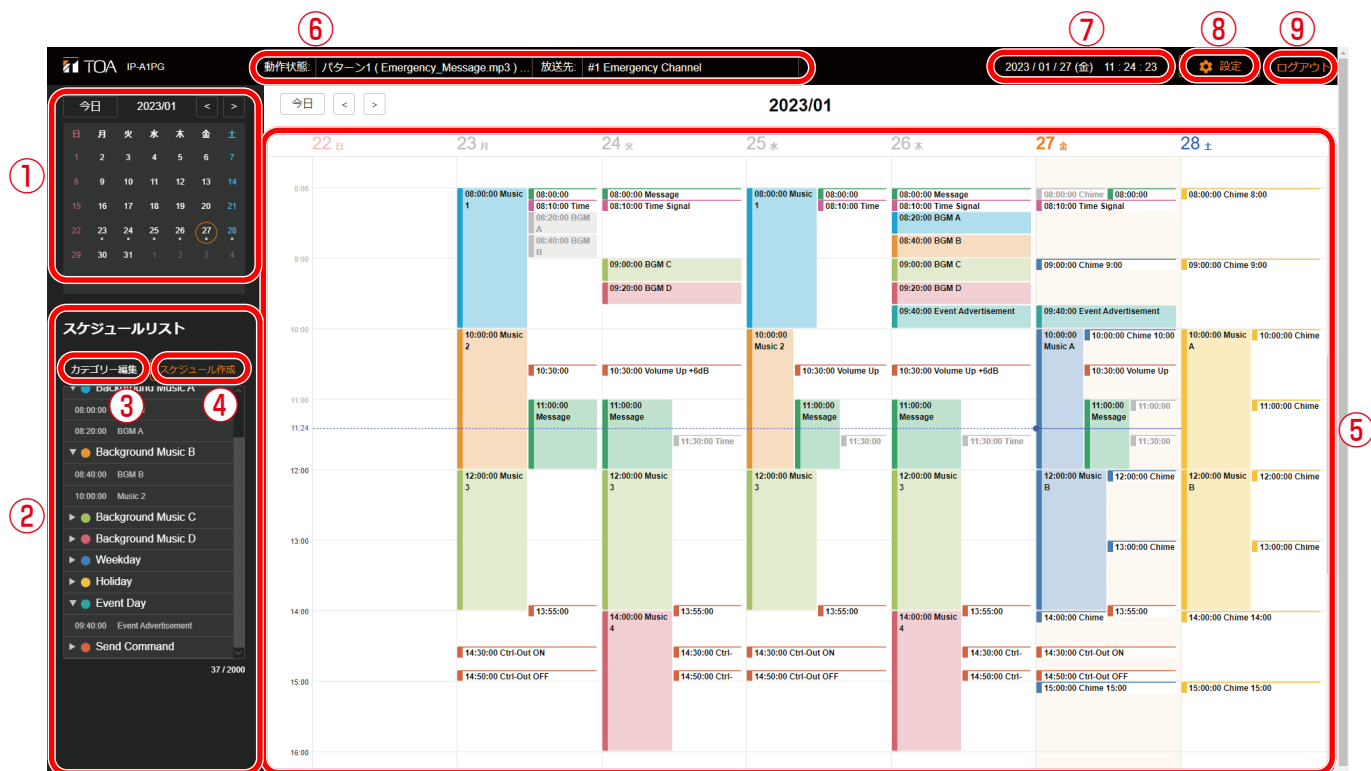
カテゴリー：

カテゴリーはスケジュールを分類するための概念です。カテゴリー編集画面で、10 種類のカテゴリーそれぞれに名称と色が設定できます。

また、カテゴリーの繰り返し編集画面ではカテゴリーに分類されたすべてのスケジュールの繰り返し設定を一括で編集することもできます。以下のように分類すると、カテゴリーを活用することができます。

- 1 日分のスケジュールを 1 つのカテゴリーにまとめる（例：平日スケジュールと休日スケジュールなど）
- 同じ繰り返し条件で連動するスケジュールを 1 つのカテゴリーにまとめる（例：接点出力の ON と OFF、コマンドの開始と終了など）
- 放送する音源や実行するアクションでカテゴリー进行分类する（例：チャイムや BGM、コマンド送信など）
- 放送先でカテゴリー进行分类する（例：屋内エリアと屋外エリア、小学校と中学校など）

■ スケジューラー画面



	名称	内容
①	カレンダー	日付をクリックすると、タスク表示画面をその日を含む週の表示へ切り換えることができます。下に●が表示された日付は、タスクが登録されていることを示し、自動的にアクションが実行される日付であることが分かります。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
②	スケジュールリスト	登録されているすべてのスケジュールをリスト表示します。すべてのスケジュールはカテゴリーに分類して登録されており、各カテゴリーを展開することでそれぞれのカテゴリーに登録されたスケジュールをすべて見ることができます。スケジュールリストは開始時刻が早い順に並んでいます。また、登録されているスケジュールの件数を下部に表示します。選択されたスケジュールは橙色で表示され、「OFF」に設定されたスケジュールは灰色（グレー）で表示されます。「OFF」に設定されたスケジュールからは、タスクは生成されません。各スケジュールをクリックすると、スケジュール詳細画面を表示します。
③	カテゴリー編集ボタン	カテゴリー編集画面を表示し、各カテゴリーごとに名称と色を設定することができます。また、各カテゴリーに登録されたすべてのスケジュールに対して、一括でスケジュールの繰り返し設定を編集することができます。
④	スケジュール新規作成ボタン	新しいスケジュールを作成します。クリックすると、スケジュール編集画面を表示します。
⑤	タスク表示画面	スケジュールから生成された、それぞれの日付で実行されるタスクを表示します。1週間分すべてのタスクが表示され、分類されたカテゴリーの色で表示されます。「今日」「<」「>」をクリックすることで、週表示を切り換えることができます。タスクが表示されていない場所をクリックすると、スケジュール編集画面を表示し、新しいスケジュールを作成することができます。また、それぞれのタスクをクリックすると、タスク詳細画面を表示し実行されるタスクの内容を確認したり、そのタスクの編集／削除および、そのタスクを含むスケジュール全体の編集／削除を行うことができます。灰色（グレー）で表示されたタスクは、実行されないタスクを示します。

	名称	内容
⑥	ステータス表示	本機の動作状態を表示します。本機が放送状態の場合、「動作状態」にどの音声が放送されているか音源ソースを表示し、「放送先」にどこへ放送しているのか放送先を表示します。
⑦	現在日時表示	本機の現在日時が表示されます。
⑧	設定ボタン	設定画面へ移行します。スケジュールで使用する音源のパターンや放送先の変更を行う場合、設定画面から変更します。
⑨	ログアウトボタン	スケジュールの確認や登録が完了した後、ログアウトする場合にクリックします。ログアウトすると、ログイン画面を表示します。

■ 新規スケジュールの作成

スケジュール新規作成ボタンやタスク表示画面の空白のエリアをクリックすることで、スケジュール編集画面を表示し、新しいスケジュールを作成することができます。

スケジュール編集画面

	名称	内容
①	ON/OFF ボタン	スケジュールの有効／無効を切り換えます。 ON : スケジュールが有効です。保存するとタスクが生成されます。 OFF : スケジュールが無効です。保存するとスケジュールリストで灰色（グレー）表示となり、タスクは生成されません。 初期設定：ON
②	スケジュール名称* 1	スケジュール名称を設定します。複数のスケジュールに対して同じスケジュール名称を設定することも可能です。設定された名称でスケジュールリストやタスク表示画面に表示されます。 初期設定：Untitled
③	カテゴリー	スケジュールをどのカテゴリーへ分類するか選択します。 設定範囲：Category 1 ～ 10 初期設定：Category 1
④	アクション	スケジュールで実行するアクションを設定します。選択したアクションごとに設定可能な項目が変わります。 パターン : 内蔵音源によるパターン放送を実行します。パターン登録画面で設定されたパターン名称を表示します。 設定範囲：Pattern 1 ～ 20 ライン／マイク入力 PG : ライン／マイク入力から入力される音声による放送を実行します。 AUX : AUX 入力から入力される音声による放送を実行します。 RM : 制御出力を ON/OFF します。 設定範囲：OFF、ON コマンド : コマンドリスト画面のコマンドセットを実行します。コマンドセット名を表示します。 設定範囲：Command Set 0 ～ 9 初期設定 : Pattern/Pattern 1
⑤	音源再生ボタン	アクションにパターンを設定すると表示され、パターンに割り当てられた音源をパソコン上で再生し、音声として確認することができます。 × モ 放送の実行ボタンではありません。

* 1 設定できる文字や文字数は、P. 91「使用可能な文字」をお読みください。

	名称	内容
⑥	優先度	アクションにパターンまたは、ライン／マイク入力 PG または AUX RM を設定すると、優先度設定画面で設定されたその放送音源の優先度番号を表示します。1 が最も優先度が高く、数値が大きくなるに従って優先度は低くなります。 同じ時間帯に複数のタスクが登録されている場合、優先度番号に従って、高い優先度のタスクが実行されます。
⑦	放送先	アクションにパターンまたは、ライン／マイク入力 PG または AUX RM を設定すると、放送先が設定できます。 グループ放送を行う場合、「マルチキャスト」を選択し、放送先設定画面で設定されたマルチキャスト送信チャンネルを選択します。 設定範囲：Multicast 1 ～ 20 初期設定：Multicast 1 RM 個別放送を行う場合は、放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる SIP 端末の SIP ユーザー ID/IP アドレスを入力します。IP ページングゲートウェイ経由でグループ放送を行う場合は、「IP ページングゲートウェイで放送先に設定した DTMF 番号」を入力します。
⑧	開始時刻	スケジュールを実行する開始日時を設定します。 開始時刻のみ設定されたスケジュールは、エッジ動作* ² となります。アクションにパターンを選択した場合は、パターン放送を 1 度だけ実行します。この間に高優先放送が実行されると、パターン放送は復旧しません。アクションに制御出力やコマンドを選択した場合は、開始時刻のみ設定できます。
⑨	終了時刻	スケジュールを終了する時刻を設定します。開始時刻～終了時刻は、24 時間未満の範囲で設定可能です。終了時刻を開始時刻より前の時刻に設定すると、日をまたいで翌日の終了時刻まで放送を継続します。 終了時刻を設定したスケジュールは、レベル動作* ² となります。アクションにパターンを選択した場合、開始時刻～終了時刻までパターン放送を回数無制限で繰り返します。開始時刻～終了時刻の間に優先度の高い別の放送が実行されたときは、高優先放送終了後にパターン放送を復旧します。* ³ アクションにライン／マイク入力 PG または AUX RM を選択した場合、開始時刻～終了時刻までライン／マイク入力音声の放送を継続します。開始時刻～終了時刻の間に優先度の高い別の放送が実行されたときは、高優先放送終了後に放送を復旧します。
⑩	繰り返し設定	チェックを有効にすると編集ボタンを表示し、スケジュールの繰り返し条件を設定できます。編集ボタンをクリックすると、繰り返し設定画面を表示します (P. 102)。一回のみ実行するスケジュールを作成する場合は、チェックを無効にします。 初期設定：チェックなし（繰り返し無効）
⑪	保存ボタン	スケジュールの編集内容を保存し、スケジュール編集画面を閉じます。

*² エッジ動作、レベル動作の詳細は、P. 66「イベント設定画面」および P. 72「優先度設定画面」の動作シーケンスの説明を参照してください。

*³ 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後には放送は再開されません。

アクションごとの設定項目は、次のとおりです。

	パターン	ライン／マイク入力 PG	AUX RM	制御出力	コマンド
アクションの 選択肢	Pattern 1 ～ Pattern 20	—	—	OFF ON	Command Set 0 ～ Command Set 9
優先度	○ ※ 優先度設定画面の優先度番号を表示			—	—
放送先	Multicast 1 ～ Multicast 20 SIP ターゲット RM			—	—
開始時刻	○				
終了時刻	○ ※ 任意設定	○	○	—	—
繰り返し設定	○ ※ 任意設定				

● 繰り返し設定画面について

繰り返し設定のチェックを有効にすると、編集ボタンが表示されます。

編集ボタンをクリックすると、繰り返し設定画面を表示し、繰り返し条件によりスケジュールの繰り返しかたを設定することができます。

繰り返し設定画面

繰り返し条件には以下の4つがあります。初期設定は「指定日」です。

ご注意

繰り返し条件を変更して保存すると、有効日の設定がリセットされます。

名称	内容
指定日	不定期的な繰り返しを行う場合に選択します。カレンダーからスケジュールを実行する有効日を任意に設定します。
毎日	スケジュールを毎日実行する場合に選択します。カレンダーのすべての日が有効日として表示されます。さらに、有効な日をクリックすると無効となり、実行しない日も設定することができます。
毎週	スケジュールを毎週、曜日を指定して実行する場合に選択します。曜日設定でチェックした曜日が有効日（保存するとタスクが生成される日付）として表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。
毎月	スケジュールを毎月同じ日付で実行する場合に選択します。日付設定でチェックした日付が有効日（保存するとタスクが生成される日付）として表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。

それぞれの繰り返し条件を選択したときの設定内容は以下のとおりです。

【「指定日」に設定したとき】

有効日を任意に指定して、スケジュールを繰り返すことができます。

繰り返し設定画面

	名称	内容
①	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除されます。 初期設定：チェックあり（指定しない）
②	有効日	Ⓐカレンダー部 カレンダーの日付をクリックすることで、スケジュールを実行する有効日（保存するとタスクが生成される日付）と実行しない日を設定することができます。 スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。 Ⓑ有効日リスト部 カレンダーの日付をクリックすると、カレンダーの日付が ● で表示されるとともに、有効日リストへ追加されます。指定可能な有効日の最大数は 400 日です。
③	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確定し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

【「毎日」に設定したとき】

スケジュールを毎日繰り返すことができます。

繰り返し設定画面

繰り返し設定

繰り返し条件

毎日

① 繰り返し最終日

☒ 指定しない

② 有効日

今日

2023/07

<

>

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

③

OK

	名称	内容
①	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除されます。 初期設定：チェックあり（指定しない）
②	有効日	カレンダー部 カレンダーのすべての日付が有効日（保存するとタスクが生成される日付）として表示されます。スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
③	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確定し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

【「毎週」に設定したとき】

スケジュールを曜日で指定して毎週繰り返すことができます。

繰り返し設定画面

	名称	内容
①	曜日設定 (日～土)	チェックした曜日を有効日として設定することができます。
②	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除されます。 初期設定：チェックあり（指定しない）
③	有効日	カレンダー部 曜日設定でチェックした曜日が有効日（保存するとタスクが生成される日付）として表示されます。スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
④	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確認し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

【毎月】に設定したとき

スケジュールを日付で指定して毎週繰り返すことができます。

繰り返し設定画面

繰り返し設定

繰り返し条件 毎月

① 繰り返し最終日 ☒ 指定しない

② 有効日 今日 2023/07 < >

③ 日付設定

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

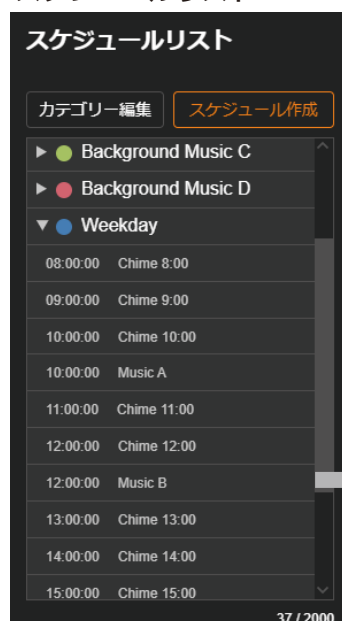
④ OK

	名称	内容
①	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動的に削除されません。「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除されます。 初期設定：チェックあり（指定しない）
②	有効日	カレンダー部 日付設定でチェックした日付が有効日（保存するとタスクが生成される日付）として表示されます。スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
③	日付設定	チェックした日付を毎月の有効日として設定することができます。
④	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確認し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

■ スケジュールの確認／編集／削除

登録されたすべてのスケジュールは、スケジュールリストから詳細を確認できます。
スケジュール詳細画面を表示すると、スケジュールの編集や削除を行うことができます。

スケジュールリスト



スケジュール詳細画面



「スケジュール編集画面」を表示
このスケジュールを編集します。

「スケジュール編集画面」を表示
表示中のスケジュールをコピーし、
新たなスケジュールが作成されます。
コピー元のスケジュールは変更されません。

「削除確認画面」を表示



このスケジュールを
削除します。

	名称	内容
①	スケジュール名	設定されたスケジュール名称が表示されます。
②	×ボタン	スケジュール詳細画面を閉じます。画面外をクリックしても閉じることができます。
③	設定日時	スケジュールの開始日および開始時刻と終了時刻を表示します。開始時刻のみ設定されたスケジュールは、開始時刻のみを表示します。日付をまたぐスケジュールの場合は、翌日の日付とともに終了時刻を表示します。
④	カテゴリー	スケジュールが分類されているカテゴリーの色と名称を表示します。
⑤	アクション	スケジュールで実行されるアクションを表示します。 パターン (パターン名称) ライン／マイク入力 PG AUX RM 制御出力 (ON または OFF) コマンド (コマンドセット名称)
⑥	優先度	スケジュールのアクションにパターン、またはライン／マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、優先度設定画面で設定されたその放送音源の優先度番号を表示します。 1 が最も優先度が高く、数値が大きくなるに従って優先度は低くなります。 複数のスケジュールが同じ時間帯で重複する場合、優先度番号に従って、高い優先度の放送が実行されます。

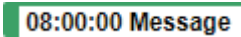
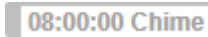
	名称	内容
⑦	放送先	スケジュールのアクションにパターン、またはライン／マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、放送先を表示します。放送先設定画面で設定されたマルチキャスト送信チャンネルのグループ名称を表示します。
⑧	繰り返し設定	スケジュールの繰り返し設定の状態を表示します。 無効 : 繰り返し設定が無効です。 指定日 : スケジュールを繰り返す日付が任意に設定されている状態です。直近の有効日を表示します。 毎日 : スケジュールを毎日繰り返す設定になっています。直近の有効日を表示します。 毎週 : スケジュールを毎週繰り返す設定になっています。有効な曜日表示します。 毎月 : スケジュールを毎月繰り返す設定になっています。有効な日付を表示します。
⑨	スケジュール編集ボタン	クリックすると、スケジュール編集画面を表示し、スケジュールの設定内容を編集することができます。
⑩	スケジュールコピーボタン	クリックすると、表示中のスケジュールをコピーし、新たなスケジュールが作成されます。コピー元のスケジュールは変更されません。
⑪	スケジュール削除ボタン	クリックすると、削除確認画面を表示し、スケジュールを削除することができます。

■ タスク表示と動作について

スケジュールを編集し保存すると、タスクが生成され、タスク表示画面に配置されます。
タスクの表示状態と実行されるアクションの動作について、以下で説明します。

● エッジ動作のタスク表示

エッジ動作のタスクとは、開始時刻のみが設定されているタスクを指します。

	有効なタスク	無効なタスク
	開始時刻になると実行するタスク 分類されているカテゴリ色で表示します。 	実行しないタスク 灰色（グレー）で表示します。 
パターン	開始時刻になると、パターンによる放送を実行します。 パターン設定画面で設定された内容（音源や回数、インターバル、遅延時間など）に従って、パターン放送を一度だけ実行します。この間に手動操作やリモート API などによって優先度の高い放送が割り込んだ場合、優先度の低いパターン放送は停止となり、放送は復旧しません。	タスクが灰色（グレー）になる条件は、 (1) 優先度によってタスクが実行されない場合 他の優先度の高い放送を実行するタスクが存在する場合、優先度の低いタスクは、灰色（グレー）で表示されます。 (2) 同一時刻に同一優先度のタスクが重複する場合 同じ開始時刻に、同じパターン（同一音源／同一優先度）を実行するタスクが重複する場合、その両方のタスクが灰色（グレー）で表示されます。
制御出力	開始時刻になると、制御出力を ON（または OFF）にします。	同一時刻に制御出力を実行するタスクが重複する場合、その両方のタスクが灰色（グレー）で表示されます。
コマンド	開始時刻になると、設定されたコマンドセットを送信します。	同一時刻にコマンドを実行するタスクが重複する場合、その両方のタスクが灰色（グレー）で表示されます。異なるコマンドセットを実行するタスクであっても、時刻が重複すると灰色（グレー）で表示されます。

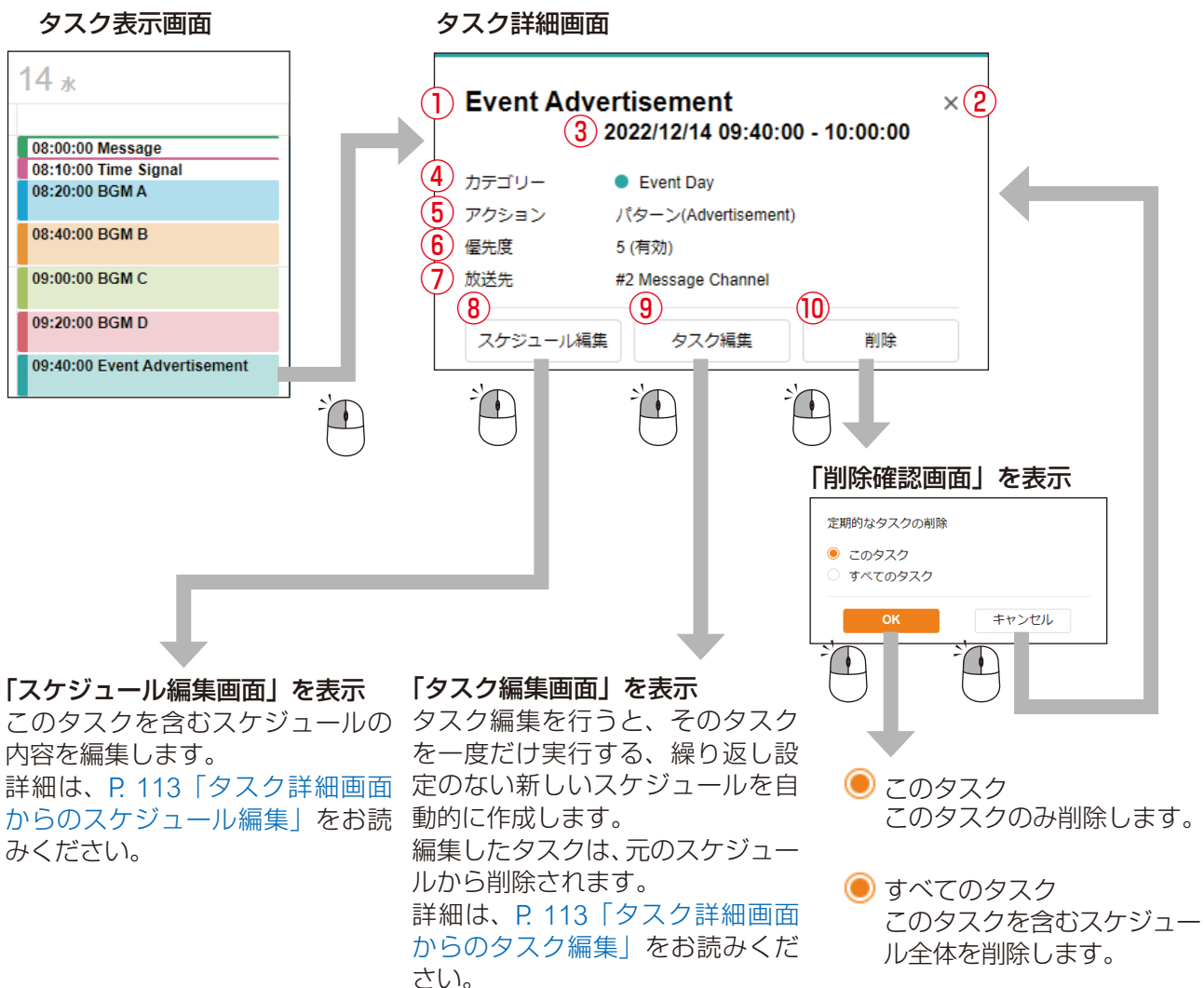
● レベル動作のタスク表示

レベル動作のタスクとは、開始時刻～終了時刻の期間、放送を継続するタスクを指します。

	有効なタスク	無効なタスク
	<p>開始時刻～終了時刻の期間に実行するタスク 分類されているカテゴリ色で表示します。</p> <p>09:00:00 BGM C</p>	<p>実行しないタスク 灰色（グレー）で表示します。</p> <p>08:20:00 BGM A</p>
パターン	<p>開始時刻～終了時刻の間、パターンによる放送を継続して実行します。 開始時刻～終了時刻の期間内、パターン設定画面で設定された内容（音源やインターバル、遅延時間など）に従って、パターン放送を回数無制限で繰り返し再生します。この間に手動操作やリモート API などによって優先度の高い放送が割り込んだ場合、一旦パターン放送は停止しますが、高優先度の放送が期間内に終了すると、パターン放送を復旧します。</p>	<p>タスクが灰色（グレー）となる条件は、</p> <p>(1) 優先度によってタスクが実行されない場合 開始時刻～終了時刻の全期間にわたって、他の優先度の高い放送を実行するタスクが存在しており、放送可能な期間がない場合*、優先度の低いタスクは、灰色（グレー）で表示されます。</p> <p>(2) 同一優先度のタスクが先に実行される場合 同じ優先度（同一音源）のタスクが先に実行される場合、先に実行されるタスクが優先され、後のタスクは灰色（グレー）で表示されます。</p> <p>(3) 同一時刻に同一優先度のタスクが重複する場合 同じ開始時刻で、同じ優先度（同一音源）の放送を実行するタスクが重複する場合、その両方のタスクが灰色（グレー）で表示されます。</p> <p>* 少しでも放送可能な期間がある場合は、灰色（グレー）にはなりません。</p>
ライン／マイク入力	<p>開始時刻～終了時刻の間、ライン／マイク入力に接続されたアナログ音声による放送を継続して実行します。 この間に手動操作やリモート API などによって優先度の高い放送が割り込んだ場合、一旦ライン／マイク入力による放送は停止しますが、高優先度の放送が期間内に終了すると、ライン／マイク入力による放送を復旧します。</p>	

■ タスクの確認／編集／削除

タスク表示画面のタスクをクリックすると、タスク詳細画面を表示し、詳細を確認できます。
タスク詳細画面を表示すると、タスクの編集／削除やスケジュールの編集／削除を行うことができます。



	名称	内容
①	スケジュール名	設定されたタスク名称（スケジュール名称と同じ）が表示されます。
②	×ボタン	タスク詳細画面を閉じます。画面外をクリックしても閉じることができます。
③	設定日時	タスクの開始時刻と終了時刻を表示します。開始時刻のみ設定されたタスクは、開始時刻のみを表示します。日付をまたぐタスクの場合は、翌日の日付とともに終了時刻を表示します。
④	カテゴリー	スケジュールが分類されているカテゴリーの色と名称を表示します。
⑤	アクション	タスクで実行されるアクションを表示します。 パターン（パターン名称） ライン／マイク入力 PG AUX RM 制御出力（ON または OFF） コマンド（コマンドセット名称）

	名称	内容
⑥	優先度	<p>タスクのアクションにパターン、またはライン／マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、優先度設定画面で設定されたその放送音源の優先度番号を表示します。</p> <p>1 が最も優先度が高く、数値が大きくなるに従って優先度は低くなります。複数のタスクが同じ時間帯で重複する場合、優先度番号に従って高い優先度の放送が実行されます。優先度番号の横に表示される付加情報によって、タスクがどのような状態となっているか判別できます。</p> <p>有効 ：重複するタスクの中で最も優先度が高く、全期間で放送を実行できるタスク</p> <p>一部有効 ：部分的に割込み放送が入るが、放送を実行できる期間があるタスク</p> <p>無効 ：重複するタスクの中で最も優先度が低く、全期間で放送を実行できないタスク（灰色で表示されます）</p>
⑦	放送先	<p>タスクのアクションにパターン、またはライン／マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、放送先を表示します。放送先設定画面で設定されたマルチキャスト送信チャンネルのグループ名称 PG または SIP ターゲット RM を表示します。</p>
⑧	スケジュール編集ボタン	<p>クリックすると、スケジュール編集画面を表示し、対象のタスクを含むスケジュール全体の設定内容を編集することができます。</p>
⑨	タスク編集ボタン	<p>クリックすると、タスク編集画面を表示し、1つのタスクのみ編集することができます。</p> <p>タスク編集を行うと、そのタスクを一度だけ実行する、繰り返し設定のない新しいスケジュールを自動的に作成します。</p> <p>編集したタスクは、元のスケジュールから削除されます。</p>
⑩	削除ボタン	<p>クリックすると、削除確認画面を表示し、タスクまたはスケジュールを削除します。対象のタスクのみ削除するか、対象のタスクを含むスケジュール全体（すべてのタスク）を削除するか、選択して削除します。</p>

● タスク詳細画面からのスケジュール編集

タスク詳細画面のスケジュール編集ボタンをクリックすると、このタスクを含むスケジュールを編集できます。編集対象として、以下を選択して編集することができます。

- (1) スケジュール全期間に対して編集
- (2) 選択したタスクを開始日として以降のスケジュールを編集

スケジュール編集画面

スケジュール設定

スケジュール名称: Music 3

カテゴリー: Background Music C

アクション: パターン Music PM-1

優先度: 12

放送先: マルチキャスト #10 Background Music Cha...

開始時刻: 2022 / 12 / 11 12 : 00 : 00

終了時刻: 14 : 00 : 00

☒ 終了時刻

☒ 繰り返し

編集

保存



※ スケジュール編集画面の内容は、P. 100「新規スケジュールの作成」の項目をご確認ください。

定期的なタスクの編集

☒ すべてのタスク

☐ これ以降のすべてのタスク (2022/12/12 ~)

OK キャンセル

● すべてのタスク

スケジュールの全期間に対して編集内容を保存し、すべてのタスクに変更を反映します。

● これ以降のすべてのタスク

このタスクを開始日とした新たなスケジュールを作成します。元のスケジュールに対しては、繰り返し最終日が対象のタスクの前日に変更されます。

● タスク詳細画面からのタスク編集

タスク詳細画面のタスク編集ボタンをクリックすると、対象のタスクを編集できます。

タスク編集は、対象の日のみを編集します。そのため、繰り返し設定のない1日だけ実行する新規スケジュールを作成します。

タスク編集画面

タスク設定

スケジュール名称: Music 3

カテゴリー: Background Music C

アクション: パターン Music PM-1

優先度: 12

放送先: マルチキャスト #10 Background Music Cha...

開始時刻: 2022 / 12 / 12 12 : 00 : 01

終了時刻: 14 : 00 : 00

☒ 終了時刻

保存



繰り返し設定がない1日だけ実行する新しいスケジュールを作成します。あわせて、元のスケジュールから編集したタスクの日が削除されます。

■ カテゴリー編集

カテゴリー編集ボタンをクリックすると、カテゴリー編集画面が表示され、以下の編集が可能です。

- (1) 各カテゴリーの表示色の変更
- (2) 各カテゴリーのカテゴリー名称の変更
- (3) 各カテゴリーに分類されたすべてのスケジュールの繰り返し設定を一括で変更

メモ

繰り返し設定の一括編集の対象は、スケジュールが ON（有効）に設定されており、繰り返し設定にチェックが入っているスケジュール（繰り返し設定が有効なスケジュール）のみとなります。

カテゴリー編集画面

繰り返し設定画面（一括編集）

	名称	内容
①	カテゴリー色	カテゴリーに属するスケジュールおよびタスクの表示色を設定します。10色から選択でき、異なるカテゴリーで同じ色を設定することも可能です。
②	カテゴリー名称*	カテゴリーの表示名称を設定します。複数のカテゴリーに対して同じ名称を設定することも可能です。設定された名称でスケジュールリストやタスクに表示されます。 初期設定：Category 1 ～ Category 10
③	繰り返し設定 一括編集ボタン	繰り返し設定画面を開き、カテゴリーに属するすべてのスケジュールの繰り返し設定を一括で編集できます。 メモ 一括編集の対象は、スケジュールが ON（有効）に設定されており、繰り返し設定にチェックが入っているスケジュール（繰り返し設定が有効なスケジュール）のみとなります。

* 設定できる文字や文字数は、[P. 91「使用可能な文字」](#)をお読みください。

名称	内容
④ 繰り返し条件	<p>カテゴリーに属するすべてのスケジュールの繰り返し条件を一括で変更します。繰り返し条件を変更せず、各スケジュールの繰り返し条件を維持する場合は、「変更しない」を選択してください。</p> <p>ご注意</p> <p>繰り返し条件を変更して保存すると、カテゴリー内のすべてのスケジュールの有効日設定がリセットされます。一括編集によって有効日が連動して変更してほしくないスケジュールは、あらかじめ別のカテゴリーへ移動しておいてください。</p> <p>変更しない：それぞれのスケジュールの繰り返し条件は変更せず、元の繰り返し条件を維持します。カレンダー操作でのみ有効日の追加／削除ができます。</p> <p>指定日：すべてのスケジュールを任意に有効日を指定できるようにします。カレンダーからスケジュールを実行する有効日を任意に選択します。</p> <p>毎日：すべてのスケジュールを毎日実行に変更します。カレンダーのすべての日が有効日になります。さらに、カレンダー操作により任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。</p> <p>毎週：すべてのスケジュールを毎週、曜日指定で実行するように変更します。曜日設定でチェックした曜日が有効日になります。さらに、カレンダー操作により任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。</p> <p>毎月：すべてのスケジュールを毎月同じ日付で実行するように変更します。日付設定でチェックした日付が有効日になります。さらに、カレンダー操作により任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。</p> <p>初期設定：変更しない</p>
⑤ 有効日	<p>カレンダーには以下の表示があり、カテゴリーに属するすべてのスケジュールの状態を確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●：カテゴリー内のすべてのスケジュールからタスクが生成される日（全一致） ○：カテゴリー内一部のスケジュールからタスクが生成される日（不一致） 無印：カテゴリー内のいずれのスケジュールからもタスクが生成されない日（全一致） <p>カレンダーの日付をクリックすることで、カテゴリーに属するすべてのスケジュールに対して有効日および無効を一括で設定できます。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。</p> <p>× モ</p> <p>繰り返し最終日が設定されているスケジュールは、繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。</p>

● カテゴリー編集による繰り返し設定一括編集画面について

<繰り返す有効日を任意に選択する場合>

繰り返し条件を「指定日」にすると、以下の画面を表示します。

<毎日繰り返す場合>

繰り返し条件を「毎日」にすると、以下の画面を表示します。

<曜日を指定して、毎週繰り返す場合>

繰り返し条件を「毎週」にすると、以下の画面を表示します。

<日付を指定して、毎月繰り返す場合>

繰り返し条件を「毎月」にすると、以下の画面を表示します。

	名称	内容
①	有効日リスト	「指定日」を選択すると表示されます。 カレンダーの日付をクリックすると、カレンダーの日付が ● で表示されるとともに、有効日リストへ追加されます。指定可能な有効日の最大数は 400 日です。
②	曜日設定 (日～土)	繰り返し条件を「毎週」に設定すると表示されます。 チェックした曜日を有効日として設定することができます。
③	日付設定	繰り返し条件を「毎月」に設定すると表示されます。 チェックした日付を毎月の有効日として設定することができます。

■ スケジュール設定時のエラーメッセージ

スケジュール編集時に、以下のエラーメッセージを表示することがあります。
対処方法を参考に、エラーを解消してください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処方法
スケジュールデータの件数が上限の 2000 件を超えています。 古いスケジュールを削除してください。	スケジュールデータの件数が上限の 2000 件を超えています。	古いスケジュールを削除し、2000 件以下にしてください。
1 つのスケジュールデータにおいて、定期的のある有効日を除いて、個別に指定した有効日、または定期的のある有効日を個別に無効にした日が、上限の 400 日を超えています。 新しいスケジュールを作成してください。	1 つのスケジュールデータにおいて、定期的のある有効日を除いて、個別に指定した有効日、または定期的のある有効日を個別に無効にした日は、合わせて最大 400 日まで設定できます。 これらの個別に設定した日が 400 日を超えています。	繰り返し設定のカレンダーの日付を選択し直して、400 日以内にしてください。
スケジュールの繰り返し最終日は、開始日より後に設定してください。	スケジュールの開始日より前に繰り返し最終日が設定されています。	スケジュールの繰り返し最終日を変更してください。
スケジュールデータの変更に失敗しました。 このスケジュールデータは既に削除されています。 ページを更新してください。	編集時のスケジュールデータが何らかの要因で削除された可能性があります。	[OK] ボタンをクリックして、画面を更新してください。

■ スケジュールデータのリセット

メンテナンス画面に、スケジュールデータのみをリセットするスケジュール削除ボタンがあります。その他の設定は、初期化されません。

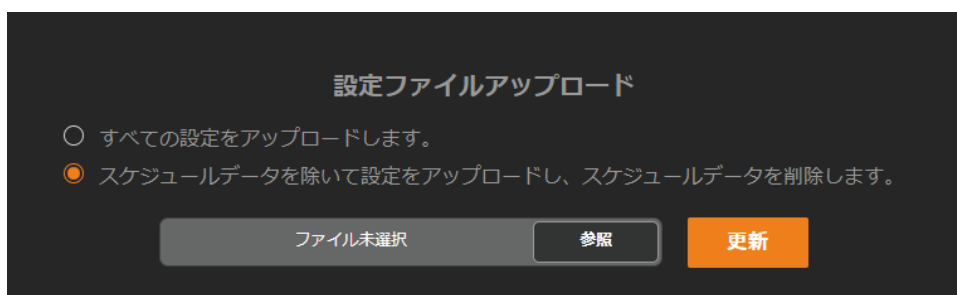
詳しくは、[P. 78「メンテナンス画面」](#)をお読みください。



■ スケジュールデータを除いた設定ファイルアップロード

設定ファイルをアップロードするときに、スケジュールデータを除いて適用することができます。

詳しくは、[P. 80「設定ファイルのアップロード」](#)をお読みください。



「スケジュールデータを除いて設定をアップロードし、スケジュールデータを削除します。」を選択して設定ファイルをアップロードすると、アップロードする設定ファイルのうちスケジュールデータを除いて設定データを適用します。すでに本機に設定されたスケジュールデータが存在する場合、本機のスケジュールデータは削除されます。

IP 設定ツール

IP 設定ツールを使用すると、複数台の機器の設定を効率的に行うことができます。

また、設定内容をパソコンに保存したり、パソコンに保存されている設定内容を本機にアップロードしたりすることができます。

この機能を使って、複数の機器に同じ設定内容を複製することもできます。

IP 設定ツールは、お使いになるパソコンと本機を同じネットワークセグメントに接続した状態でお使いください。(P. 28 「ブラウザー接続のしかた」)

■ 使用する前に

TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で本機の品番を検索し、IP 設定ツール「IPSettingTool.exe」をダウンロードしてください。

デスクトップなどに保存すると、次のようなアイコンが表示されます。

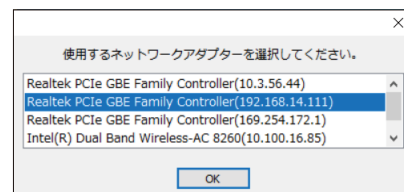


■ IP 設定ツールの起動のしかた

IPSettingTool.exe のアイコンをダブルクリックします。

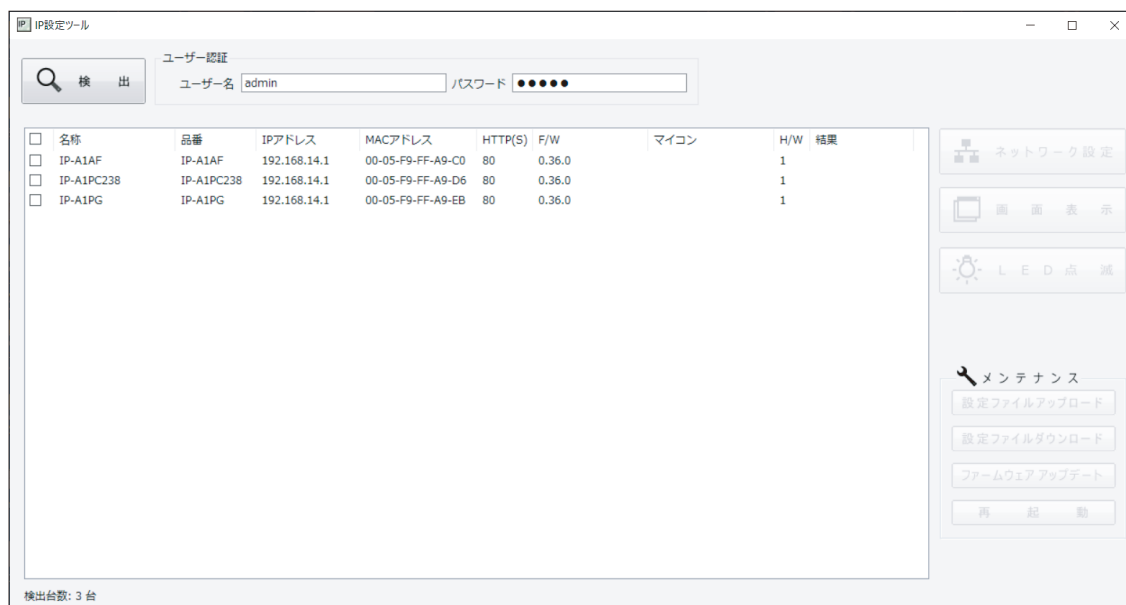
ご注意

お使いになるパソコンが使用できるネットワークアダプターが複数存在する場合は、右のような確認画面が表示されますので、本機に接続できるネットワークアダプターを選択して、OK ボタンをクリックしてください。

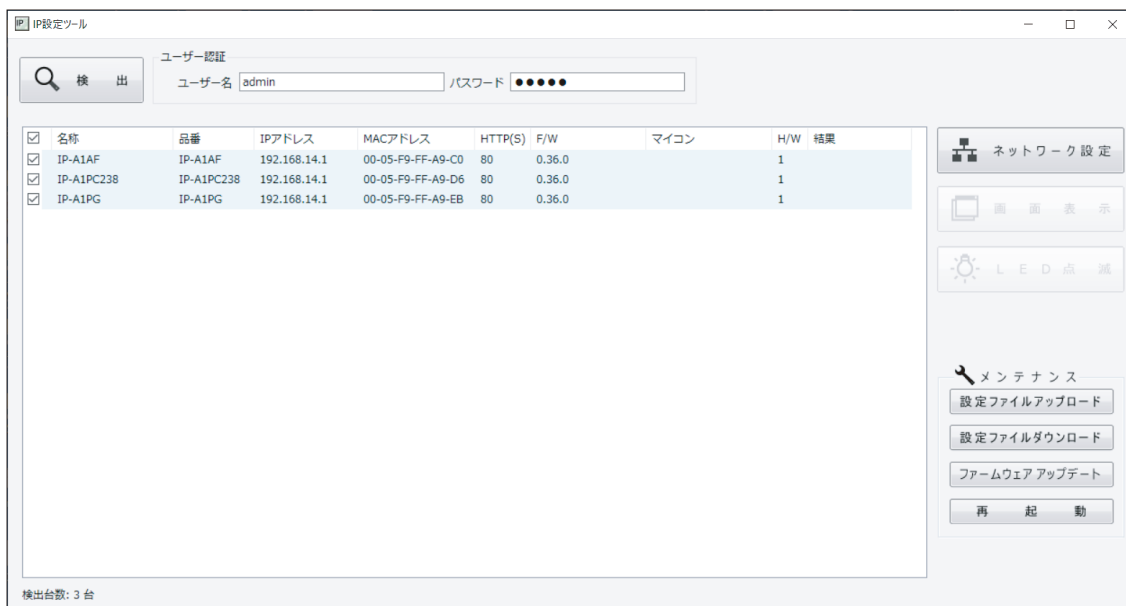


IP 設定ツールが起動し、接続されているすべての IP オーディオデバイスが自動検出され、以下の画面のようにリスト表示されます。

この時点では、右側のボタンはグレーアウトしており、クリックできません。



リストのチェックボックスにチェックを入れて、いずれかの機器を選択すると、ボタンをクリックできる状態になります。

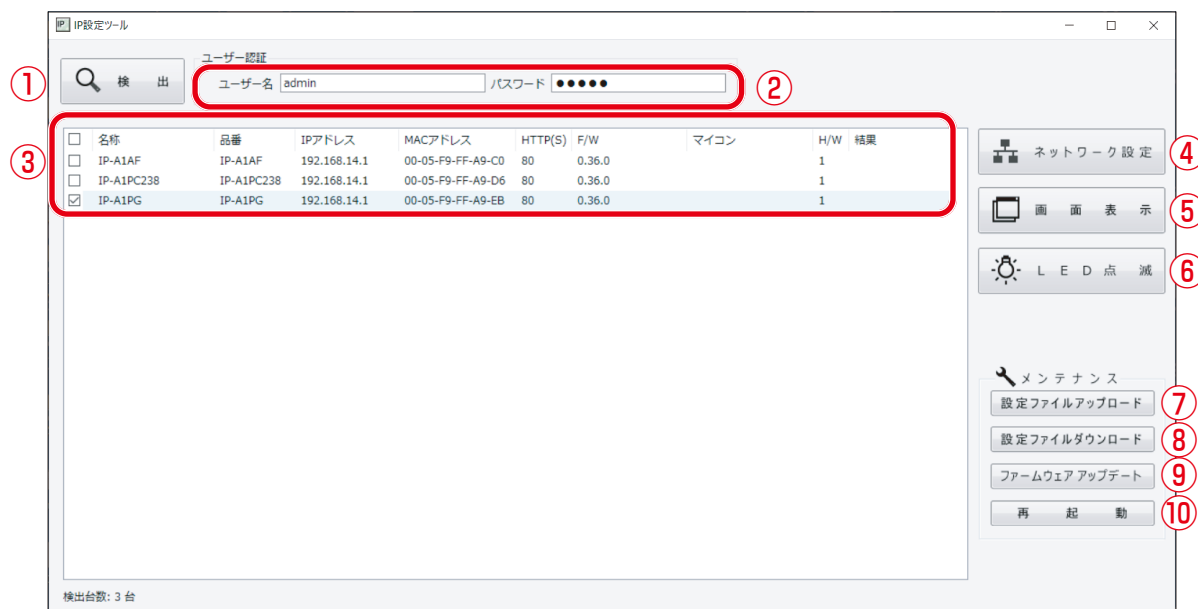


■ 設定のしかた

● 各部の表示内容

ご注意

- ④～⑩の操作は、検出結果リストのチェックボックスで機器を選択してから行ってください。
- ④、⑥～⑩の操作結果は、検出結果リストの「結果」欄に表示されます。
- 再起動中の機器は表示されません。



① 検出ボタン

ネットワークに接続されている IP オーディオデバイスを検出するときクリックします。
クリックする度に、接続されているすべての機器を検出し直します。

② ユーザー名、パスワード

操作を行う機器のユーザー名とパスワードを入力します。

IP 設定ツールを起動したときは、初期値（ユーザー名:admin、パスワード:guest）が入力されています。

ご注意

ユーザー権限のユーザー名、パスワードでは認証できません。

③ 検出結果リスト

検出された機器の一覧を表示します。

④ ネットワーク設定ボタン

クリックすると、ネットワーク設定画面が表示されます。

( [P. 122 「ネットワーク設定のしかた」](#))

⑤ 画面表示ボタン

クリックするとブラウザが起動し、選択した機器へのログイン画面が表示されます。

( [P. 28 「ブラウザ接続のしかた」](#))

⑥ LED 点滅ボタン

クリックすると、選択した機器の状態表示灯が 3 回点滅を繰り返します。

⑦ 設定ファイルアップロードボタン

パソコンから設定ファイルをアップロードを行うときクリックします。

複数台の機器に一齐に同じ設定をアップロードすることもできます。

詳しくは [P. 125 「設定ファイルをアップロードする」](#) をお読みください。

⑧ 設定ファイルダウンロードボタン

パソコンに設定ファイルをダウンロードするときクリックします。

ダウンロードした設定ファイルは、複数台の機器に同じ設定をアップロードするときに、元となる設定ファイルとして使用できます。

詳しくは [P. 126 「設定ファイルをダウンロードする」](#) をお読みください。

⑨ ファームウェアアップデートボタン

ファームウェアアップデートを行うときクリックします。

複数台の機器に一齐に同じファームウェアアップデートを行うこともできます。

詳しくは [P. 127 「ファームウェアをアップデートする」](#) をお読みください。

⑩ 再起動ボタン

選択した機器を再起動するときクリックします。

■ ユーザー認証のしかた

1 ユーザー名とパスワードを入力する。



検出された機器に設定されているユーザー名とパスワードを入力してください。
未設定の機器を設定する場合や、初期化した機器を設定する場合は、以下のユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名：admin

パスワード：guest

メモ

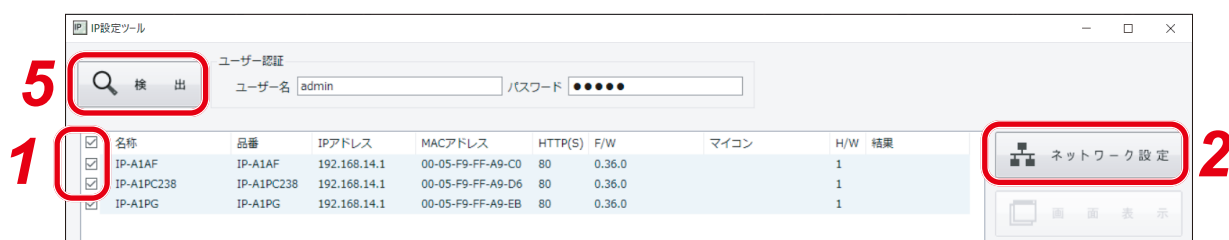
IP 設定ツールで検出した機器（1 台あるいは複数台）の設定内容を変更するためには、それら機器それぞれのユーザー認証をパスする必要があります。

2 検出ボタンをクリックする。

検出されたすべての機器が検出結果リストに表示され、④～⑩の操作が可能になります。

■ ネットワーク設定のしかた

IP アドレスなどのネットワーク設定を行います。



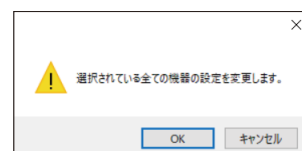
1 検出結果リストのチェックボックスで、ネットワーク設定をする機器を選択する。

対象の機器のチェックボックスにチェックを入れます。

2 ネットワーク設定ボタンをクリックする。

1 台のみ選択しているときは、「個別設定」のネットワーク設定画面が表示されます。

複数を選択しているときは、右の確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンをクリックすると、「一括設定」のネットワーク設定画面が表示されます。



3 ネットワーク設定を行う。

個別設定のネットワーク設定画面または一括設定のネットワーク設定画面で必要項目を設定します。

〔個別設定のネットワーク設定画面〕

〔一括設定のネットワーク設定画面〕

	項目	内容
A	名称	<p>端末名称を設定します。 初期設定：品番</p> <p>ご注意</p> <p>一括設定の場合は名称の設定はできません。一括設定で他の項目を設定した後、名称のみ個別で設定してください。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用可能な文字については P. 91 「使用可能な文字」をお読みください。 ●使用できる最大文字数は 31 文字です。
B	IP アドレス取得方法	<p>IP アドレス取得方法を設定します。 初期設定：手動</p> <p>ご注意</p> <p>本機は DHCP に対応していません。 常に「手動」を選択し、ネットワークアドレスを手動で入力してください。</p>
C	IP アドレス	<p>IP アドレスを設定します。 一括設定の場合は、すべての機器に自動的に連番の IP アドレスが設定されますので、左側の欄に最も小さい数値を入力します。右側の欄に連番の最後の IP アドレスが表示されます。 初期設定：192.168.14.1</p>
D	サブネットマスク	<p>サブネットマスクを設定します。 初期設定：255.255.255.0</p>
E	デフォルトゲートウェイ	<p>デフォルトゲートウェイを設定します。 初期設定：0.0.0.0</p>
F	HTTP ポート	<p>HTTP サーバーポートの番号を設定します。通常は初期設定のままで使用してください。 設定範囲：80 または 10000 ～ 40000 初期設定：80</p>

	項目	内容
G	IP アドレスの競合を確認する	<p>IP アドレスが重複していないかを確認するときにチェックを入れます。</p> <div> <div>×</div> <div>モ</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●「IP アドレスの競合を確認する」にチェックを入れても、使用しているネットワークアダプターと異なるネットワークの IP アドレスについては競合の確認はできません。 ●IP アドレスの競合を検出した場合は、表示画面の結果欄に「IP アドレス競合」と表示されます。
H	設定ボタン	設定内容を確定するときにクリックします。

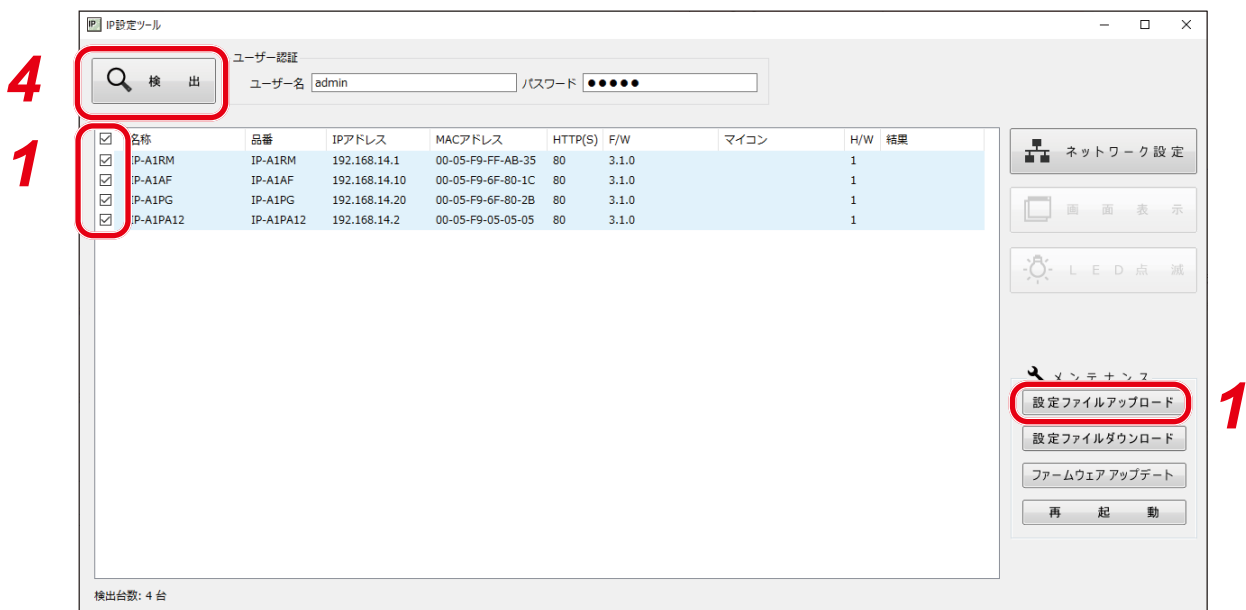
4 設定ボタンをクリックする。

ネットワーク設定が完了しました。
ネットワーク設定画面が閉じて、自動的に再起動します。

5 検出ボタンをクリックする。

表示画面が更新されます。

■ 設定ファイルをアップロードする



ご注意

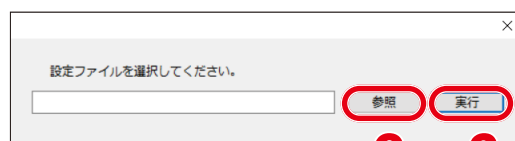
- 放送中にアップロードを行うと、すべての放送が停止します。
- IP 設定ツールでは、スケジュールデータを除いた設定ファイルの適用はできません。

1 機器を選択し、設定ファイルアップロードボタンをクリックする。

ファイル選択画面が表示されます。

2 参照ボタンをクリックしてアップロードする設定ファイル（拡張子「.spconf」）を選択する。

ファイル名に使用可能な文字については [P. 91 「使用可能な文字」](#) をお読みください。



3 実行ボタンをクリックする。

設定ファイルのアップロードが開始されます。

アップロードが終わると、結果欄に「OK」と表示され、その後に自動的に再起動を開始します。

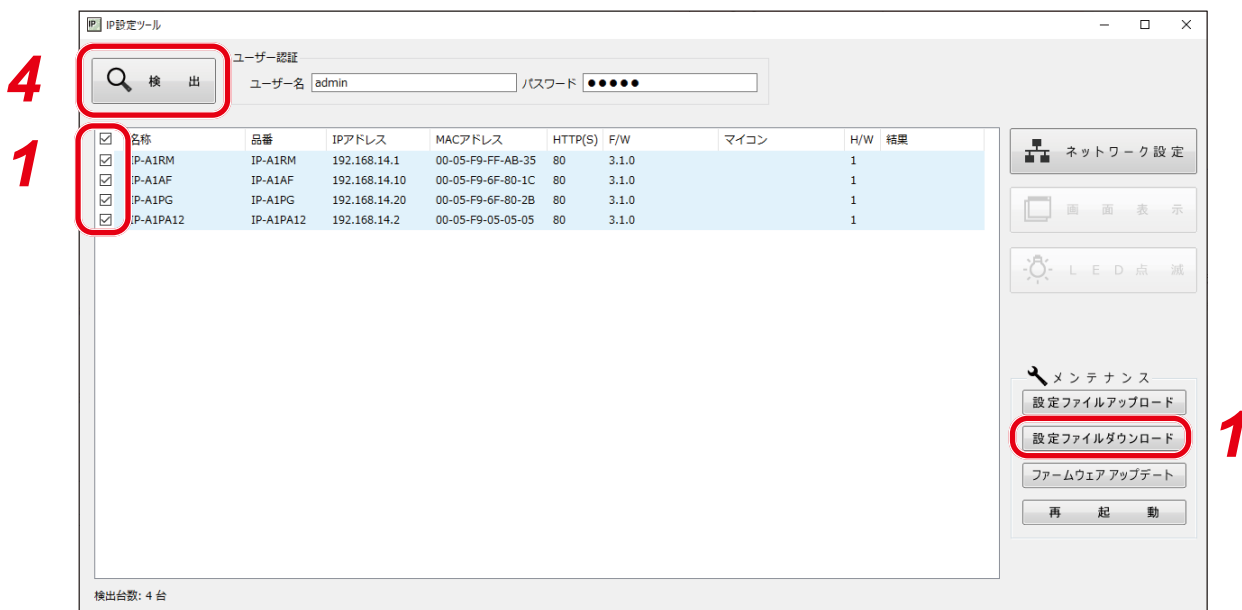
4 検出ボタンをクリックする。

表示画面が更新されます。

ご注意

- 設定ファイルのアップロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。
- アップロード中に再起動や電源の切断が行われた場合、設定ファイルが破損し、正常に起動できなくなるおそれがあります。
- ネットワークの負荷が高い状況では、検出結果リストの結果欄に「応答なし」と表示されることがあります。しばらく待っても結果欄が更新されないときは、再度検出ボタンをクリックしてください。
- 設定ファイルのアップロードにより、音源ファイルも本機に適用されます。ネットワーク設定とユーザー設定は、設定ファイルをアップロードしても本機に適用されず、アップロード前の状態が維持されます。

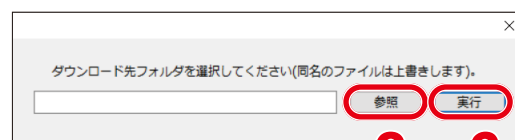
■ 設定ファイルをダウンロードする



1 機器を選択し、設定ファイルダウンロードボタンをクリックする。

ダウンロード先のフォルダーを選択する画面が表示されます。

2 参照ボタンをクリックしてダウンロード先のフォルダーを選択する。



3 実行ボタンをクリックする。

設定ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると検出結果リストの結果欄に「OK」と表示されます。

保存される設定ファイルの拡張子は「.spconf」です。

ご注意

- 設定ファイルのダウンロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。
- 設定ファイルのダウンロードにより、音源ファイルを含む設定データがダウンロードされます。ネットワーク設定とユーザー設定は、ダウンロードとアップロードによる設定の復元・複製には適用されません。

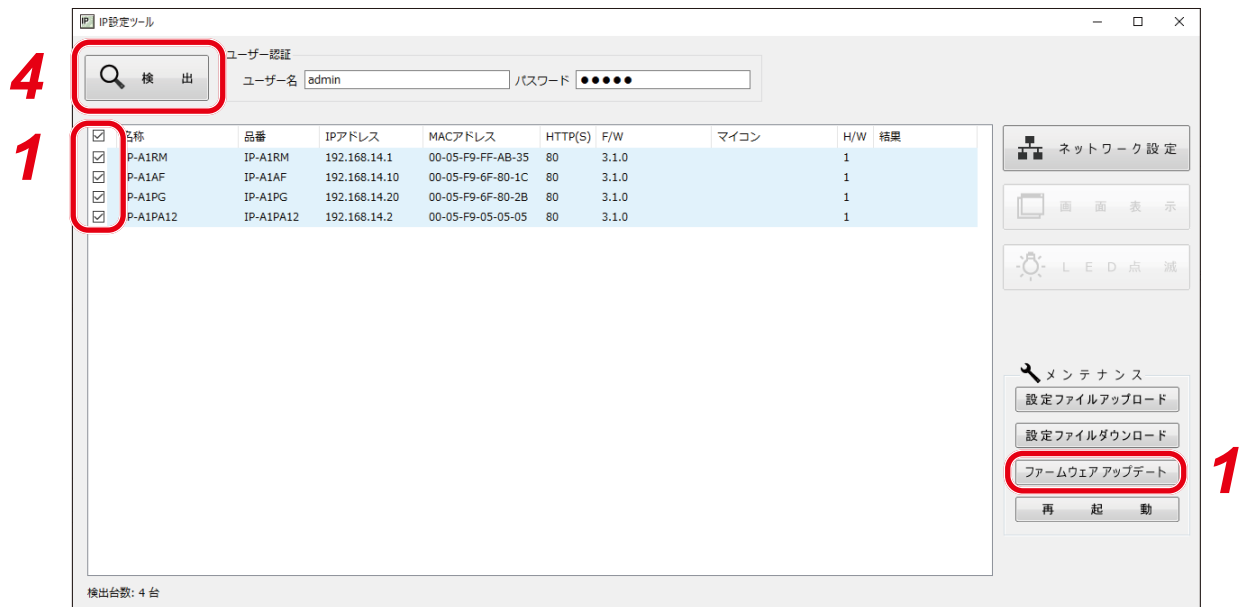
■ ファームウェアをアップデートする

メモ

最新のファームウェアは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で品番を検索してダウンロードしてください。

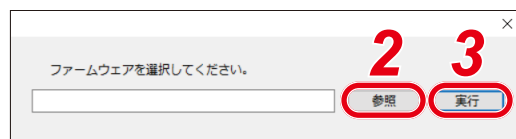
ご注意

ダウンロードしたファームウェアのファイル名は変更しないでください。



1 ファームウェアをアップデートしたい機器を選択し、「ファームウェアアップデート」ボタンをクリックする。

ファームウェア選択画面が表示されます。



2 参照ボタンをクリックしてアップデートするファームウェアファイルを選択する。

メモ

ファームウェアアップデーターの拡張子は「.bin」です。

3 実行ボタンをクリックする。

ファームウェアのアップロードが開始されます。

再起動が終わってファームウェアアップデートが完了すると、結果欄に「OK」と表示されます。

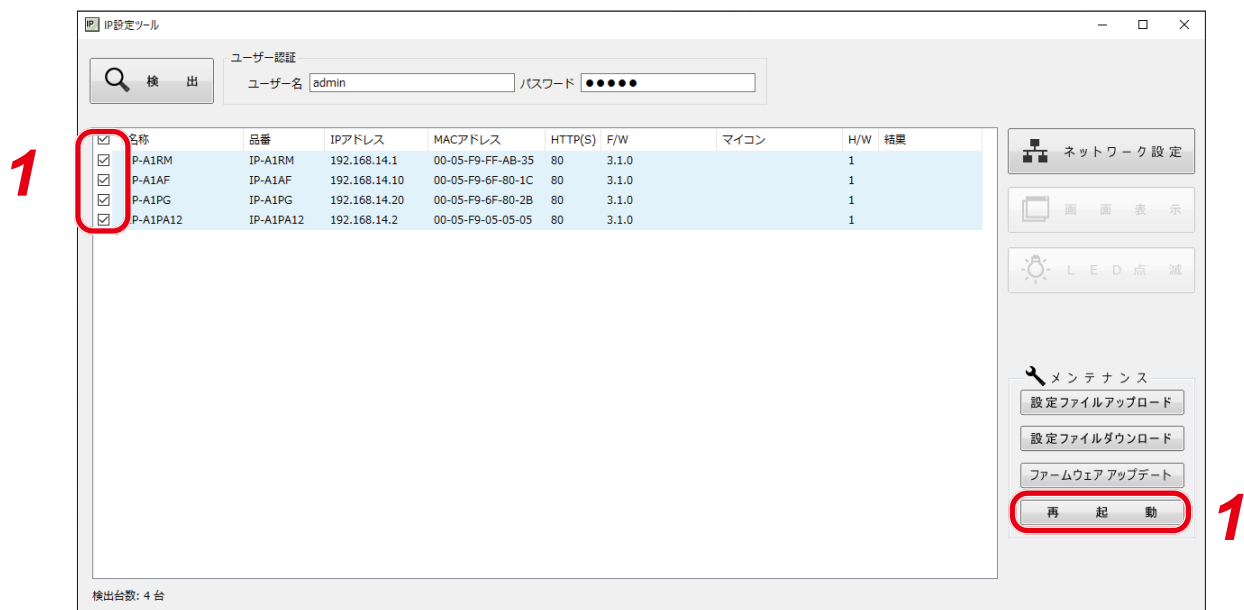
4 検出ボタンをクリックする。

表示画面が更新されます。

ご注意

- ファームウェアのアップデート中は、再起動や電源の切断を行わないでください。アップデート中に再起動や電源の切断が行われた場合、ファームウェアが破損し、正常に起動できなくなるおそれがあります。
- ネットワークの負荷が高い状況では、表示画面の結果欄に「応答なし」と表示されることがあります。しばらく待っても結果欄が更新されないときは、再度検出ボタンをクリックしてください。

■ 再起動する



- 1** 再起動したい機器を選択し、再起動ボタンをクリックする。
確認画面が表示されます。

× モ

複数の機器を選択して再起動することもできます。

- 2** OK ボタンをクリックする。
再起動を開始します。

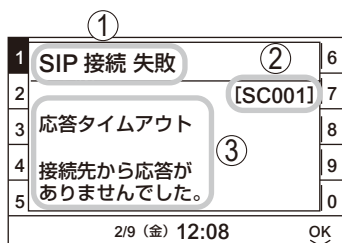


SIP 状態表示画面

SIP 放送が開始できなかった場合や切断された場合に、IP-A1RM の液晶画面に SIP 状態表示画面が表示されます。▶ キーまたはホームキーを押すとホーム画面に戻ります。

SIP 状態表示の詳細は以下のとおりです。

[SIP 状態表示画面]



- ① SIP 状態名称
SIP 状態を表示します。
- ② SIP 状態コード
SIP 状態のコードを表示します。
- ③ SIP 状態表示
SIP 状態についての説明を表示します。

SIP 状態コード	SIP 状態表示画面	内容
SC001		本機からの SIP 放送開始時に、本機の呼び出し時間制限で設定された時間までに接続先が応答しなかったときに表示されます。
SC002		本機からの SIP 放送中に、接続先と通信できなくなり放送を終了したときに表示されます。
SC003		本機からの SIP 放送開始時に、接続先とネットワーク通信ができないときに表示されます。
SC004		本機からの SIP 放送開始時に、接続先が応答できない状態となっているときに表示されます。

SIP 状態コード	SIP 状態表示画面	内容
SC005	<div> <div> 1 SIP 接続 失敗 2 [SC005] 3 接続拒否 4 本機と接続先の設定を 5 確認してください。 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、接続先から接続を拒否されたときに表示されます。
SC006	<div> <div> 1 SIP 接続 失敗 2 [SC006] 3 音声コーデック不一致 4 本機と接続先のコーデック 5 設定を一致させてください。 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、接続先と音声コーデックが一致しなかったときに表示されます。
SC008	<div> <div> 1 SIP 接続 失敗 2 [SC008] 3 サーバ接続失敗 4 SIP サーバと接続を 5 確立できませんでした。 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、SIP サーバから接続を切断されたときに表示されます。
SC009	<div> <div> 1 SIP 接続 切断 2 [SC009] 3 接続先放送中 4 5 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、接続先が他の放送を実行中で放送を開始できないときに表示されます。
SC010	<div> <div> 1 SIP 接続 切断 2 [SC010] 3 接続先エラー 4 接続先でエラーが 5 発生しました。 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送中に、接続先でエラーが発生し放送が終了したときに表示されます。
SC011	<div> <div> 1 SIP 接続 切断 2 [SC011] 3 接続先エラー 4 接続先でエラーが 5 発生しました。 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、接続先でエラーが発生し放送を開始できなかったときに表示されます。
SC012	<div> <div> 1 SIP 接続 切断 2 [SC012] 3 不正な応答 4 本機で非対応の応答を 5 接続先から受信しました。 2/9 (金) 12:08 OK </div> <div>6 7 8 9 0</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、本機が非対応の応答を接続先から受信し放送を開始できなかったときに表示されます。

SIP 状態コード	SIP 状態表示画面	内容
SC013	<div> <div>1 SIP 接続 切断</div> <div>2 [SC013]</div> <div>3 割り込みによる切断</div> <div>4 接続先で割り込み放送が発生しました。</div> <div>5</div> <div>6</div> <div>7</div> <div>8</div> <div>9</div> <div>0</div> <div>2/9 (金) 12:08 OK</div> </div>	本機からの SIP 放送中に、接続先で高優先の放送が開始され、本機からの放送が終了したときに表示されます。
SC014	<div> <div>1 SIP 接続 切断</div> <div>2 [SC014]</div> <div>3 通話時間制限による切断</div> <div>4</div> <div>5</div> <div>6</div> <div>7</div> <div>8</div> <div>9</div> <div>0</div> <div>2/9 (金) 12:08 OK</div> </div>	本機からの SIP 放送中に、本機の通話時間制限で設定された時間に達して放送を終了したときに表示されます。
SC015	<div> <div>1 SIP 登録失敗</div> <div>2 [SC015]</div> <div>3 SIP サーバ登録失敗</div> <div>4 SIP サーバの設定を確認してください。</div> <div>5</div> <div>6</div> <div>7</div> <div>8</div> <div>9</div> <div>0</div> <div>2/9 (金) 12:08 OK</div> </div>	本機からの SIP 放送開始時に、本機が SIP サーバへの登録に失敗しているときに表示されます。
SC016	<div> <div>1 SIP 接続 切断</div> <div>2 [SC016]</div> <div>3 不明なエラー</div> <div>4 操作ログを確認してください。</div> <div>5</div> <div>6</div> <div>7</div> <div>8</div> <div>9</div> <div>0</div> <div>2/9 (金) 12:08 OK</div> </div>	不明なエラーが発生したときに表示されます。
SC017	<div> <div>1 SIP 接続 切断</div> <div>2 [SC017]</div> <div>3 不明なエラー</div> <div>4 操作ログを確認してください。</div> <div>5</div> <div>6</div> <div>7</div> <div>8</div> <div>9</div> <div>0</div> <div>2/9 (金) 12:08 OK</div> </div>	不明なエラーが発生したときに表示されます。

トラブルシューティング

本機の動作に問題を感じたときは、修理を依頼する前に下記の手順で問題を切り分けることを推奨します。

1 電源を確認する。

		チェック
電源は供給できていますか？	本機の状態表示灯 [STATUS] が点灯または点滅していますか？ 消灯している場合、電源が供給できていません。PoE スイッチングハブへ接続して電源を供給してください。	
	PoE スイッチングハブに接続されていますか？ 本機は、PoE スイッチングハブから電源を供給することで動作します。PoE スイッチングハブへ接続して電源を供給してください。	
	PoE スイッチングハブの最大給電容量を超えていませんか？ PoE スイッチングハブの取扱説明書などを確認してください。超えている場合は、十分な給電容量の PoE スイッチングハブへ交換してください。	
LAN ケーブルに問題はありませんか？	LAN コネクタのツメが折れるなどにより、接続部の接触不良は発生していませんか？ ケーブル、コネクタの接触不良があると、電源の供給や通信に支障があります。	
	Cat.5 以上の LAN ケーブルが使用されていますか？ Cat.5 未満のケーブルでは、電源の供給や通信に支障が出る可能性があります。Cat.5 以上のケーブルに変更してください。	
	LAN コネクタ (RJ-45) のピン配置と結線は正しいですか？ ピン配置や結線状態が間違っている場合、電源の供給や通信に支障が出る可能性があります。正しい状態のケーブルを使用してください。	
	LAN ケーブルの配線が 100 m を超えていませんか？ 超えている場合、電源の供給や通信に支障が出る可能性があります。スイッチングハブなどを間に接続することで、配線が 100m 以内になるように修正してください。	

2 ネットワーク通信を確認する。

		チェック
ネットワーク通信は確立していますか？	本機の LINK/ACT 表示灯が点灯または点滅していますか？ 点灯または点滅していない場合、ネットワーク通信が確立できていない可能性があります。	
	本機の IP アドレスに対して、パソコンのブラウザでアクセスし、WEB ページ (認証画面) を表示できますか？ WEB ページ (認証画面) を表示できない場合、ネットワーク通信が確立できていない可能性があります。	
	本機の IP アドレスに対して、パソコンから Ping コマンドを送信すると応答がありますか？ 応答がない場合、ネットワーク通信が確立できていない可能性があります。	
WEB ページを正しく表示できますか？	対応したブラウザを使用していますか？ Microsoft Edge または Google Chrome でアクセスしてください。	
IP 設定ツールで検出できますか？	最新バージョンの IP 設定ツールを使用していますか？ 古いバージョンを使用すると、検出できない場合があります。最新バージョンは、TOA 商品データダウンロードサイト (https://www.toa-products.com/) よりダウンロードしてください。	
	本機と IP 設定ツールを使用しているパソコンは、同じネットワークセグメントに接続されていますか？ ネットワークセグメントが異なる場合、検出できません。パソコンの IP アドレスを同じネットワークセグメントの IP アドレスに変更してください。	
	パソコンのファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアが有効になっていますか？ ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアの影響で、検出できない可能性があります。一時的に、それらを無効にしてください。	





3 動作状態と設定を確認する。

		チェック
状態表示灯 [STATUS] は放送状態になりますか？	放送を開始すると、状態表示灯が青色に点灯します。放送開始操作を行っても状態表示灯が変化しない場合、放送状態に移行していない可能性があります。イベント設定画面で放送停止に設定された制御入力端子へ信号が入力されていると、放送状態に移行しません。	
システムミュートの状態になっていませんか？	状態表示灯 (STATUS) が赤色に点滅していると、システムミュート状態です。ミュート (非常断 24V) 端子へ非常カット信号が入力されているか、イベント設定画面でシステムミュートに設定された制御入力端子へ信号が入力されています。	
WEB ページのステータス画面で「動作状態」が変化しますか？	放送状態に移行すると、放送開始操作に連動し「動作状態」の項目が、待機中表示からそれぞれの放送状態を示す表示へと変わります。放送状態を示す表示へ移行しない場合、放送開始操作が受け付けられていない可能性があります。	
[SIP- マルチキャスト放送] SIP 登録状態は「登録成功」になっていますか？	SIP サーバーを介した SIP 放送を行う場合、SIP サーバーへ登録されている必要があります。登録できていない場合、SIP 設定画面の以下の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・「SIP アカウント設定」が ON になっていますか？ ・「SIP サーバーアドレス/ポート」設定は正しいですか？ ・「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」設定は正しいですか？ 	
PG [VMS- マルチキャスト放送] VMS サーバー/クライアントまたはネットワークレコーダーから検出/接続できますか？	VMS 放送を行うには、放送元の機器/ソフトウェアから検出/接続できる必要があります。検出/接続できない場合、VMS 放送設定画面の以下の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・「VMS 放送機能」が ON になっていますか？ ・「制御ポート」設定が、本機および放送元で同じ設定になっていますか？ ・「RTSP ポート」設定は、ネットワーク環境に応じた適切な値になっていますか？ (LAN で接続している場合、初期設定から変更する必要はありません。) ・「ユーザー名」「パスワード」設定は正しいですか？ 	
送信端末、受信端末の使用 するマルチキャストチャンネルの設定が一致していますか？	送信端末の放送先設定画面と受信端末のマルチキャスト設定画面のマルチキャストチャンネル設定が一致している必要があります。以下の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・送信端末、受信端末のマルチキャストアドレスおよびポート番号は一致していますか？ ・ポート番号は偶数番号を使用していますか？ ・転送設定画面において、送信したいマルチキャストチャンネルの設定が有効になっていますか？ ・イベント設定画面において、送信したいマルチキャストチャンネルが放送元として設定されていますか？ 	
RM 本体の液晶表示で放送状態を確認できますか？	本体のキー操作で放送を行う場合、液晶画面に表示される [状態] 欄が「放送中」表記になります。スケジューラーやイベントトリガーによりバックグラウンドで放送が実行されている場合は、液晶画面のフッター部 (下部) に実行中の放送内容が表示されます。	
RM 放送先となる SIP ターゲットは正しく設定できていますか？	IP リモートマイクから SIP による放送を行う場合、放送先となる端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを送信先として設定する必要があります。	
送信端末、受信端末で有効になっている音声コーデックが一致していますか？	送信端末で選択されている音声コーデックが受信端末で無効になっていると、受信端末で放送データをデコードして再生することができません。 Ver. 3.1.0 以降のファームウェアではオーディオコーデックに Opus が追加され、初期設定は Opus です。受信端末のファームウェアも Ver. 3.1.0 に更新するか、送信端末のオーディオコーデックを受信端末と合わせる設定を行ってください。	

4 イベントトリガーを確認する。

		チェック
制御信号は入力されていますか？	制御入力端子へ制御信号は入力されていますか？ 無電圧接点で入力してください。Normary Open/Normary Close に対応していますので、メイク接点 (N.O.) またはブレイク接点 (N.C.) の両方に対応しています。また、エッジでの検出とレベルでの検出に対応しています。イベント設定画面の制御入力設定の信号モードで設定できます。	
制御信号は十分な時間、入力されていますか？	制御入力の最小短絡時間は 200 ms です。200 ms 以上の信号を入力してください。	
イベント設定はされていますか？	イベント設定画面の制御入力設定のアクションが設定されていますか？ 制御入力端子へ制御信号が入力されると、アクションに設定された動作を行います。 Pattern 1 ~ 20 : パターン設定された内蔵音源を使用して放送します。 ライン/マイク入力 : ライン/マイク入力端子に接続された音源を使用して放送します。 PG : AUX RM : AUX 入力端子に接続された音源を使用して放送します。 コマンドセット 0 ~ 9 : コマンドリストで設定されたコマンドを送信します。 放送停止 : 本機からの放送音声の送信/出力を停止します。 システムミュート : 本機からの放送音声の送信/出力を停止するとともに、ネットワークで接続された IP オーディオ受信端末に対しても放送音声をミュートするように制御します。	
設定変更後、再起動しましたか？	本機の設定を変更したとき、再起動の後に変更内容が反映される項目があります。(P.36)	
スケジュール設定は正しく設定されていますか？	スケジュールによるアクションを実行する場合、スケジューラー画面の所定の日時にタスクが表示されている必要があります。タスクが表示されていない場合、スケジュール設定に問題がある可能性があります。所定の日時が、有効な日として登録されているかどうか確認してください。	
現在時刻は正しく設定されていますか？	スケジュールによるアクションを実行する場合、現在時刻が正しく設定されている必要があります。設定画面またはスケジューラー画面の現在時刻表示が正しいか確認してください。タイムゾーンが正しく設定されていないと、現在時刻が UTC (協定世界時) で表示されている可能性があります。	
正しいリモート API コマンドを送信していますか？	送信しているコマンドの URI が正しいかどうか確認してください。 正しいコマンドは、「リモート API 仕様書」をご確認ください。「リモート API 仕様書」については、当社営業所へお問い合わせください。	
リモート API を使用するにあたって、Digest 認証できていますか？	リモート API によるコマンド制御を行うには、ID/Password による Digest 認証が必要です。 認証完了後にコマンドを受け付けるため、まず認証ができているかを確認してください。	

5 音を確認する。

	チェック
ライン／マイク入力端子 PG または AUX RM への接続機器に応じたゲインに設定されていますか？	ライン／マイク入力端子へ接続する機器によって、本機のゲインをDIPスイッチで調節します。 ライン出力機器 : LINE / [PAD] 0 dB / [PHANTOM] OFF ダイナミックマイク : MIC / [PAD] 0 dB / [PHANTOM] OFF コンデンサーマイク : MIC / [PAD] -20 dB / [PHANTOM] ON また、接続機器の出力レベルが適正であることも確認してください。
ライン／マイク入力音量調節器 [VOLUME] が反時計方向に絞り切られていませんか？	ライン／マイク入力音量調節器により、入力音声の音量を調節できます。 PG ライン／マイク入力信号表示灯 [SIGNAL] が安定して緑色に点灯し、かつ赤色に点灯しない程度に入力音声の調節を行ってください。
PG [SIP-マルチキャスト放送] SIP フォン（または SIP 端末）の音量は適正ですか？	送信元となる SIP フォン（または SIP 端末）から送信されている音声の音量が小さいすぎる場合や大きすぎる場合に適正な音量、音質にならない可能性があります。 ページングゲートウェイからの出力音声は、モニター出力で確認することができます。モニター出力の音量、音質が適正でなければ、SIP フォン（または SIP 端末）からの送信音声を調節してください。モニター出力の音量、音質が適正であれば、IP スピーカーなどの受信端末の音量設定が適正ではない可能性があります。
PG [VMS-マルチキャスト放送] VMS サーバー／クライアントまたはネットワークレコーダーに接続したマイクの音量は適正ですか？	送信元となる VMS サーバー／クライアントまたはネットワークレコーダーから送信されている音声の音量が小さいすぎる場合や大きすぎる場合に適正な音量、音質にならない可能性があります。 ページングゲートウェイからの出力音声は、モニター出力で確認することができます。モニター出力の音量、音質が適正でなければ、VMS サーバー／クライアントまたはネットワークレコーダーからの送信音声を調節してください。モニター出力の音量、音質が適正であれば、IP スピーカーなどの受信端末の音量設定が適正ではない可能性があります。
[マルチキャスト放送] 各マルチキャストチャンネルの音量は適正ですか？	マルチキャスト放送は、受信端末ごとに使用するマルチキャストチャンネル単位で音量を設定できます。音量設定画面の「入力ボリューム（マルチキャスト 1～20）」を調節することで、マルチキャストチャンネルごとの音量を適正に設定することができます。
[内蔵音源放送] メディア設定画面に音源ファイルをアップロードできますか？	メディア設定画面にアップロードできる音源には、いくつかの制約があります。これらに該当しているか確認し、再度アップロードしてください。 ・WAV または MP3 以外の音源ファイルはアップロードできません。 ・WAV、MP3 とともに使用可能なファイルフォーマットが決まっています。詳細（  P. 58）を確認して使用してください。 ・30 MB を超える容量の音源ファイルはアップロードできません。（  P. 58） ・Media ファイル合計で 80 MB を超えるとアップロードできません。（  P. 58） ・ファイル名称にスペースや使用できない文字／記号が含まれていませんか？（  P. 91）
[内蔵音源放送] パターン登録画面の再生ボタンで再生した音量は適正ですか？	パターン登録画面の再生ボタンをクリックすると、モニター出力 PG またはモニタースピーカー RM から設定したパターン条件で音源を再生することができます。適切な音源、音量であることを確認できます。 音量が適正ではない場合、音源そのものに音割れがないか、パターンで設定する入力ボリュームが大きすぎないかなど確認してください。

困ったときの対処について

IP アドレスが分からない。	本機の IP アドレスが分からなくなってしまった場合、以下の方法で接続してください。 1. IP 設定ツールで検出する。 2. リセットキーにより設定を初期化し、初期値の IP アドレスで接続する。
ユーザー名またはパスワードが分からない。	<p>[管理者権限のユーザー情報が分からない場合] リセットキーによる初期化で初期値のユーザー名またはパスワードでログインできます。</p> <p>ご注意 設定内容も初期化されますので、あらかじめ設定データをダウンロードしておいてください。</p> <p>[ユーザー権限のユーザー情報が分からない場合] 管理者権限でログインし、ユーザー設定画面で再度ユーザー名とパスワードを設定してください。</p>

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

202403